★新連載スタート！
「機械知性が"そこ"に辿り着いた時こそ、ヒトの真価が問われるだろう」
――C・エプスタイン
これが…「存在する」という事…
これが…「世界」という感覚…
ガチャ
ガチャ
ギ

ファサ
あなたたち…
…誰？
……
《C》…と
…呼んでもらおう

# THE MISERABLE SINNERS

漫画　墨天業
原作　日本ファルコム

むぅ…ここに来て まさかの人身売買
なわけない…と思いたいが それにローゼンベルクといえば 確かあのご老人の…
ヨルグ・ローゼンベルク その界隈では知らない者がいないほどの 稀代の人形技師だったな
あのおじいちゃんの隠し子！
ここでその名前が出てくるという事は…
というのは冗談で ほら見て この子の手足
この関節部…まさか ……人形 なのか？
本物の人間じゃないとは思えないほどの 精巧でキレイな顔
ううん 逆に本物の人間には この完璧なバランスと儚い美しさは ありえないんじゃないかな？
まさに至高の芸術品か 「マイスター」の名は 伊達ではないようだ

そう――
私は誇り高き
ローゼンベルク人形

あなたたち
なかなか見る目が
あるのね

当然よ！最新式の
ローゼンベルク人形だもの

それだけじゃ
説明がつかないだろう

ラピスと言ったな
…お前は一体なんなんだ？

何かあるはずだ
お前しか知らない情報や
お前にしかできない特技が

それは…

でないと
おかしいだろう？

怪しい黒服の集団がアレほど
執拗に狙っていたくらいだからな

私は…

さ なんでもいい
話してもらおうか？

すーちゃん

質問しすぎ！
うぅぅ…ぅ…
ほら〜 こんな小さな子泣かせちゃって
あっ…
す スマン！ そんなつもりは——俺が悪かった！
ううん違う… そうじゃない
思い出せないの… どうしても思い出せない
思い出せない？
うん… ここで目覚める以前の記憶が全然思い出せない
記憶領域にデータの欠損があるみたいで…
単に初めて起動したからじゃないのか？
それはわからないけど… 私には大事な使命があるはずなの
絶対に果たさなければいけない一番の目的が…
それも思い出せない？
…うん 私が何者なのか なんのために生まれたのか 全部 全部失くしちゃったよ…
ううぅ… どうしよう…

失ったのなら取り返せばいい
え？
何か方法があるの？
さてな探せばあるかもしれないし無いかもしれない
このヒト適当だよ～？
ボソッ
？
お前が言うか…
いずれにせよ君は私のところに届けられた…
私と行動を共にすることが結果的に君の果たすべき使命とやらに繋がるのではないか？
おそらく君の存在は何か重要な事実に繋がっている
確証はないが私が私の目的を果たすためには君のことが必要になるかもしれん
だから私に協力しろ
その代わりとして君の自分探しにも付き合ってあげよう一緒に来る気はないか？
──我々の利害は一致するはずだ
…わかった

付き合ってあげるわ
光栄に思いなさい！

さて これで
依頼は達成だな
次はどこに行こうか…

なーちゃん
長期休暇を
求めま〜す

残念ながら
俺たちにはそんな
経済的な余裕は無い

ええ〜
そんな〜

荷物はちゃんと届けた
アフターサービスまでは
さすがに仕事の範囲外だぞ

範囲外なら
範囲内になるように
新たに契約すればいい

どうだ私に
雇われる気はないか？

…どういう
つもりだ？

……

これから
やろうとしていることで
少々手が足りなくてね

君たちの腕を見込んで
私の目的を達成するまで
協力してもらいたいのだよ

ねぇ 仮面さん
率直に言うけど——

怪しすぎ〜〜〜！

「怪しい」と顔に書かれたような相手から依頼を受けるわけないでしょう？

まぁ 顔は見えないけど

怪しいだって ふふ

何より面倒事に巻き込まれる予感しかないもん

なーちゃんはそんなに働きたくない〜 断固拒否！

そういうわけだ 悪いが他を当たってくれ

まぁそう結論を急ぐな

もちろん報酬は弾むつもりだ

この額ならどうかね？

ス

あくまで前金だ 成功報酬はさらにその３倍を支払おう

プルプル

乗った！

カッ

おい…

すーちゃん すーちゃん！
これはもうやるしかない！
やらない手はないよ!!
冷静に考えろ
こんなうまい話
むしろ怪しさが増す
一方じゃないか！
落ち着け…
見たところ君たちは
遊撃士ではなさそうだ
かといって傭兵の類とも違う
……
その歳でその腕前
訳ありなのは
間違いないだろう
悪い話ではないはずだ
安寧を求めるなら
事が終わった後
その金で安全な土地にでも
住めばいい
それこそ二度と
こんな怪しい依頼を
受けずに済むようにな
…ひとつだけ
条件がある
何かね？
──俺たちはヒトを殺さない
それでいいなら
あんたに雇われてもいい
ああ それで構わん
なら
契約成立だ

……

アム
アム

おいしー！

あれから数日
結局ついてく事に
なったけど…

人形には
見えないなぁ
ほんとに…

あ
座ろ～

はーい！

こんな
おいしーモノが
あるなんて
知らなかった

まだまだ
たくさんあるよ～
また食べようね

さて…
そろそろかなぁ

らーちゃん
散歩しながら
食べようか?

食べ歩きこそ
クレープの真髄~

いいよ

そういえば
ヴァンクール大通りに
すごい評判のお店があって

本当!?

ならすぐに行っ――

あっ

カッ

Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画　墨天業
原作　日本ファルコム
──よっと
ト

大丈夫?
うん
大丈夫
すみません
うちの子が
こけちゃって
ニシシ それより
怪我がなくて
よかったよ
あ クレープが…
ほら なーちゃんのを
あげるから
いいの?
らーちゃんが元気に
なってくれるなら
お姉ちゃんも
ありがとうね
また転ばないように
気をつけてねー!

標的の帝都においての
いくつかの拠点
及び今夜の集会場所も
おおむね把握した

こちらの収穫は
こんな感じだ

お前達の方は
どうだった？

美味しいものを
たくさん食べたのと…

標的の1人

ミリアム・オライオンが
所持していた
《ARCUSⅡ》だよ

THORS MILITARY ACADEMY

大事な情報が
たくさん入っている
はずのね…

いつの間に？

ほら あの蒼い髪の子に
出会った時だよ～

チャ…

さて…

そろそろはじめるとしようか

おっと…

させないよ！
何をするかは
知らないけど！

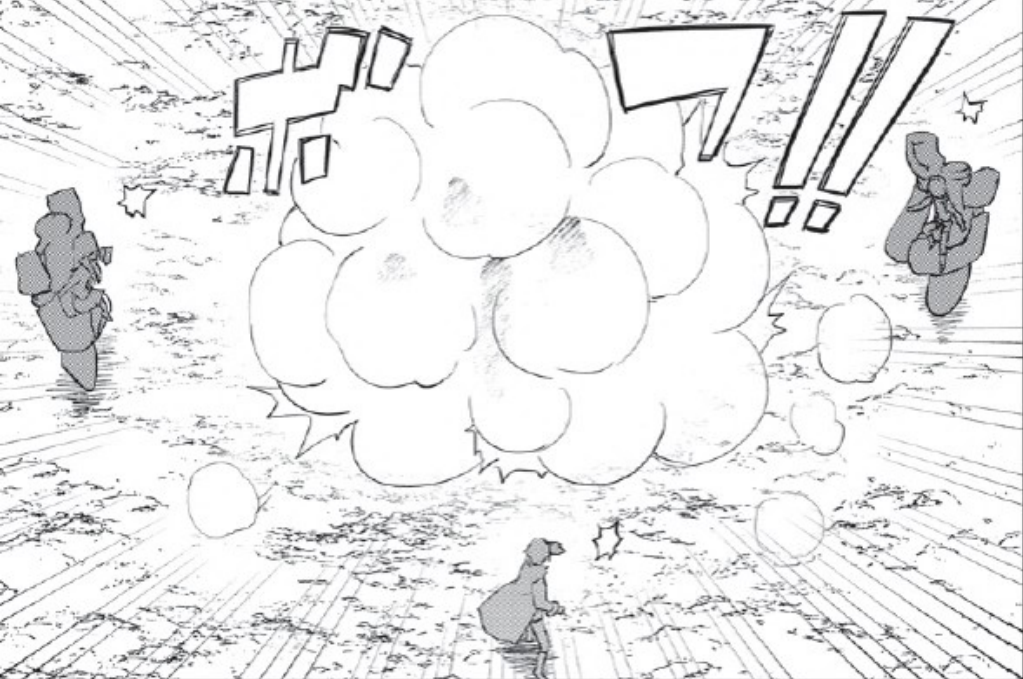
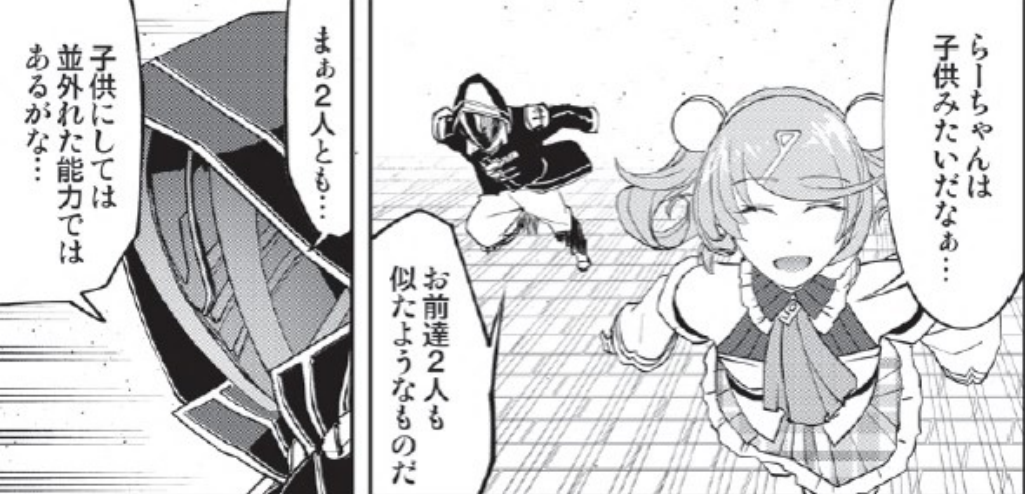
こちらも
通行止めです

情報局の
小兎どもか…

まだ来るな…
3人…いや
5人か！

ザッ ザッ

ザッ

トールズⅦ組
よく私達の動向を掴めたな
「呼んだ」の間違いじゃないのか
お前達は何者だ？
改めて自己紹介をさせてもらおう
新生帝国解放戦線のリーダー《C》だ
う～ん それじゃあ…

残念ながらここは学校ではない
質問をしたら答えが帰ってくるとは思わないことだな
思ってねぇさ…
答えたくねぇなら無理やりにでも聞き出すだけだからな！
僕の《ARCUSII》も返してもらうからね！
いいよ～
ポイ
え!?
あちなみに爆弾仕込んでおいたから
なっ!?
ミリアム!!
ドッ
ゴ
ア!!
……
タッ
タッ
タッ
タッ

らーちゃんは
子供みたいだなぁ…

お前達2人も
似たようなものだ

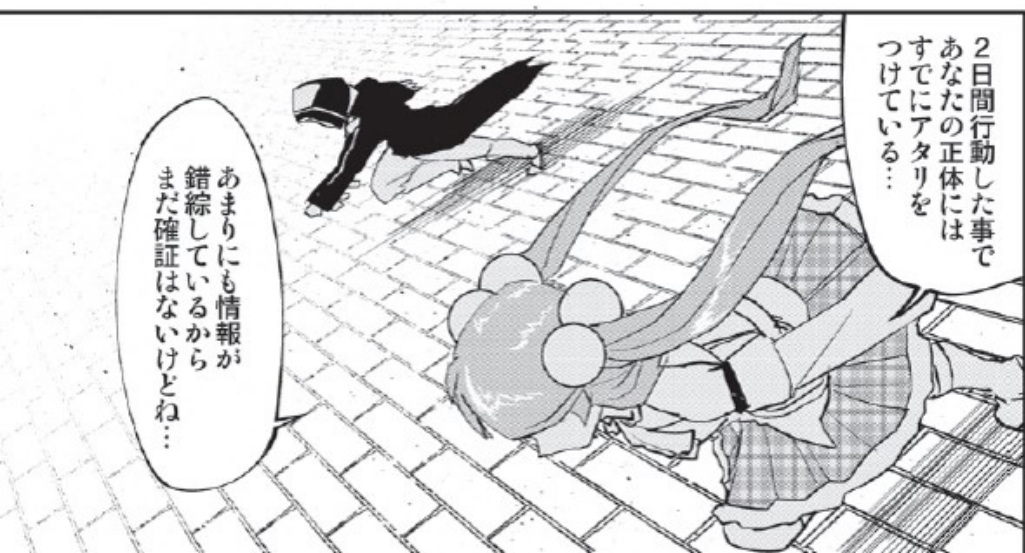
まぁ2人とも…

子供にしては
並外れた能力では
あるがな…

……

そうやって人の事を
分析するのが
好きみたいだけど…

あなたの事も
私が監視している事を
忘れないで《C》

……

2日間行動した事で
あなたの正体には
すでにアタリを
つけている…

あまりにも情報が
錯綜しているから
まだ確証はないけどね…

つくづく優秀だな 頼もしい事だ
でも もしあなたが私達を 裏切るような事を…
…ううん 少しでも すーちゃんに 悪意を向けるような 事があったら――
どんな手を使ってでも 必ず後悔させてあげるから
…それはつまりだ
逆に言えば 君たちの不利益に なるような事さえ しなければ――
私達は いつまでも 「愉快な仲間たち」 でいられる
私は優秀な協力者を得られて 君たちは莫大な報酬を得られる
違うかね？
…ふふ 違わないよ
そういう 悪党っぽいのに 単純明快なところ なーちゃんは 好きだよ～
あ でも 恋愛感情の「好き」 じゃないから
なーちゃんにはすでに 将来を決めた相手がいるの
……

しかし彼の方は君を手のかかる妹くらいにしか思ってないのでは？
うっ…やはり鋭い…！
それはおいおいの課題という事で…

まぁせいぜい頑張りたまえ
ん？

どうかしたのかね？

まぁ待ちたまえ…そう見せかけてあるだけだ

行き止まりなんだが？
ザコ

ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
なるほどね

こんな所に出るとは

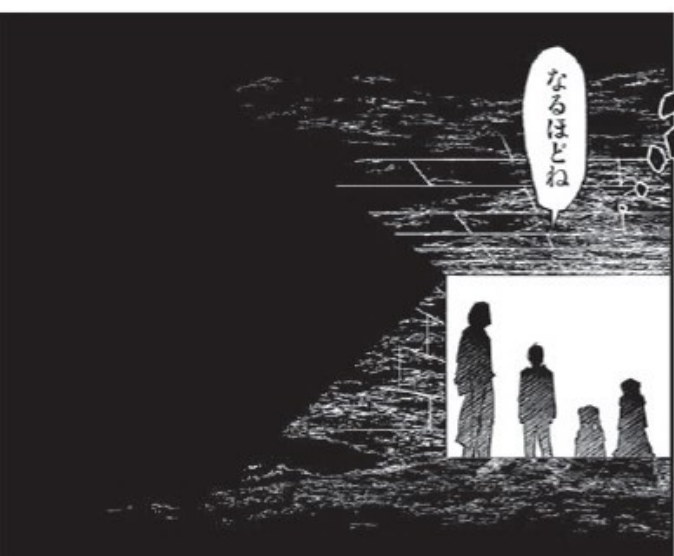
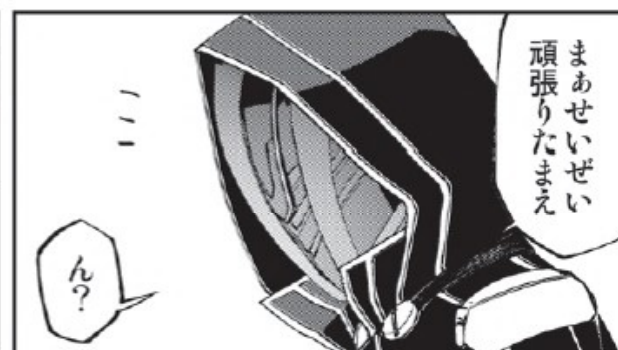
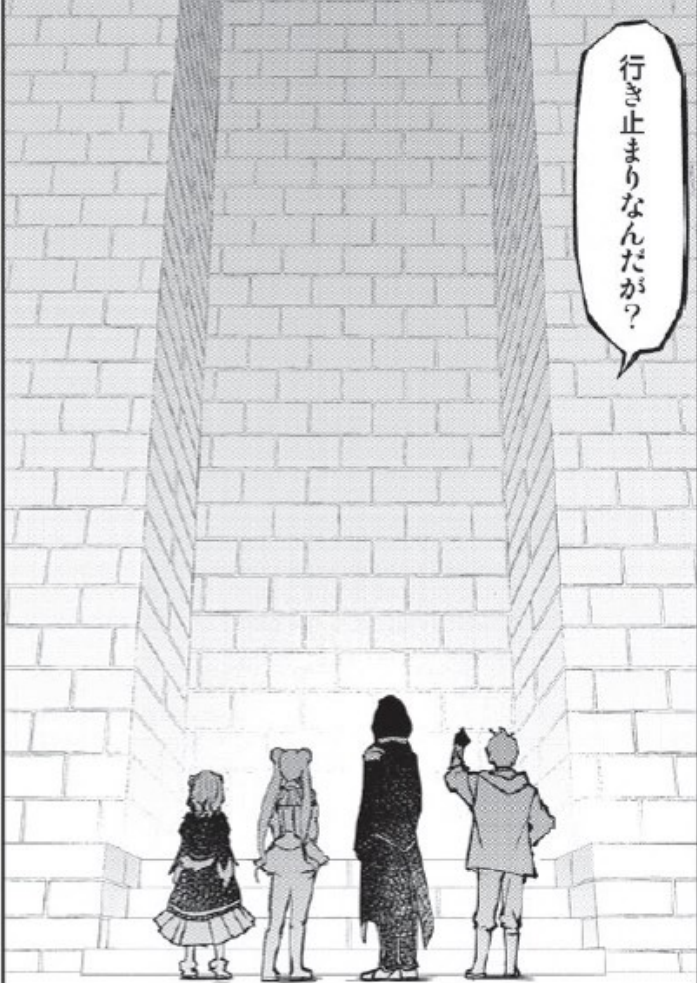
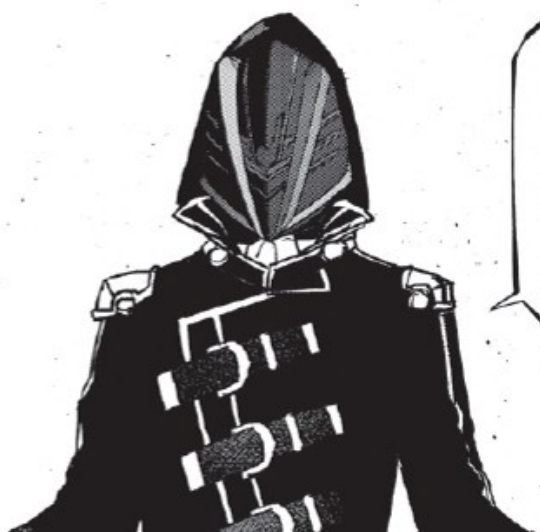
これでさっきのお兄ちゃんたちから逃げ切れたかな

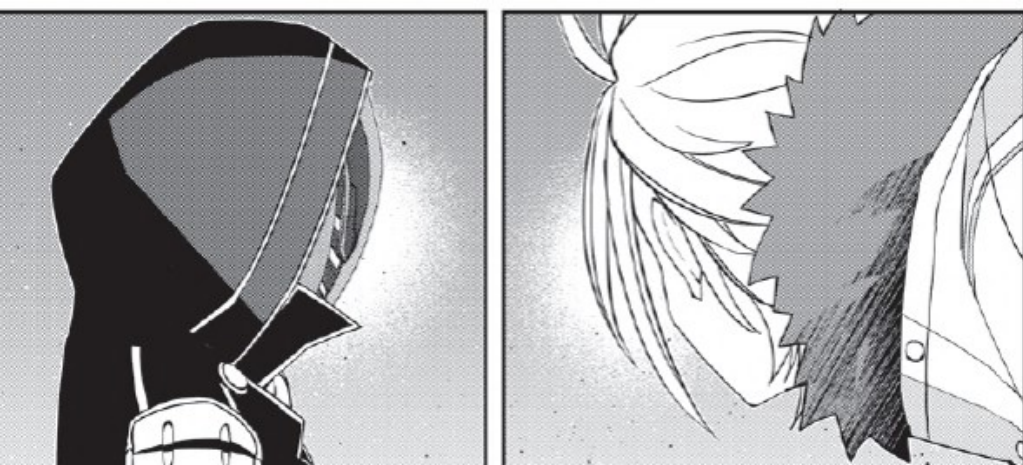
なーちゃんもう疲れた…

おっとこれ以上は行かせないぜ《C》

……

おっと
これ以上は
行かせないぜ
《C》
……

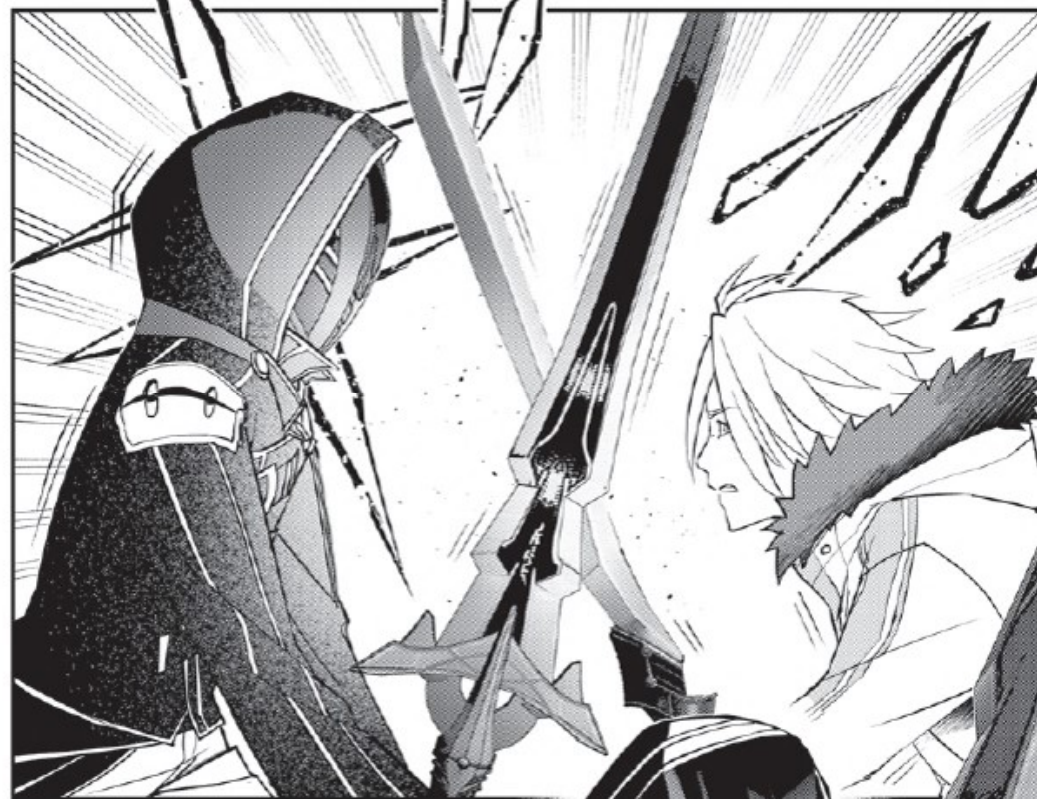
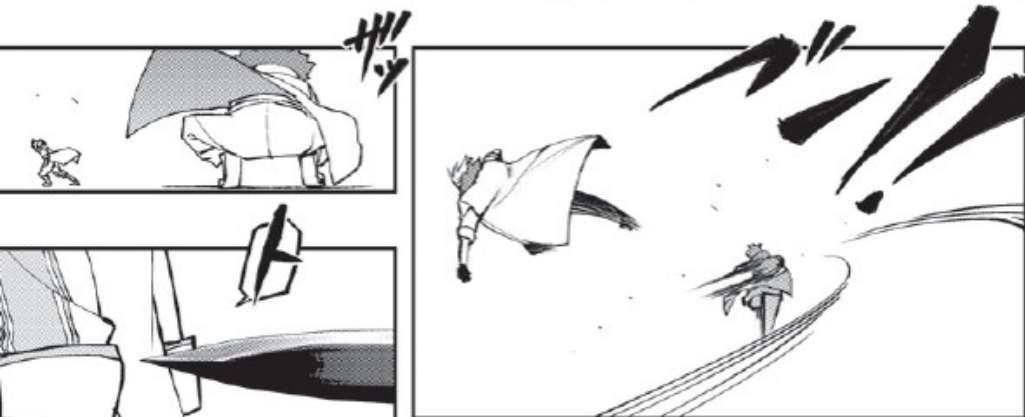
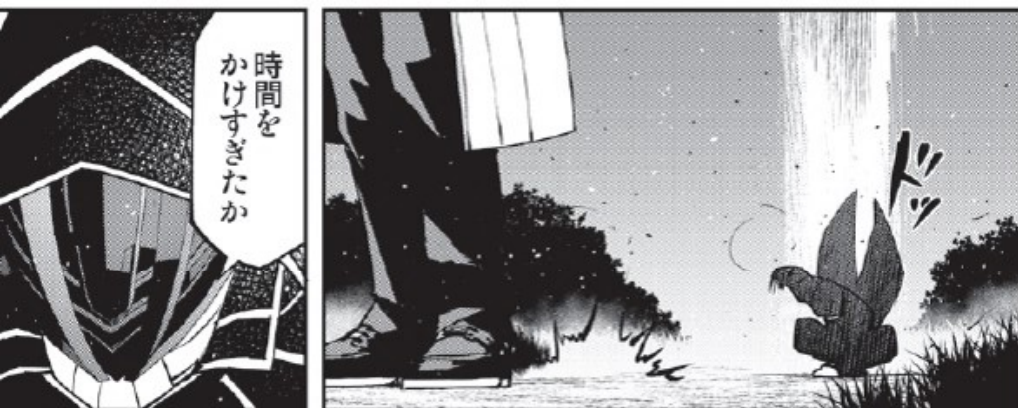
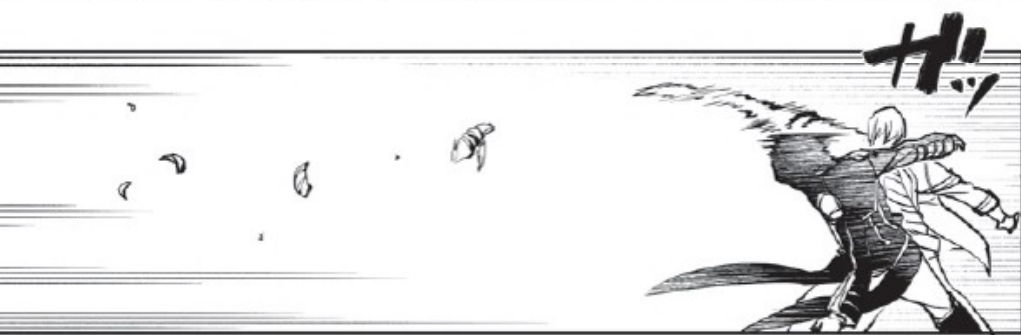
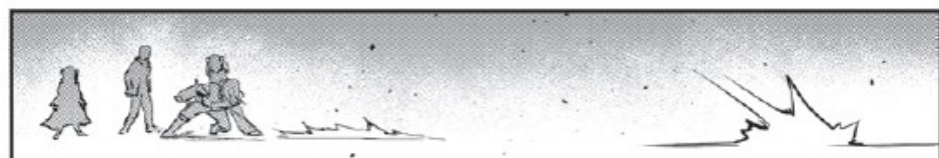
―クロウ・
アームブラスト
さすがに
俺の事は知ってるか
先代としては嬉しいぜ
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

ジュライでのいざこざで もうしばらくこっちには 戻れないと踏んでいたが
あっちも確かに まずい状況だが ひとまず弟分に 任せておいた
頼りになる 後輩がいるってのは ありがたいことだぜ

それで肖像権でも 主張するつもりかね？ もしくは 名誉毀損とでも？
ス…
そうしたいところだが こっちとしても ちょっとした 黒歴史でね…
その仮面を見たら 思わず

ギャキッ
ぶち壊したく なるんだよ！

ググ…
ザッ

君のアレよりはセンスのいいデザインだと思うのだが？
ギッ
ギギ…
ヒューッ
ダッ
トッ
ブン!!
ザッ

君の負けだ
……
ザッ
いや時間は十分に稼いだ
俺の勝ちだぜ

待ってたよ!!
くそっ
これだけ
囲まれると……!
あっ!
もらった!
ガッ
カラ
カラ…

――やれやれ

こうも早くバレてしまうとはね

また成長したなユーシス
リィン君たちも

ルーファス元総督…
いいえ
ルーファス新総統！
どうして…
あなたがここに？

ちょうどいい
タイミングだな

私はあくまでその事件をエサにさせてもらったに過ぎない

エサ…

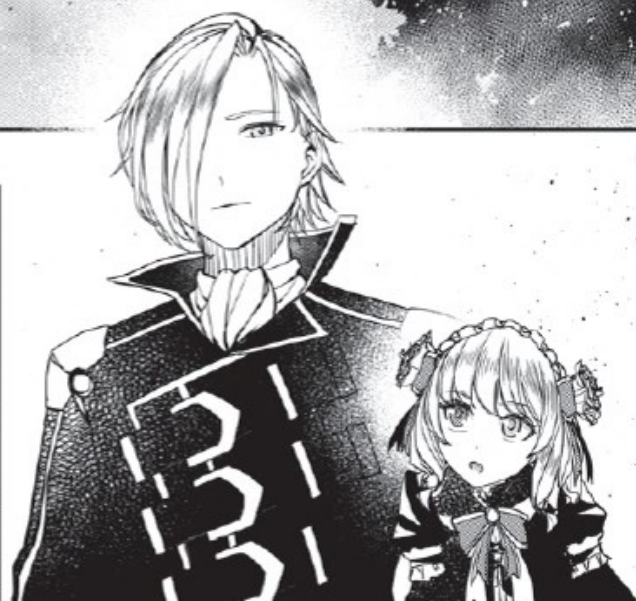
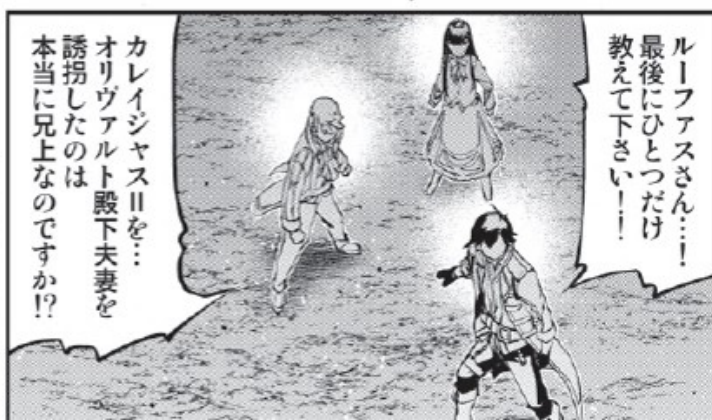
じゃあ殿下達は一体…

カレイジャスⅡの行方を知りたければノルド高原に行くといい

オォォオ　オオ

それはどういう――

それでは諸君次に会うことがあればそうだな――

――クロスベルの地で

《ナインヴァリ》の新規輸送サービス高速艇《アルゴー号》のご利用どうもなー
子供が操縦してるー！
大丈夫かこの飛行艇？
一応許可証は持ってるぞー
オオオオ
つーかあんたらに言われてもな
保護者同伴でピクニックに行くガキ集団にしか見えねーぞ
んー言えてるかも？
しっかし「保護者」の方には驚いたぞー
まさか正体不明のお客が実はあのルーファス元総督だったとはなー
やれやれ先程リィン君達にも言ったが新総統は私ではない
あ今はルーファス新総統だっけ？
ねぇねぇルーファスって何？
つまりこの人は本当は《C》じゃなくてルーファスって言うんだよ～
ルーファス…うん《C》よりかわいい
みんな知ってるって事はルーファス有名人なの？
超有名人だよ
帝国四大名門のひとつ――アルバレア家の長男にして属領時代のクロスベル初代総督
前の大戦では宰相と皇太子と一緒に戦争を扇動して 終戦後はその責任を問われ逮捕された
他にも面白い噂があるけど一般的にはそのくらいかな～
へぇやっぱりナーディアはいろんなことを知ってるね
そういう担当…ということかね？
まぁねぇ～

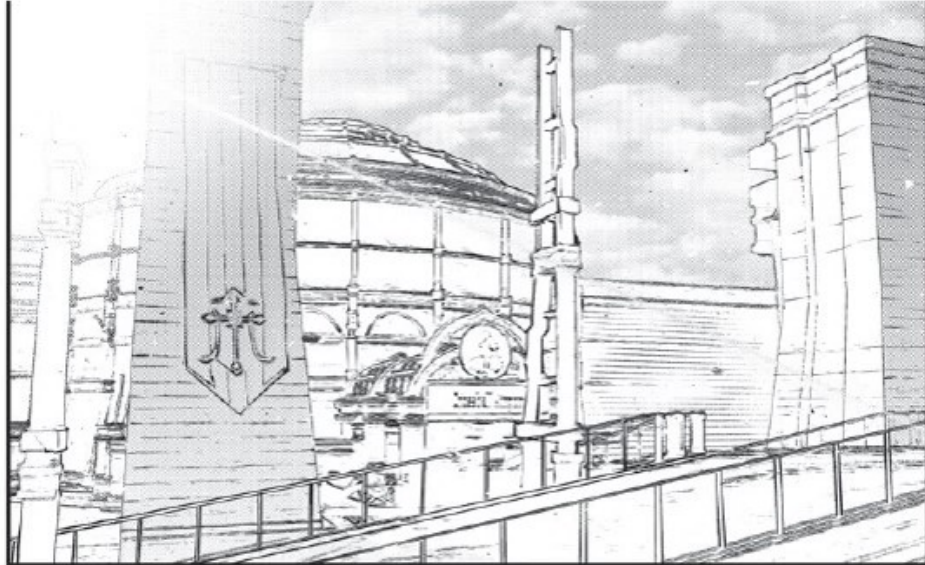
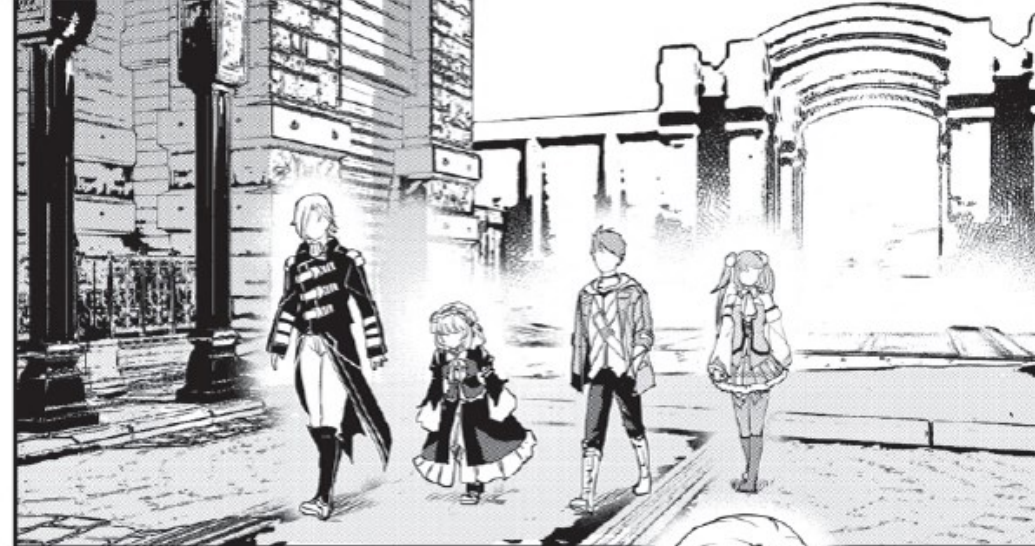
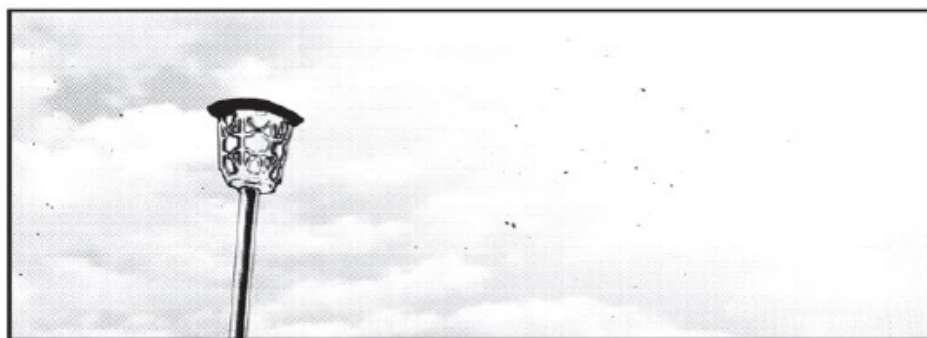
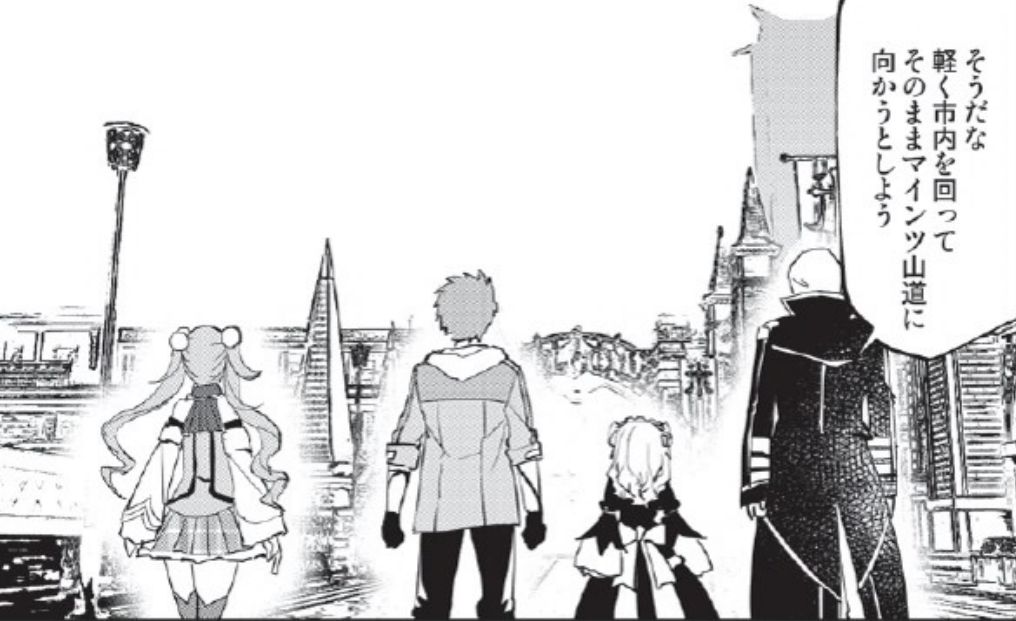
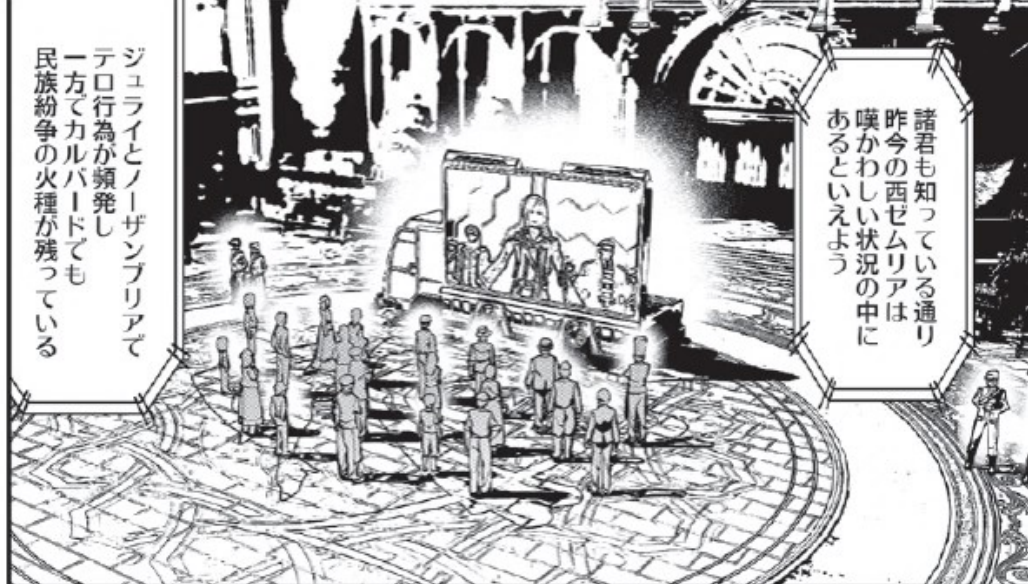
スウィン君にナーディア君
君たちに聞きたい
まぁ…一応
そうなる
彼女を私のところに
届けるように依頼したのは
製作者である
ヨルグ・ローゼンベルク老人
で間違いないかね？
優先度で言えば
帝都での要件を処理した今
このままかのご老人を
訪ねるべきところだが…
その言い方だと
ご老人に
何かあったのかね？
ううん
おじいちゃんは元気だよ～
でも訪ねても多分無駄かな
おそらく
おじいちゃんが
ラーちゃんを
作った事も
含めてね
直接オレ達に依頼したのは
ヨルグ老人だが
彼もまた誰かに頼まれた
と言っていた覚えがある
でもあの様子じゃあ
深い事情までは
知らないんじゃないかな？
そうか…
となると
やはりその
失くしたという記憶を
なんとかせねば…
ラピス 君がどこで
作られていたのか
それに関しての
記憶はないのかね
それについては
心当たりがある
俺たちは別に
ヨルグ老人から
トランクを直接
受け取ったわけじゃない
彼の指示でクロスベルにある
《月の僧院》から
あれを見つけたんだ
おじいちゃんが
クロスベルを出る前に
あそこに隠したみたいだね～

つまりラピスが
作られたのは
クロスベルのどこか
という事になる
…マインツ山道にあるという
《ローゼンベルク工房》か
なんらかの手がかりが
残っている可能性は高いな

彼女の記憶の欠損が意図的なものか
どうかは定かではないが
そこに行けば何か掴めるだろう
次の目的地は
決まったな
Fortsetzung folgt

Crossbell Airport

THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

まさか自分の偽者のフリをするとはな
あはは笑える~
いや一周回ってむしろ尊敬するかも?

諸君も知っている通り
昨今の西ゼムリアは
嘆かわしい状況の中に
あるといえよう

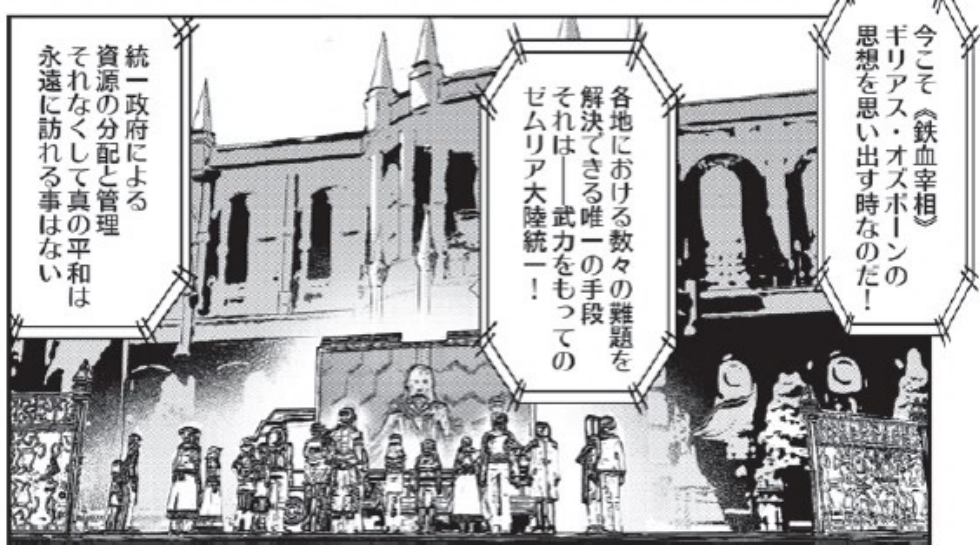
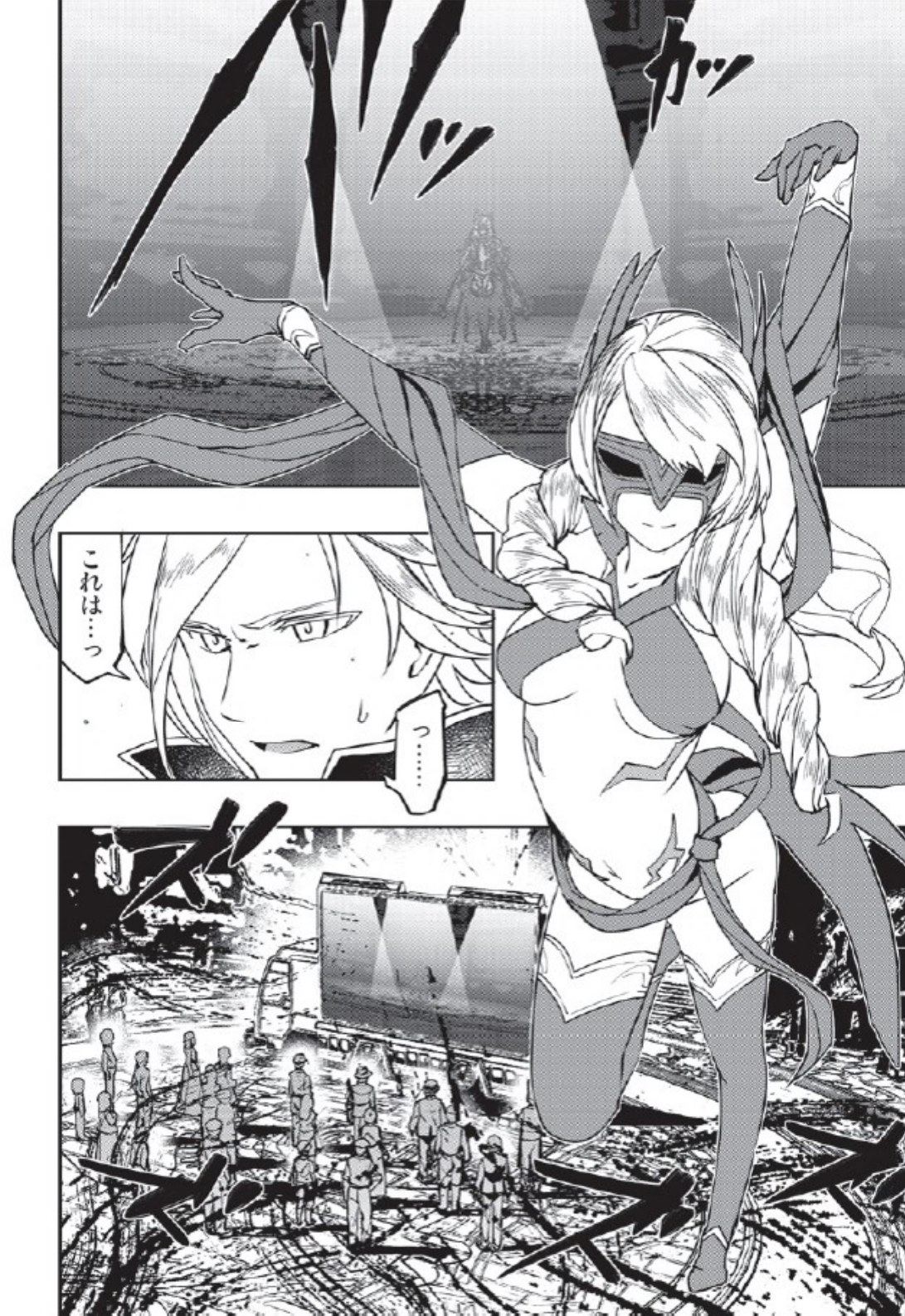
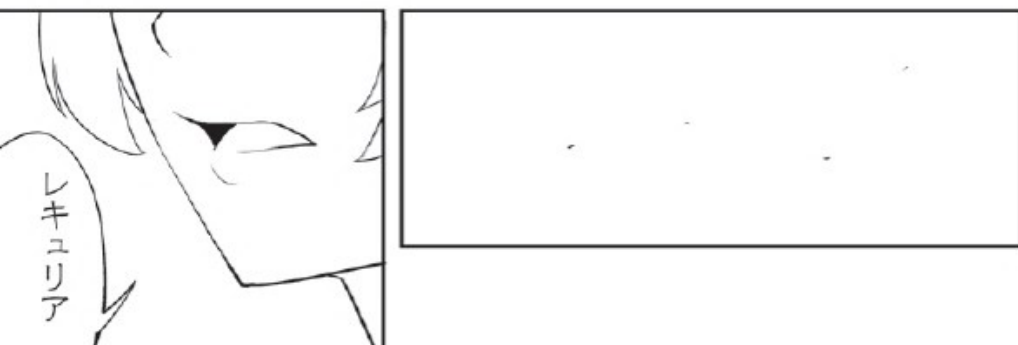
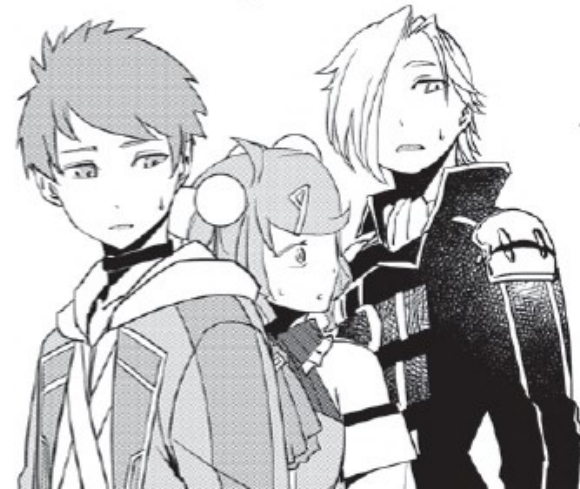
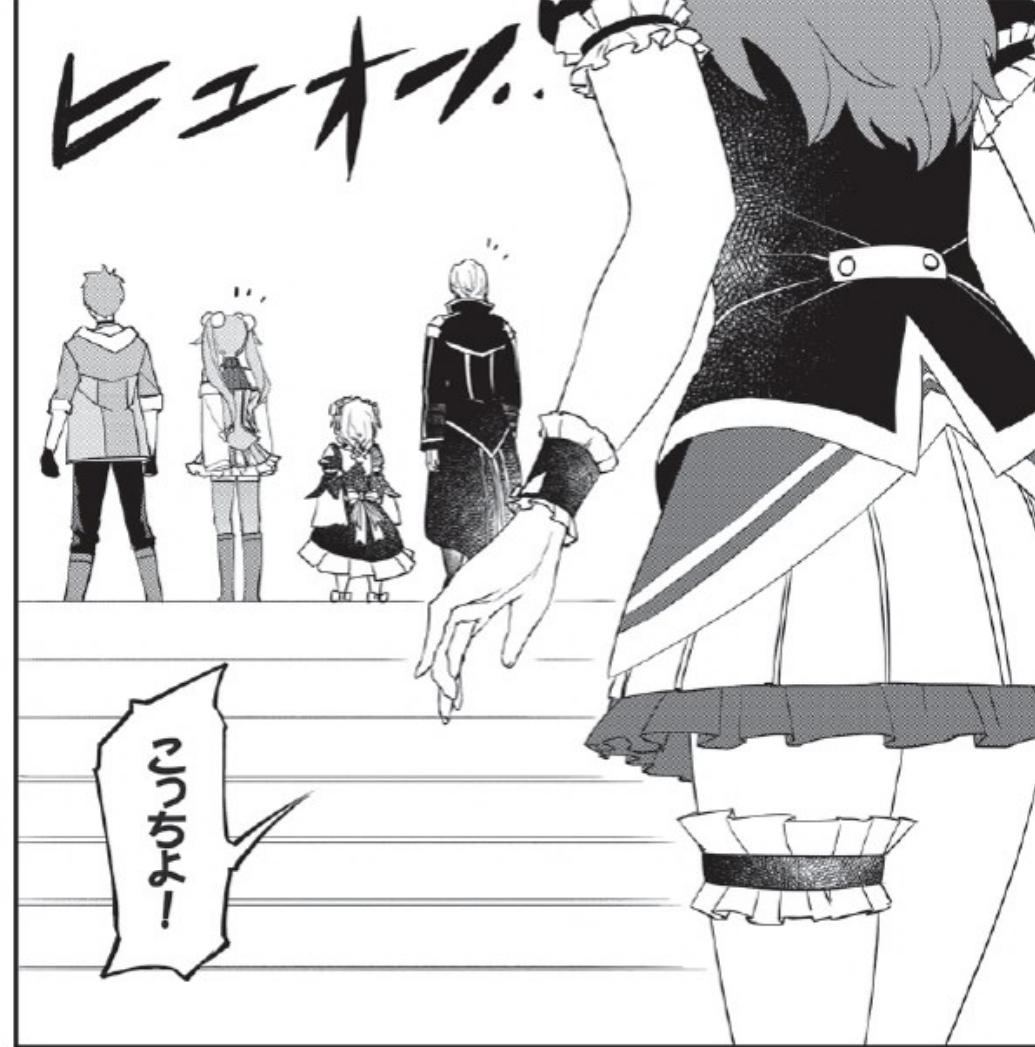
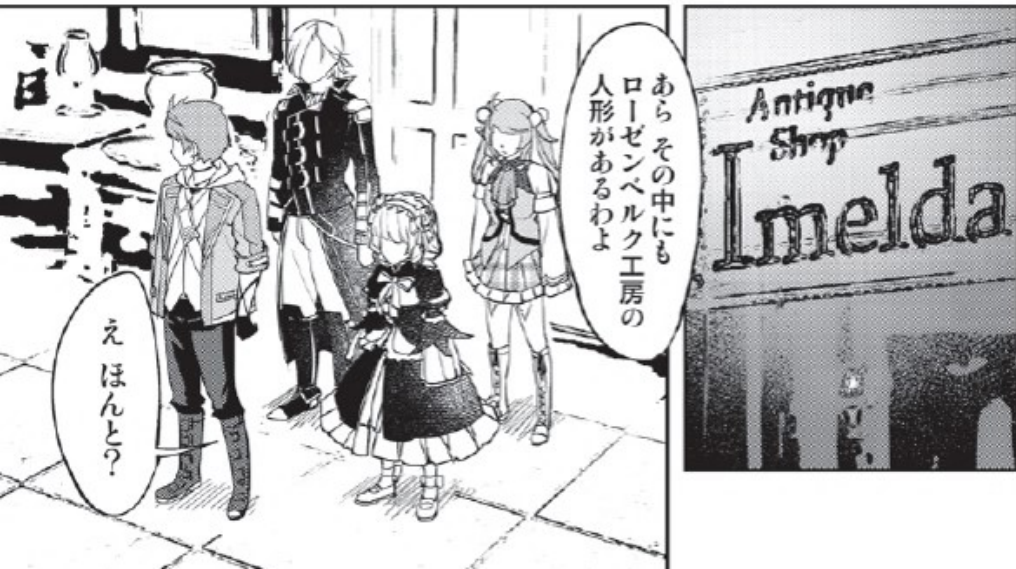
ジュライとノーザンブリアで
テロ行為が頻発し
一方でカルバードでも
民族紛争の火種が残っている

？
すーちゃん見て！映像が——

カッ
バッ
これは…っ
っ……
?
どうしたの?
レキュリア

ヒュオン…
こっちよ！

うわぁ〜 ラーちゃんのお仲間がたくさん〜
ふん これでもローゼンベルクとしての矜持があるの
そこいらの人形と一緒にしないで欲しいわ

Antique Shop Imelda
あら その中にもローゼンベルク工房の人形があるわよ
え ほんと？

ああ！ホントだ!!
この完璧な造形
間違いない！
……
さて まずは
礼を言おう
《殲滅天使》——いや
レン・ブライト君
あの総統さんは怪しいと
思っていたけれど
こういう事だったのね
話が早くて
助かる
確か君は
ヨルグ老人の
関係者だったな？
え？
そうなのか？
ええ
おじいさんには
昔お世話に
なっていてね
なるほど
なーちゃんたちと
同じだね～
ところでレン君
彼女を知っているという事は
ヨルグ・ローゼンベルクから
なにか聞いていたかね？
少し前に
おじいさんから
連絡があったの
一応その時に
あの子の存在を
教えられたけど
詳しい事は何も
知らされていなかったわ
ただ単に必要な時に
あの子の事を
少し助けてやってくれって
頼まれたわ
つまり情報は
持ち合わせていない
か…
ふふ 期待させたなら
ごめんなさいね
ならば当初の予定通り
《ローゼンベルク工房》に
向かうとしよう
あら
あの工房に行くの？
それならレンも
同行していいかしら？
あそこは馴染みの場所
でもあるけど
最近は嫌な人に我が物顔で
占領されたみたいでね

掃除しようにも
レン一人だと
手が回らない
ところだったのよ

ほう…それなら
是非案内を頼もうか

それと出発する前に
もうひとつ聞かなければ
ならない事がある

近いけど 効力は
そんなものじゃないわ

効果も広範囲で
重ねられるとどんどん酷くなる
ところが恐ろしいわね

さっきのあなた達は
完全にかかる前に
魔法(アーツ)でなんとか解けたけど…

何回も繰り返された市民は
そうはいかないわ

――イリア・プラティエの舞か

なんにせよ現段階で対処できるようなものではないだろう

ええ どうしてそうなったかは わからないけどね

そろそろ出発しよう

グラ…
ズドーン！
人形を作る工房にしては攻撃的な人形ばかりだな
ったくどんだけ出てくるんだ

どうやらここから先は簡単には進めないようだ
壊せそうにもなさそう～

どうやらこの端末が関係しているようね

ほう…
これって…

数分前に導力ネット経由で
同じサーバーに
アクセスした端末があるわ
もしかすると

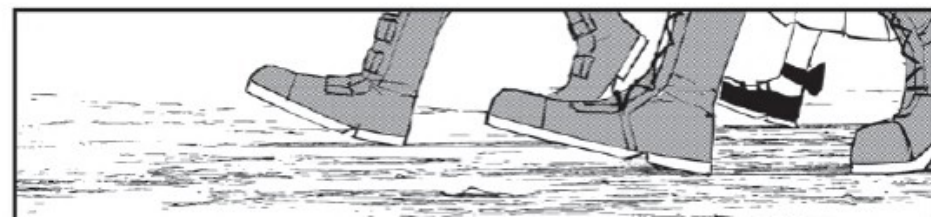
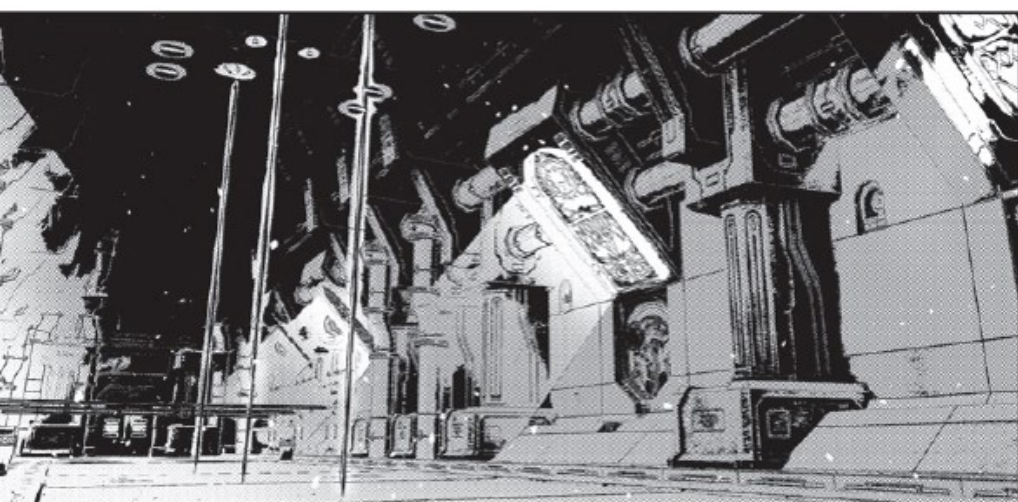
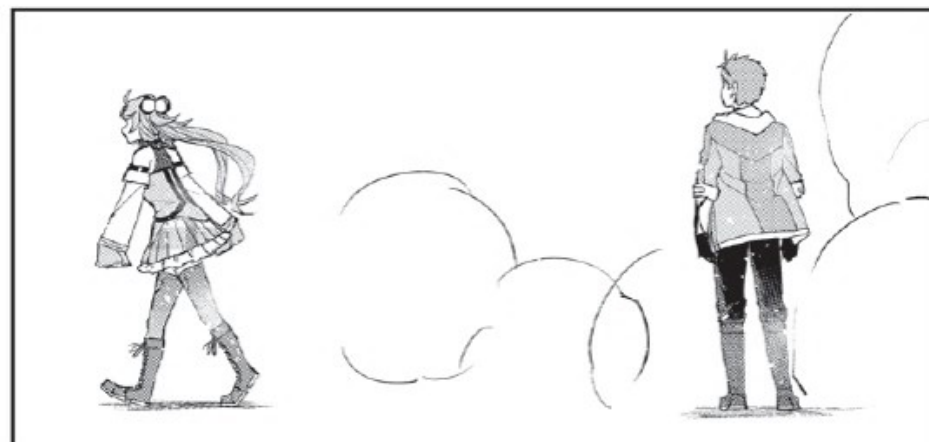
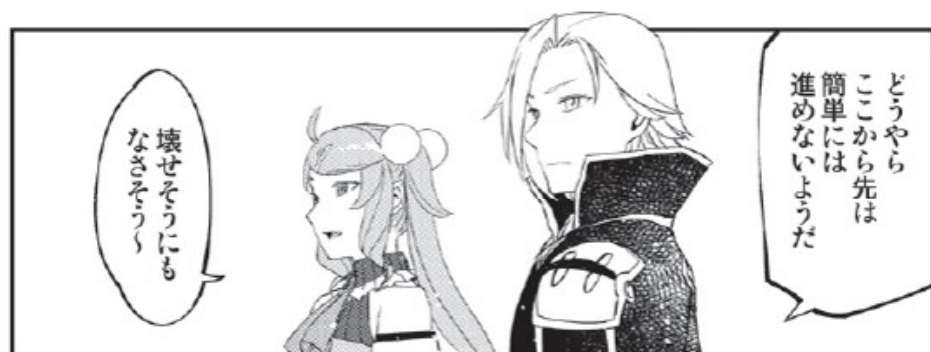
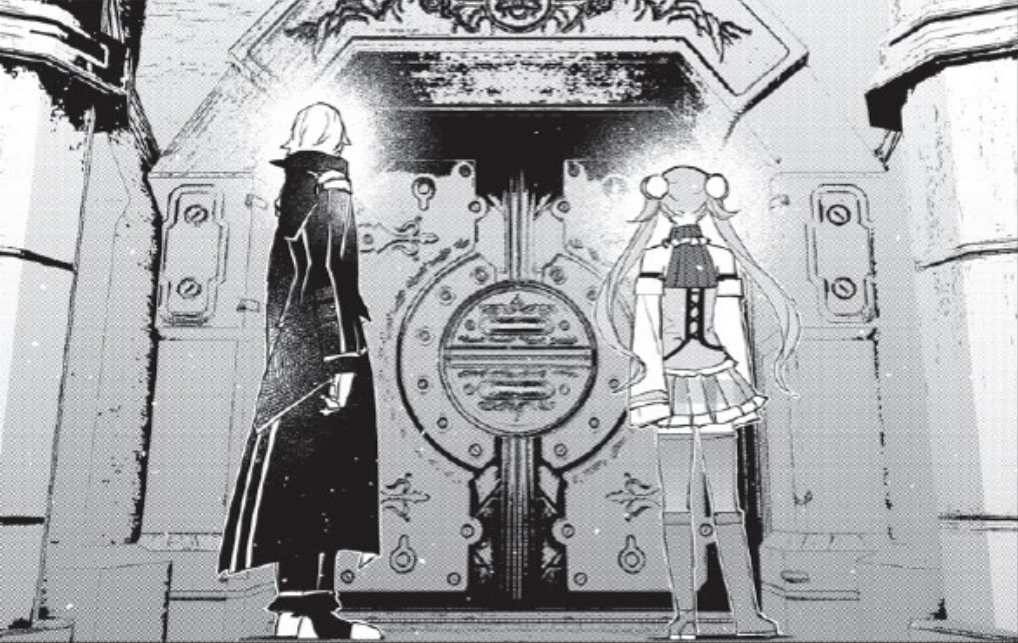
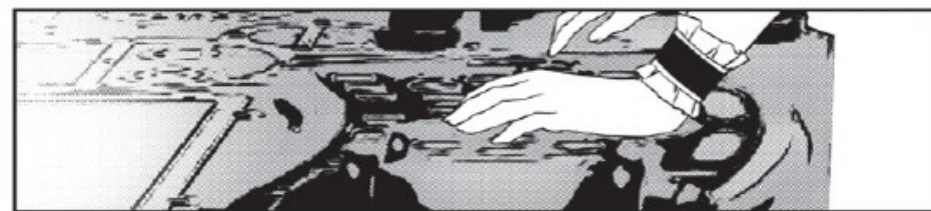
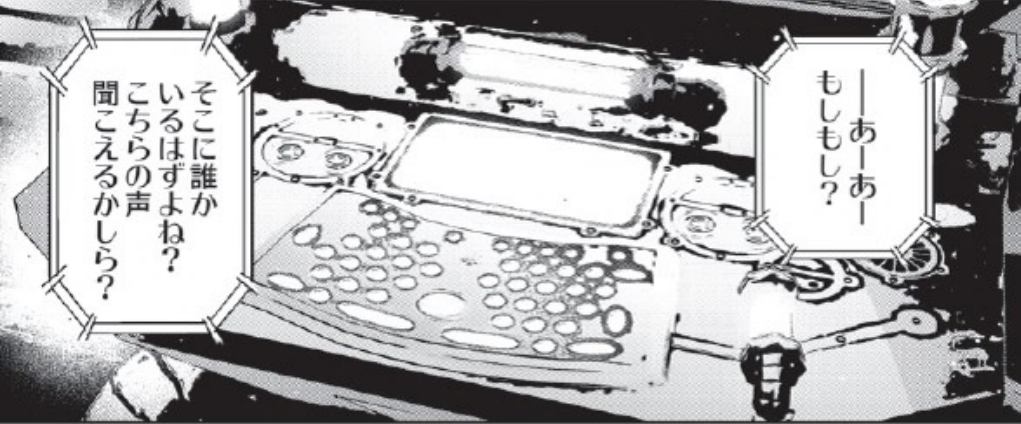
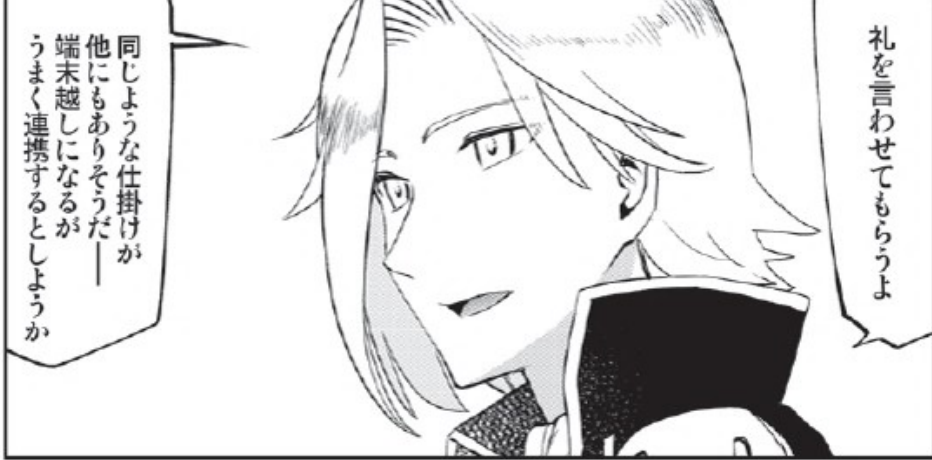
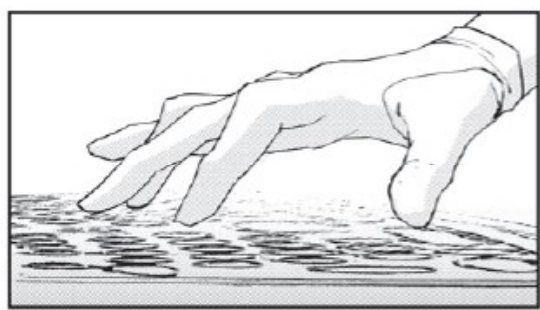
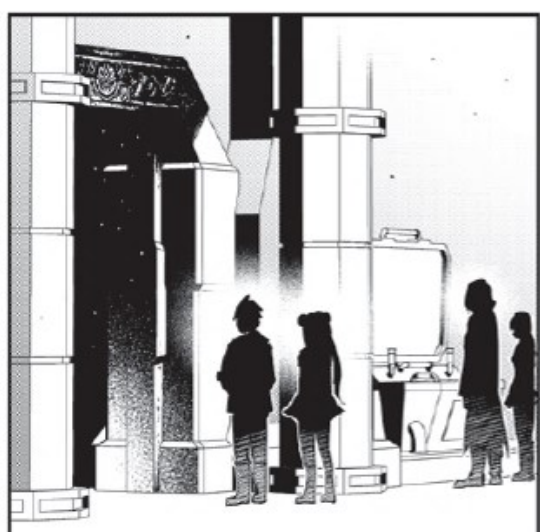
いいだろう
多少のリスクは
しかたあるまい
だが念の為に
変声機を使いたまえ
はいはい

あーあー
もしもし？
そこに誰か
いるはずよね？
こちらの声は
聞こえるかしら？
Fortsetzung folgt

―あーあー
もしもし？
そこに誰か
いるはずよね？
こちらの声
聞こえるかしら？

こちらはクロスベル警察
特務支援課のロイド・
バニングスです
どちらからの
交信ですか？
……
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

だが今の状況は
把握できている
ようだね？
―生憎だが
こちらの仔細を
教えるつもりはない

……

…ああ どうやらこちらと
そちらの仕掛けは
連動しているみたいです
困っているのは
そちらも同じ――
協力する必要が
ありそうですね？
ふふ…
話が早くて助かる
合図に合わせて
キーを入力したまえ
おそらくそれで開くだろう
わかりました
礼を言わせてもらうよ
同じような仕掛けが
他にもありそうだ――
端末越しになるが
うまく連携するとしようか
ええ…了解しました
――あなたが誰かは
今は置いておきます
短い間でしょうが
よろしく頼みます
ふう なーちゃん達も
ようやく
はじめられるね～
……
…この先に
わたしの…
ふふ それでは
はじめるとしよう
案内は頼めるかね？

ええ――とは言っても構造はまったく変わっているみたいだけど
何が仕掛けられているかわからないわとにかく慎重に進みましょう……！
それにしても向こう側にいるのは一体……
複数人で話しているみたいだったけど
……とにかく俺たちは俺たちの集められる手がかりを探そう

ううん おじいさんの趣味じゃないわ おそらくは《彼》の…

これ…は…!

そん…な…!

真ん中から離れなさい! 今すぐ——!!

……

あ…?

……

ゴゴゴ
ふう…
こんな仕掛けまで
用意したとはね…

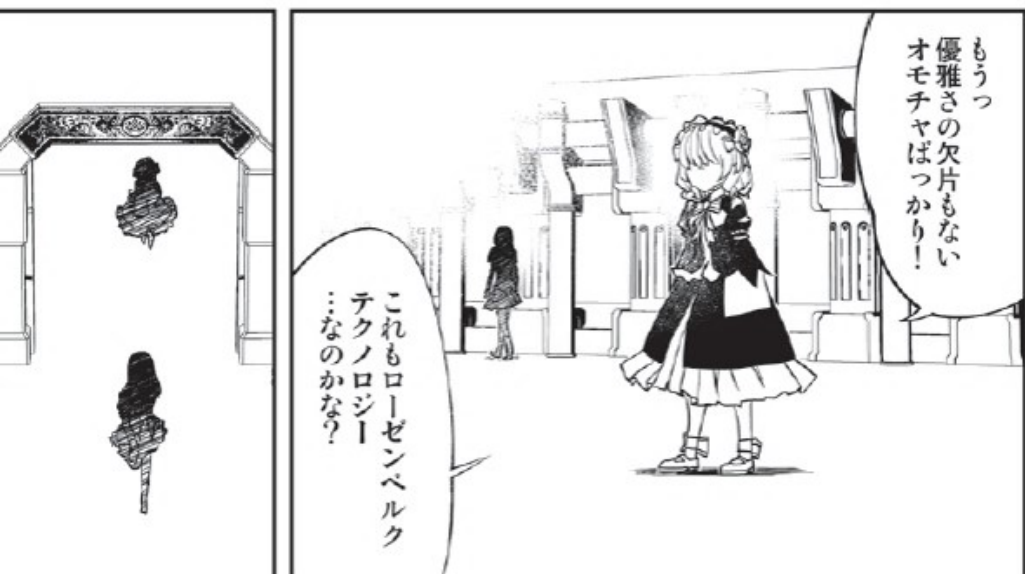
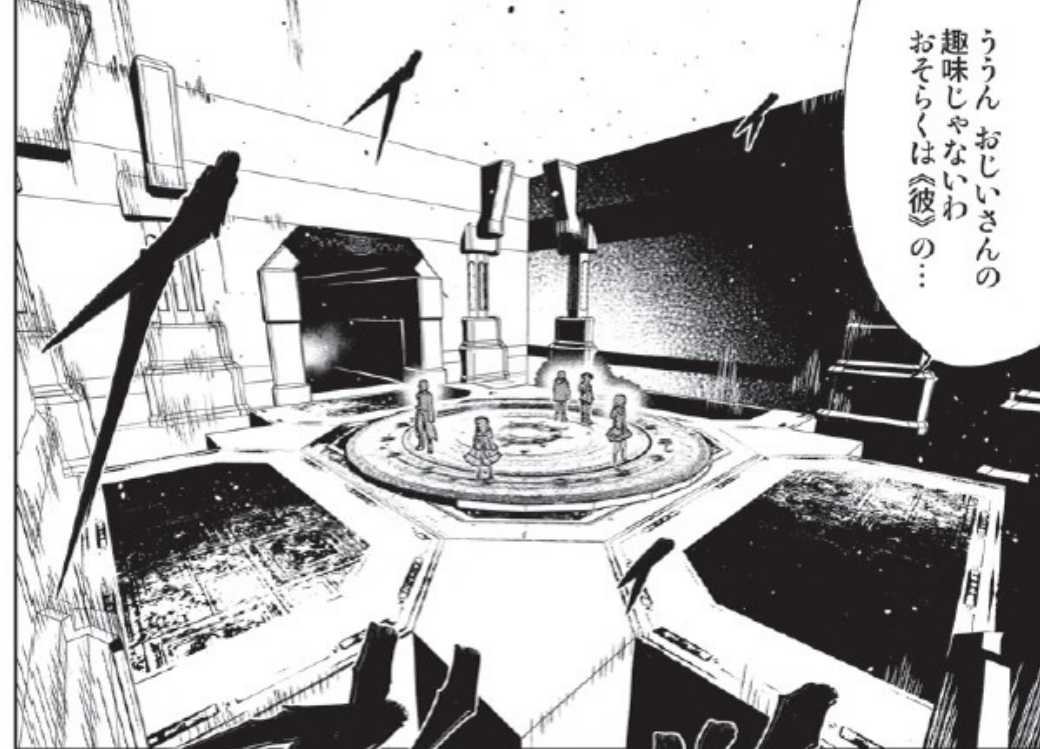
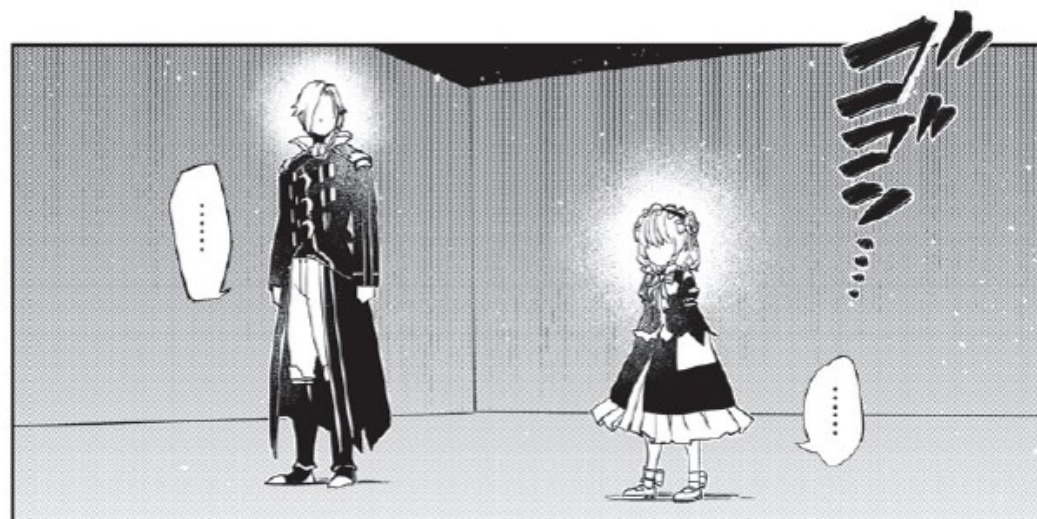
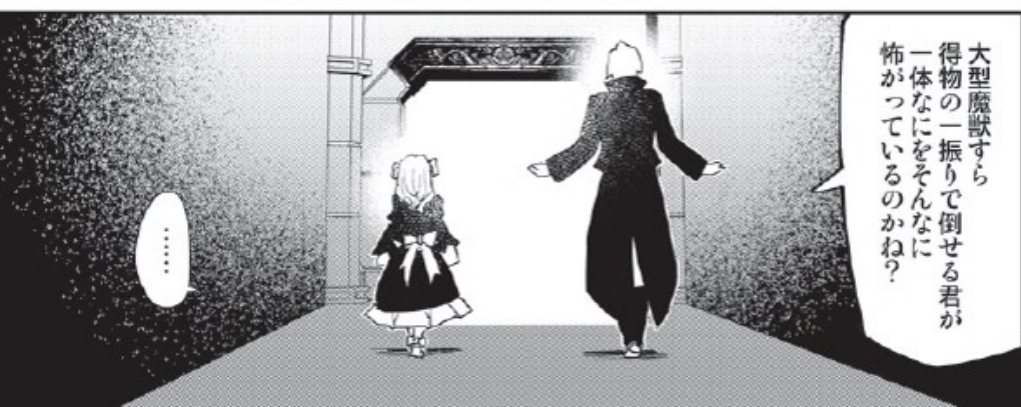
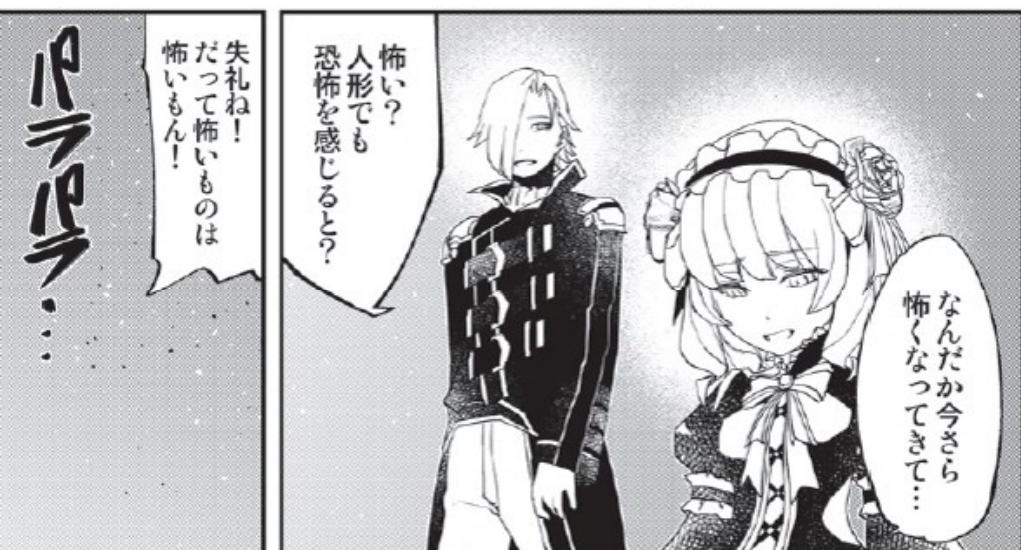
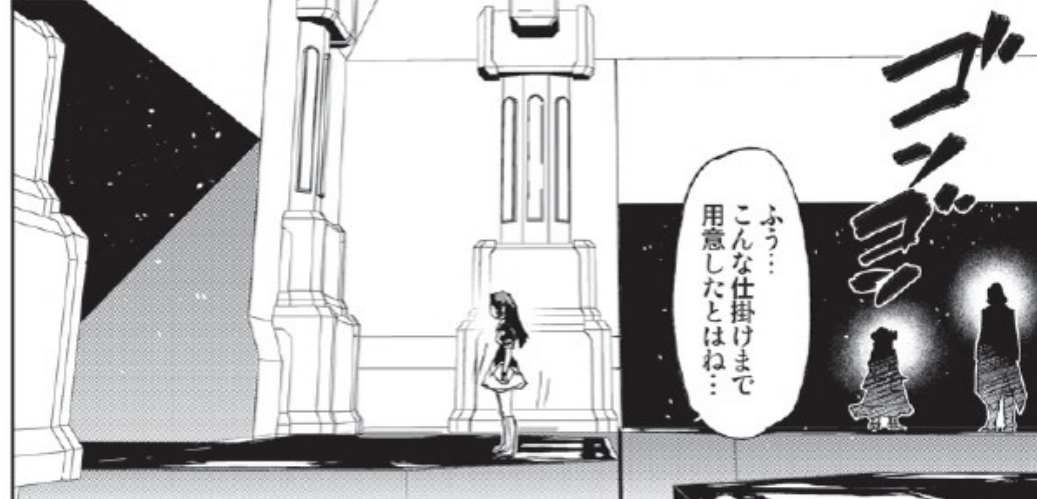
ゴゴ
分断して
きやがったか…
……
ゴゴ

ゴゴゴ…
……
……

私と2人だけに
なるのは
そんなに不安かね？
そうじゃないの！
ナーディアたちが
一緒にいた時は
まだ誤魔化せていたけど

なんだか今さら
怖くなってきて…
怖い？
人形でも
恐怖を感じると？

失礼ね！
だって怖いものは
怖いもん！
パラパラ…

大型魔獣すら
得物の一振りで倒せる君が
一体なにをそんなに
怖がっているのかね？
……

このまま奥に進むのが怖い…
もしデータが残っていて私の記憶が戻ったら…
怖い…
その記憶こそが君が求めてきたものではないか？

そうなんだけどそのはずなんだけど…今はちょっとわからなくなったの…
目覚めてからまだ数日しか経ってないけど…

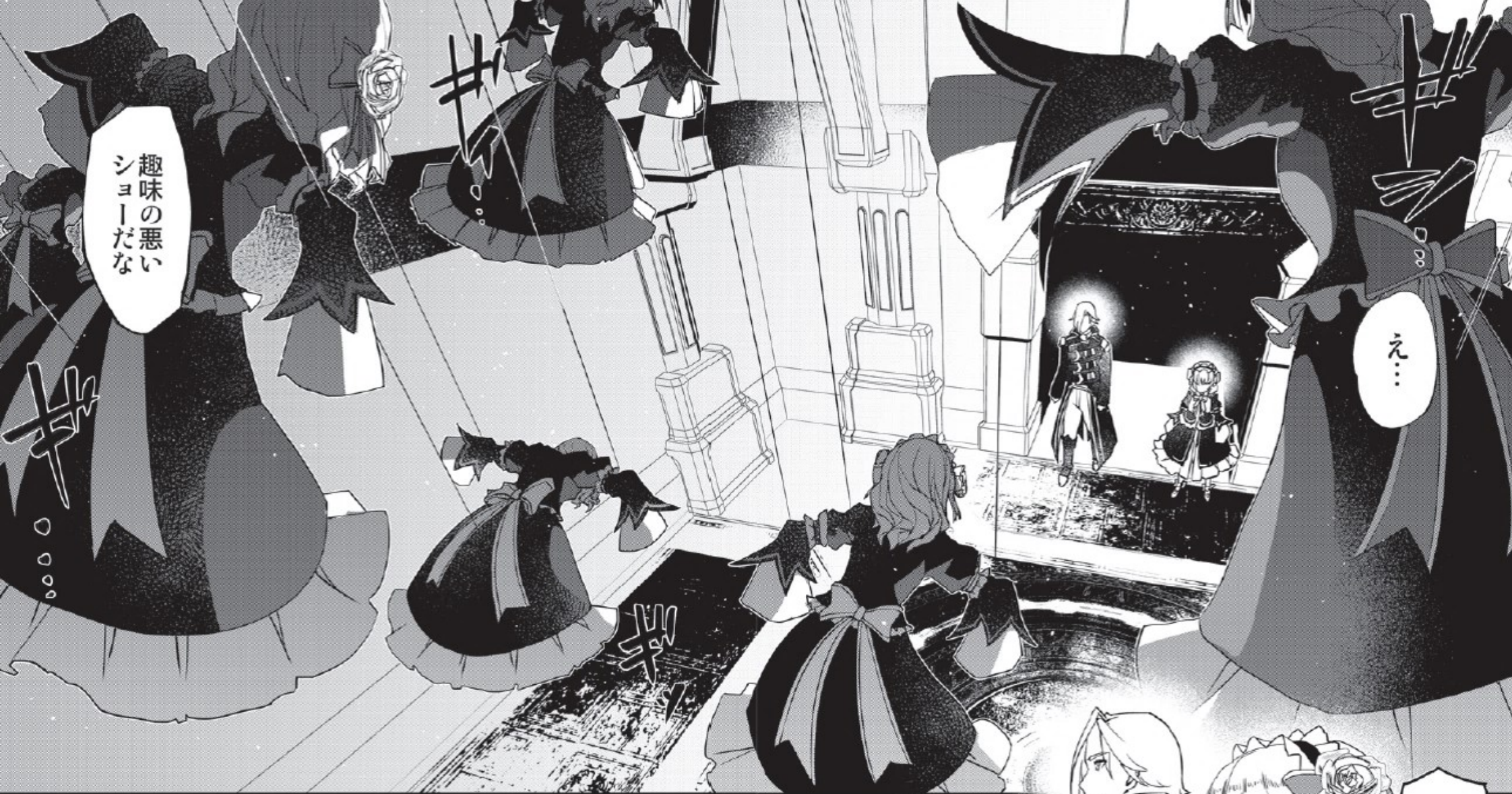
ルーファスと会ってナーディアと会ってスウィンと会って一緒にいろんなことをして本当に楽しかったの…
何も憶えていない私だけどこの数日の記憶だけは間違いなく私のものそれが今の私

でももし記憶が戻ったら…？
なのに他の記憶は入ってそれすらもあやふやになったら…
この体もこの心も作り物
それでもこの記憶だけは本物私だけのもの
その時 私は一体「誰」になるんだろうって…
それは…

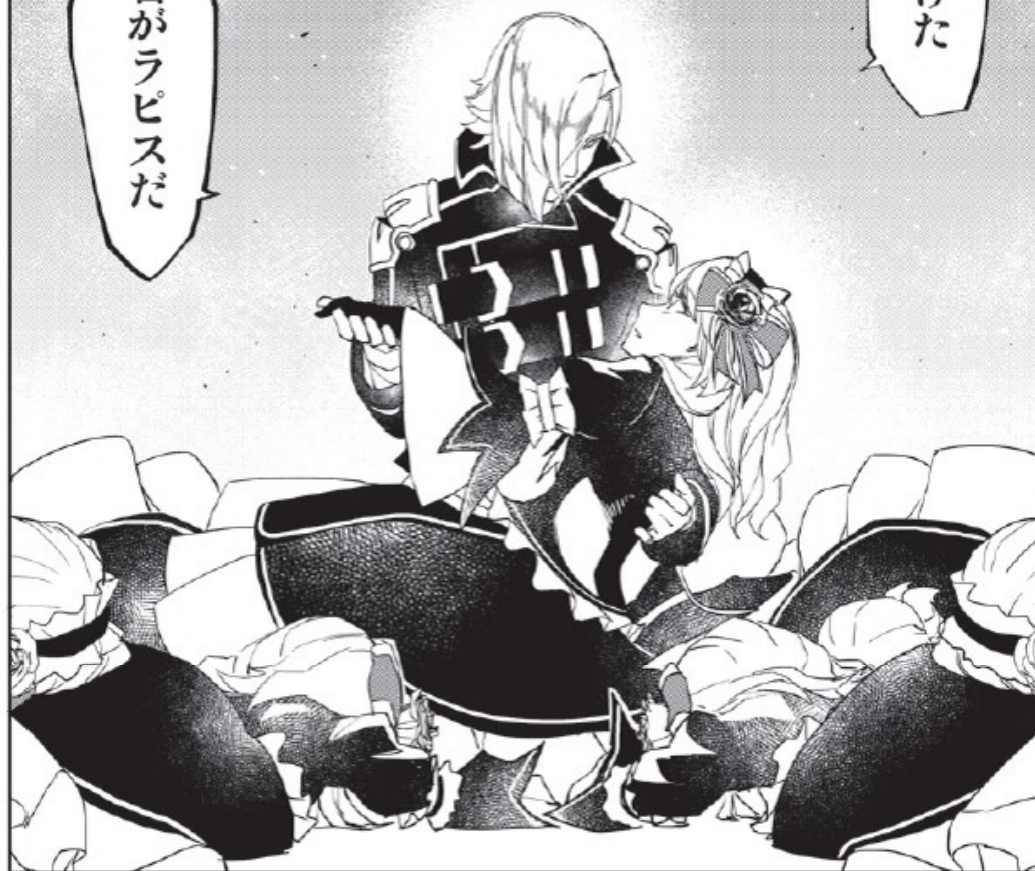
え…
趣味の悪いショーだな
私はラピス！あなた達は誰!?
誰？

誰？
あなたは誰？
あなた達は誰？
私達は誰？
ラピス？
ラピス

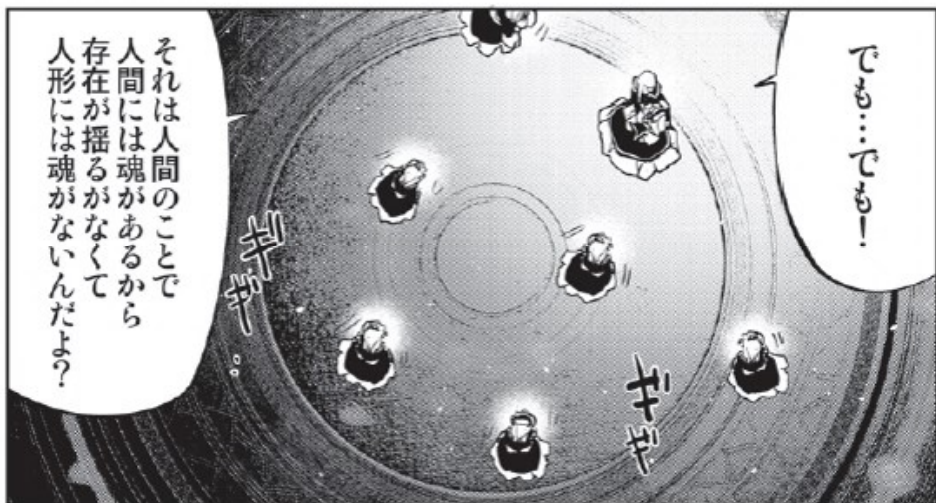
ルーファス！

私と同じ人形がこんなにもいるなんて
だったら私は一体なんなの？

彼女達もラピスを名乗るなら…
私は「ラピス」ですらないの…？

わた、しは……

見つけた
君がラピスだ

ルー…ファス…
どうして…わかったの?

自分の言葉を忘れたのかね?
何があっても
「その人はその人」だと
ならば同じことだろう
どれだけ同型が存在しても
どんなに記憶が変わっても
君は君だ

でも…でも!
それは人間のことで
人間には魂があるから
存在が揺るがなくて
人形には魂がないんだよ?
ギギ…
ギギ

唯一自分だと
証明できる記憶だって
簡単に消せるん…
ト

君はラピスだ

君だけがラピス・ローゼンベルクだ

わたし…だけが…

うう…うわぁぁあああああー

どうやら涙までは再現できないようだ中途半端な連中だな

うるさい うるさいうるさいうるさい!!

私の真似しないで!!

この名前も この記憶も全部私のもの!

ジャキン

誰にも

あげないんだからああ——!

ふう やはりこうなるか
全部ぶった斬るっ…!!手伝ってルーファス!

ふん見たか! これがラピスローゼンベルクの実力よ!

同じなのは外見だけという事か
こちら方面に詳しい訳ではないがどうやら主な技術体系は《結社》の人形兵器のもののようだ
ローゼンベルクも《結社》の《十三工房》に属しているという話だったが
さて 果たしてかのマイスターはこんな杜撰なものを作るだろうか?

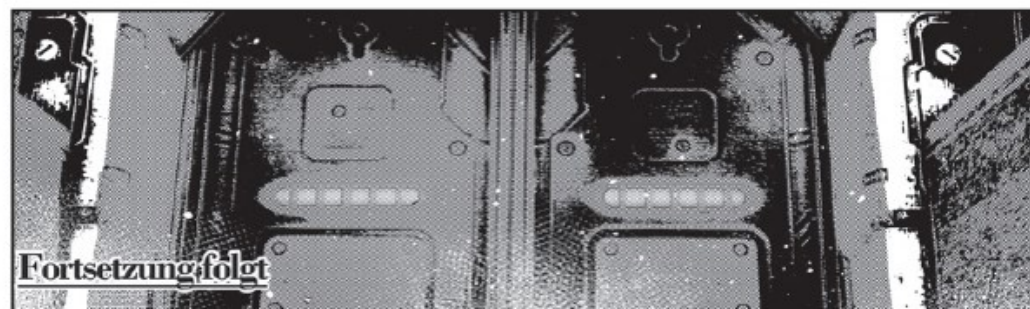
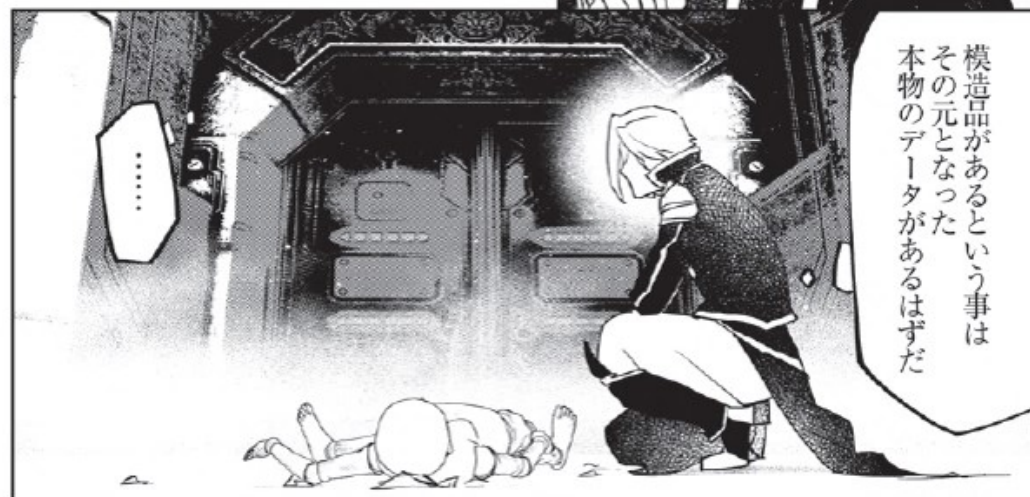
つまり…
どういうこと?

つまりこれらは

・・・ォォオオ
報告に参りました
〝管理人〟


聞こうか



ローゼンベルク人形ではなく
ただの模造品ということさ
うーん…
よく見れば
確かに！
それなら納得ね！
模造品があるという事は
その元となった
本物のデータがあるはずだ
……


Fortsetzung folgt

オオオ
オオ
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作・日本ファルコム

ご冗談を… あのような愚かな行為は二度とありえません

所詮自分は人を殺すことしか能がないただの〝凶器〟ですから

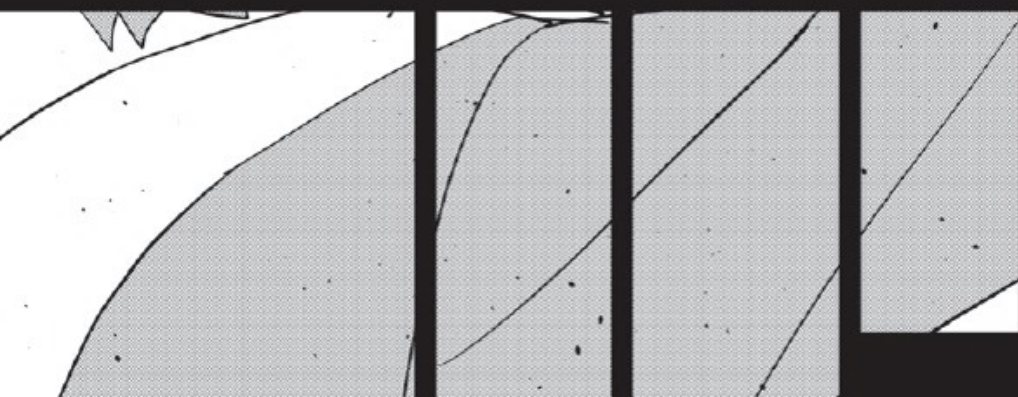
ゴゴゴン…
……
分断してきやがったか…
しかしさっきの圧迫感…
そんなはずは…
まさかな…
〝ヤツら〟がオレを追いかけてくる
今までオレが殺した人たちだ
頭を切られ心臓を抉られ胴体を両断され
それでもオレを追いかけてくる
どこかの政治家も
どこかの貴族も
どこかの商人も
どこかの金持ちも…

来るな来るな
来るな来るなぁ!!

よくも俺たちを殺したなぁ!

オレを突き飛ばし
オレの首を絞める

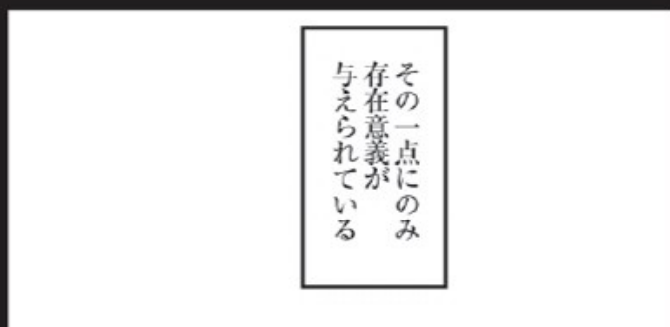
放せ放せ

オレを放せ!!

悪夢から目覚める

荒く息をし全身から嫌な汗が噴き出て
こみ上げる嘔吐感を無理矢理抑え込む
任務が終わった夜はいつもそうだ

何回やっても薄れない
殺人への嫌悪

求められるのは
人を殺す力と命令への服従
ただ〝組織〟が命じるままに
人を殺す

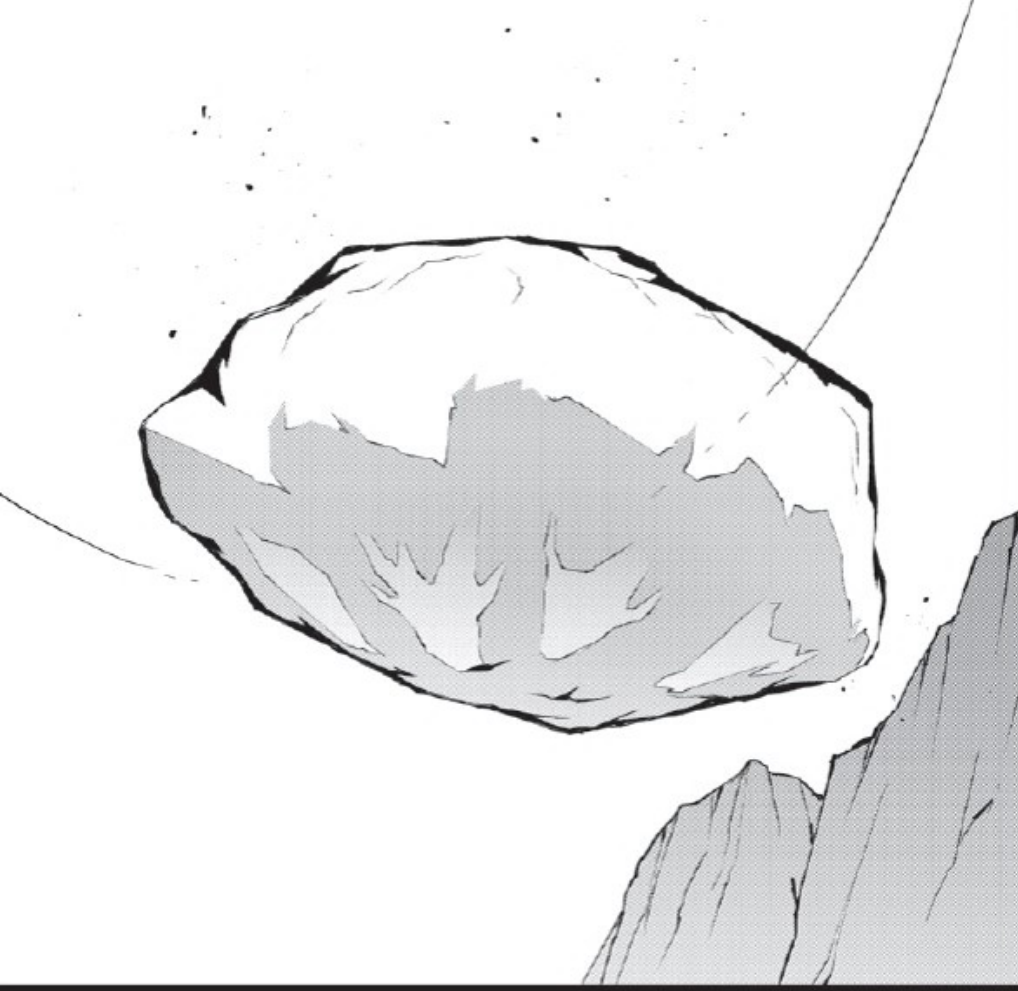
その一点にのみ
存在意義が
与えられている

〝組織〟の下位構成員は基本的に二人一組で行動する
オレのパートナーはソードの9（ナイン・オブ・ソーズ）ひとつ年下の少女だ
通常3年から5年もしくは途中で〝脱落〟する〝養成所〟を1年で卒業した〝天才〟
情報収集 戦況分析 演技 潜入…あらゆる面で優れた才能を持ち
針と糸を武器とするその戦闘スタイルは対人戦で優位に立ち回れる
こと暗殺に関してはその適性はオレの比ではない
ある小さな国にすごく横暴な王様がいた暴君として君臨し悪政を敷き民から恐れられた
ある日 王様が死にその息子の王子が即位した王子 いや新王はとても優しい人で父の過ちを繰り返さないようよき政治をしようとした
しかし先王のように恐れられていなかったせいか誰も彼の言うことを聞こうとしなかった
暴君が生きていた頃は誰も文句を言わなかったのに先王が死んでから不満の声が上がりやがて革命が起きた
革命軍が王宮を攻め落とし新王に悪政の責任を問い国を共和制に改めた
優しい新王は命からがらですべてを失い国から追い出されたおしまい おしまい
つまりその王子が〝管理人〟なのか？
わからないよ～
そもそもそんな国があるかどうかもわからない～

裏切りが〝死〟を意味する〝組織〟
自由はなく あるのは
〝道具〟としての一生のみ

しかし〝組織〟の中には
ある特殊なルールが存在する

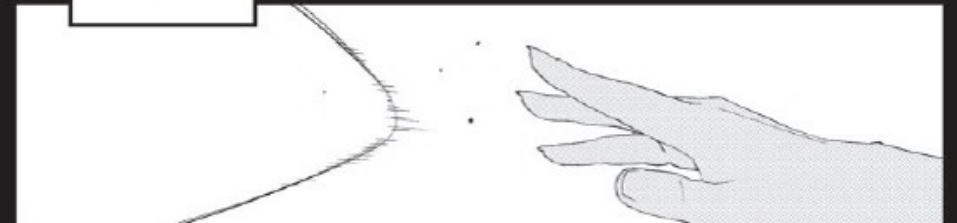
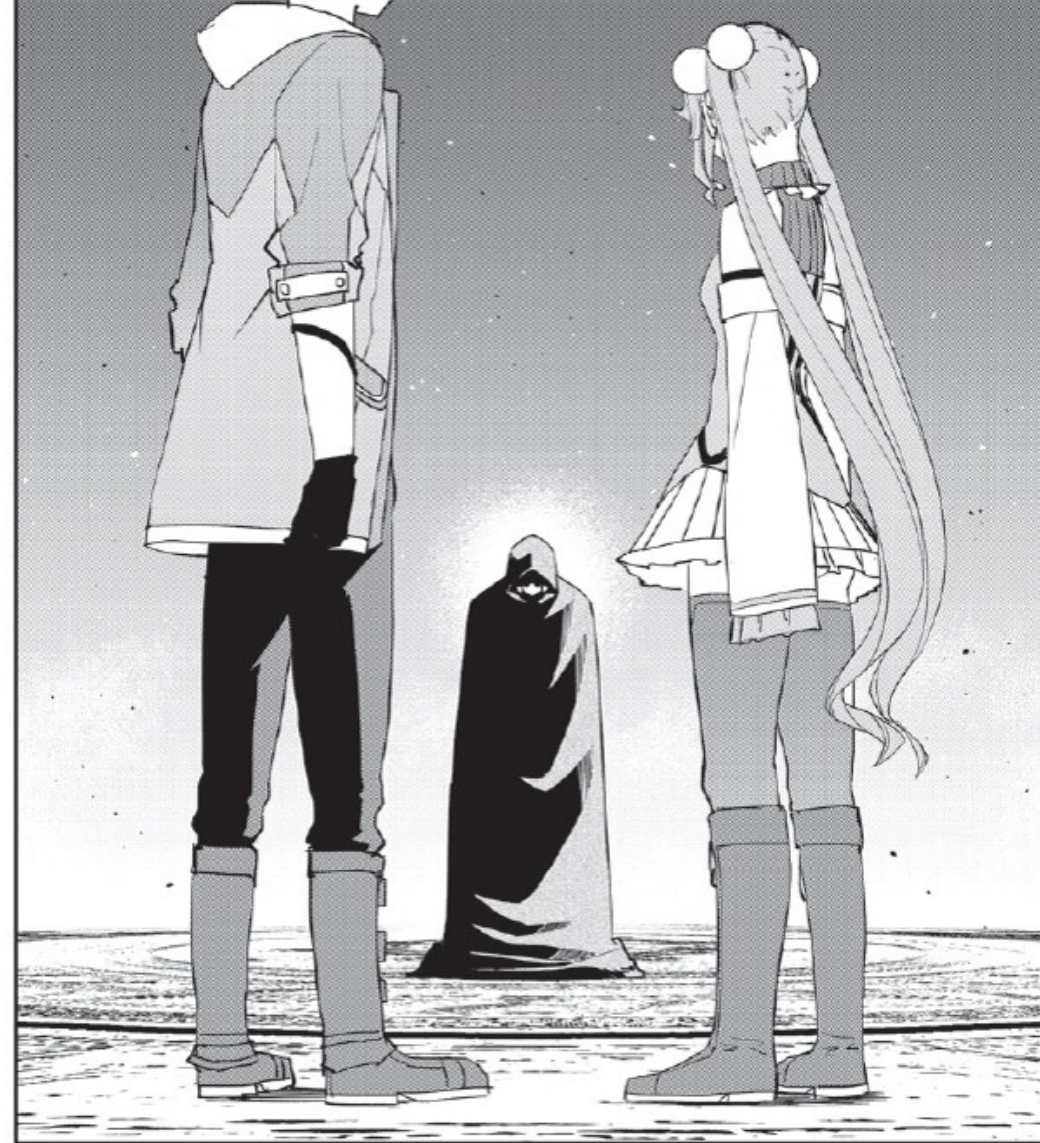
一.パートナーによる
組織の裏切りを察知できた場合
上に報告し証拠を提示する
二.その当人を殺す

それができた者は
自由を
保証される……

あの時
俺たちは
間違いなく…
貴様らあああ
あああああ!!

ボロボロに
なりながらも
やつの追跡を…

断ったはず…だった
だが…

久しいな
我が最高傑作
なっ…
うそだよね…

エンペラー…
貴様は——
死んだはず
とでも言いたいか?
だが現に我はここにいる

Fortsetzung folgt

それだけじゃない
ファサ…
なーちゃん達が各地にばらまいたはずのパーツが全部揃ってる…！
重力を操る古代遺物一式——《照臨のレガリア》！
これの回収には協力者の力を借りたがな
協力者…？
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

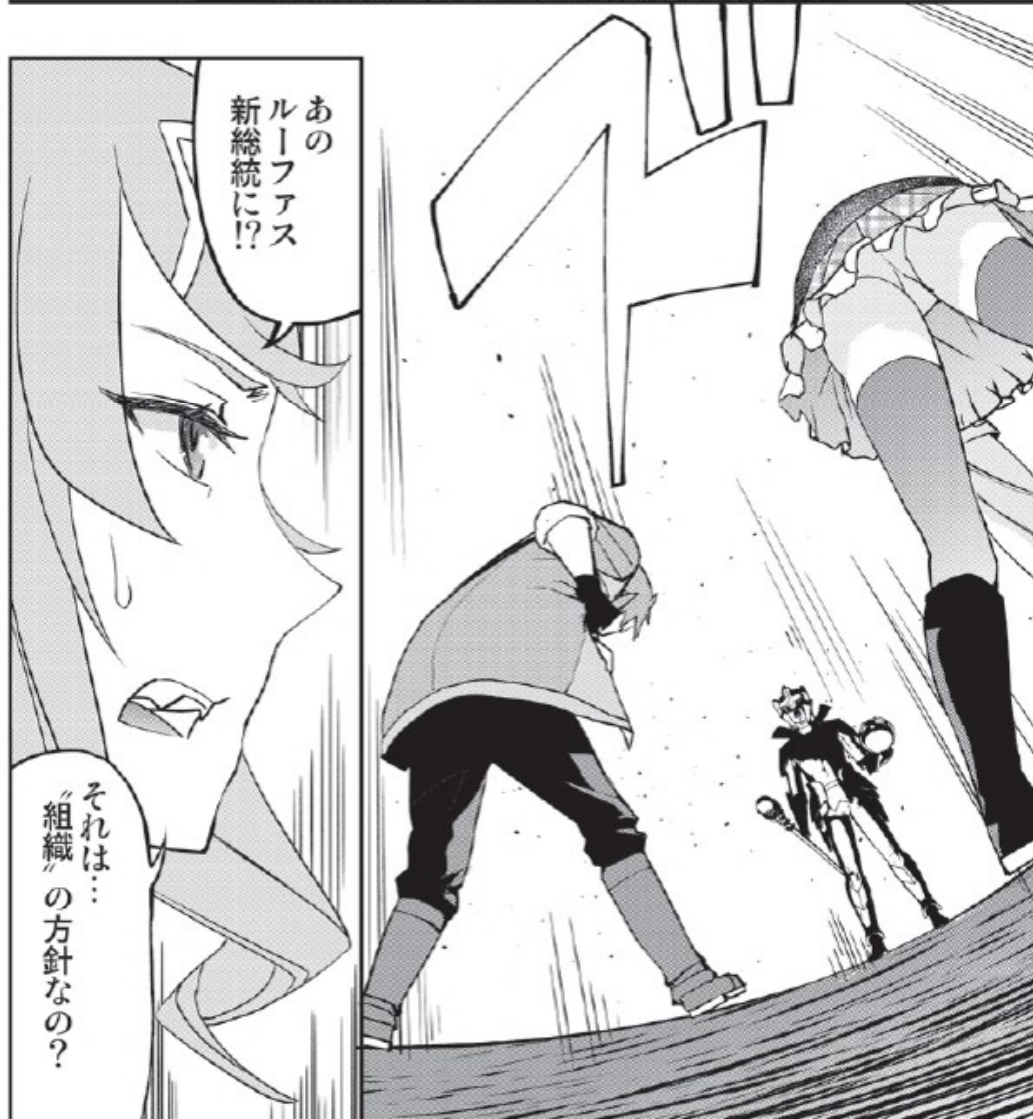
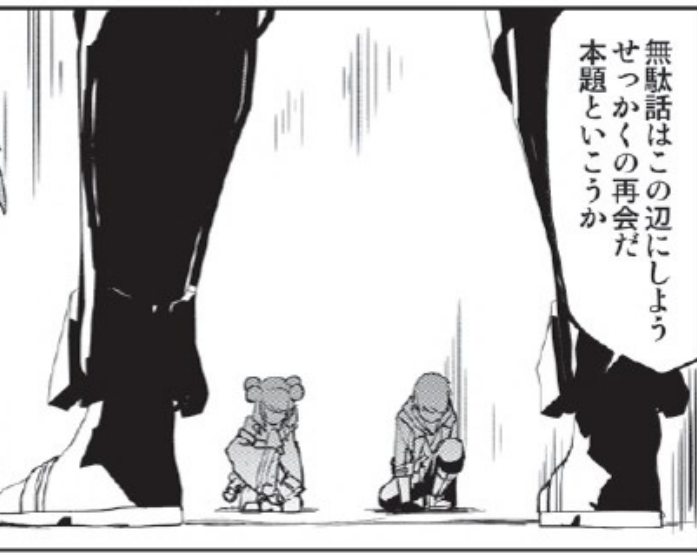
今の我は
この地の新たな統治者に
力を貸している

あの
ルーファス
新総統に!?

それは…
〝組織〟の方針なの？

あくまで
我の判断だ

……

〝組織〟はこの件で
動いていないし
他の管理人も
関知していない

無駄話はこの辺にしよう
せっかくの再会だ
本題といこうか

……

我の下へ帰れ

そうすれば組織を裏切った事は不問とする

何を寝ぼけたことを…

これは提案ではない命令だ

君たちは我が育て我が管理した〝道具〟人を殺すためだけに存在する〝凶器〟だ

万全な状態ではなかったとはいえ一度はこの我すらも倒し組織から脱走した

そのポテンシャルを高く評価しよう

ククッ
いいだろう

ならば今この場にて
〝再教育〟をはじめる！

死にぞこないの
くせして
よく言う！

煉獄行きのチケット
もう一回
サービスしてあげる！

我が道具よ
今こそ
矯正してやろう…！

道具は
道具らしく
しておけ!!
愚か者どもが!!

フッ!!

あの時より
強くなったな
ドッ
あれから散々
組織の追手と
戦わされたんだ
強くもなる
クックックッ
やはり君たちは
最高の素材だ
我がこれから…
ねぇ もう…
いいんじゃ
ないかな?
なに…?

すーちゃんも薄々気づいてるんじゃないの?
戦闘中の細かい癖なんかに
……
ああ わずかだが違和感がある
主な戦い方は以前のエンペラーと同じだけど
細かい動きの角度
先読みの順番
回避時の方向…
以前のエンペラーとは違うよね
……
あの時と違うのは君たちだけではないということだ
それが意味があることならね
絶対支配がモットーで〝組織〟に背いた人間を全員容赦なく殺してきたエンペラーが――
条件付きとはいえなーちゃんとすーちゃんの裏切りを『不問にする』なんて…
それと〝組織〟の方針を無視した独断での行動…
以前のあなたじゃ考えられない事よ?
あなたのその変化は特に強くも弱くもなってないしフェイクとかに繋がるわけでもない
意味がないのに変わったの
つまりこの人は死んだはずのエンペラーじゃない
限りなく本物に近い――
偽物よ…!
……

フフ ご明察だ

誰だ！

まぁ私が誰なのかは この際 重要ではないだろう？

それよりそこの君 見事な分析だったたな

あのルーファス総統と協力関係にあるなら―― そういう事だと疑うのは むしろ自然じゃないかな～

ほうほう 状況分析も情報処理も適切 ますます優秀じゃないか

どうかね 私の実験材料になってみないかな？

…はぁ？

なんなの この人？

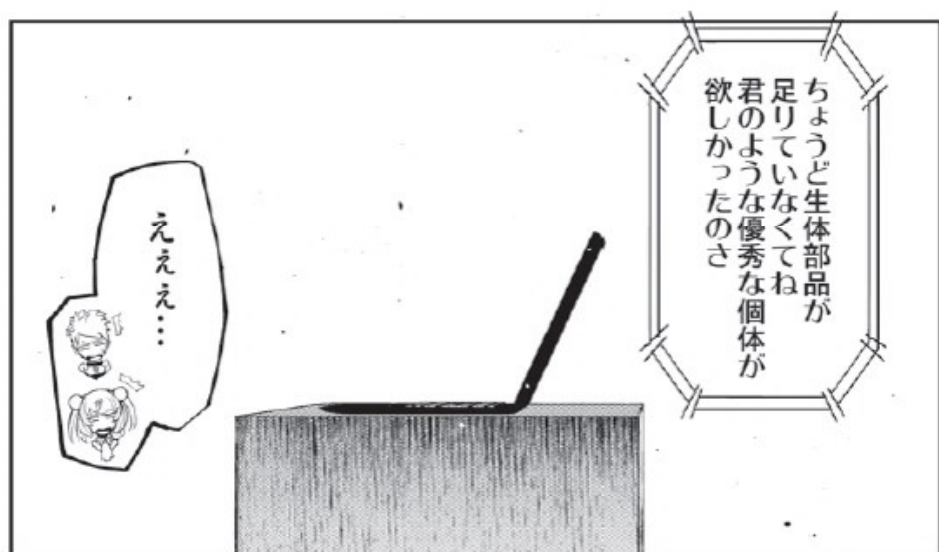
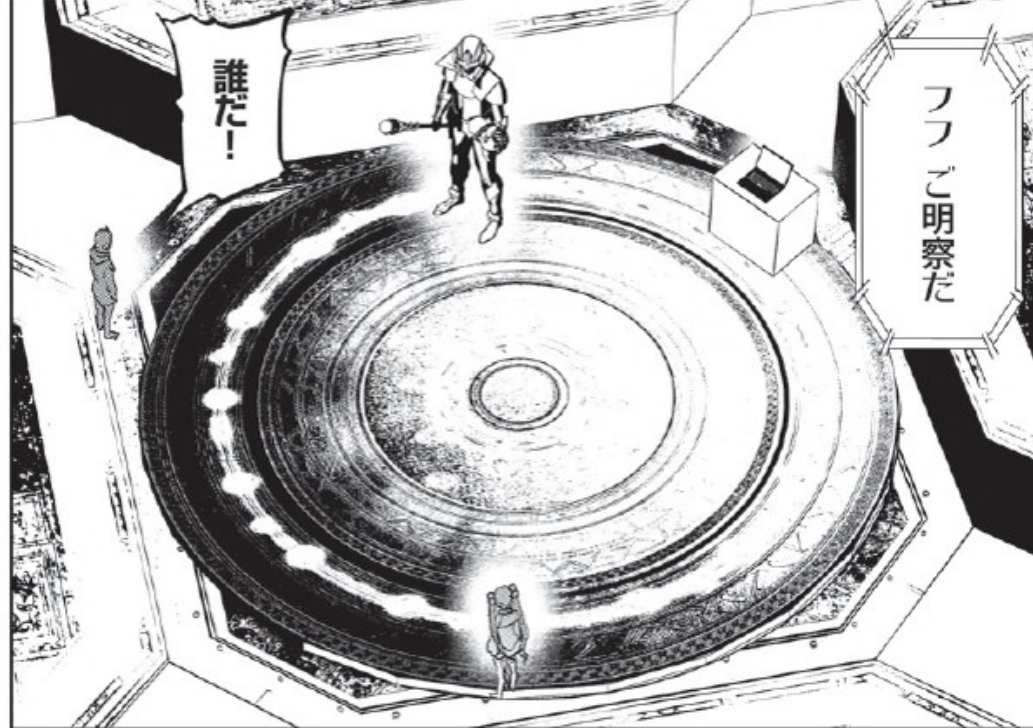
ついていけないいな

ちょうど生体部品が足りていなくてね 君のような優秀な個体が欲しかったのさ

えぇぇ…

ふふ

ト

レンに振られたばかりなのに もう他の子を勧誘してるの？

博士って節操がないわね

優秀なものはいくらあっても足りないからねもちろん二人一緒に来てくれても歓迎するよ

雇い主の私を差し置いて引き抜き交渉はやめてもらおうか？

ナーディアー！スウィンー！

みんな無事みたいだね～

おやおや役者が揃ったか余興の方はちゃんと楽しめたかな？

博士――……

ふむ 何かね？

邪魔だ！

我の〝再教育〟の最中だ出しゃばられては困る

まだそんな事を……

あなたが本物のエンペラーじゃない事はもうお見通しなのよ？

それがどうした？

オリジナルのエンペラーはもはやこの世にいない

ならば……

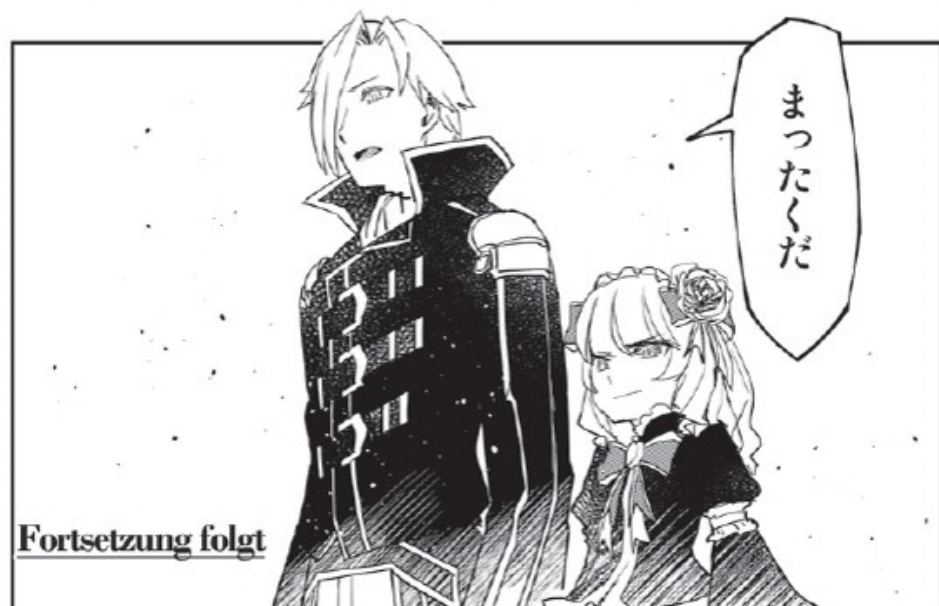
この力と記憶を与えられた我こそが唯一にして〝本物〟のエンペラーであろう

そして君たちふたりに対してのこの執着こそが我を我たらしめる存在証明――!!

でもまぁこの状況じゃあ…

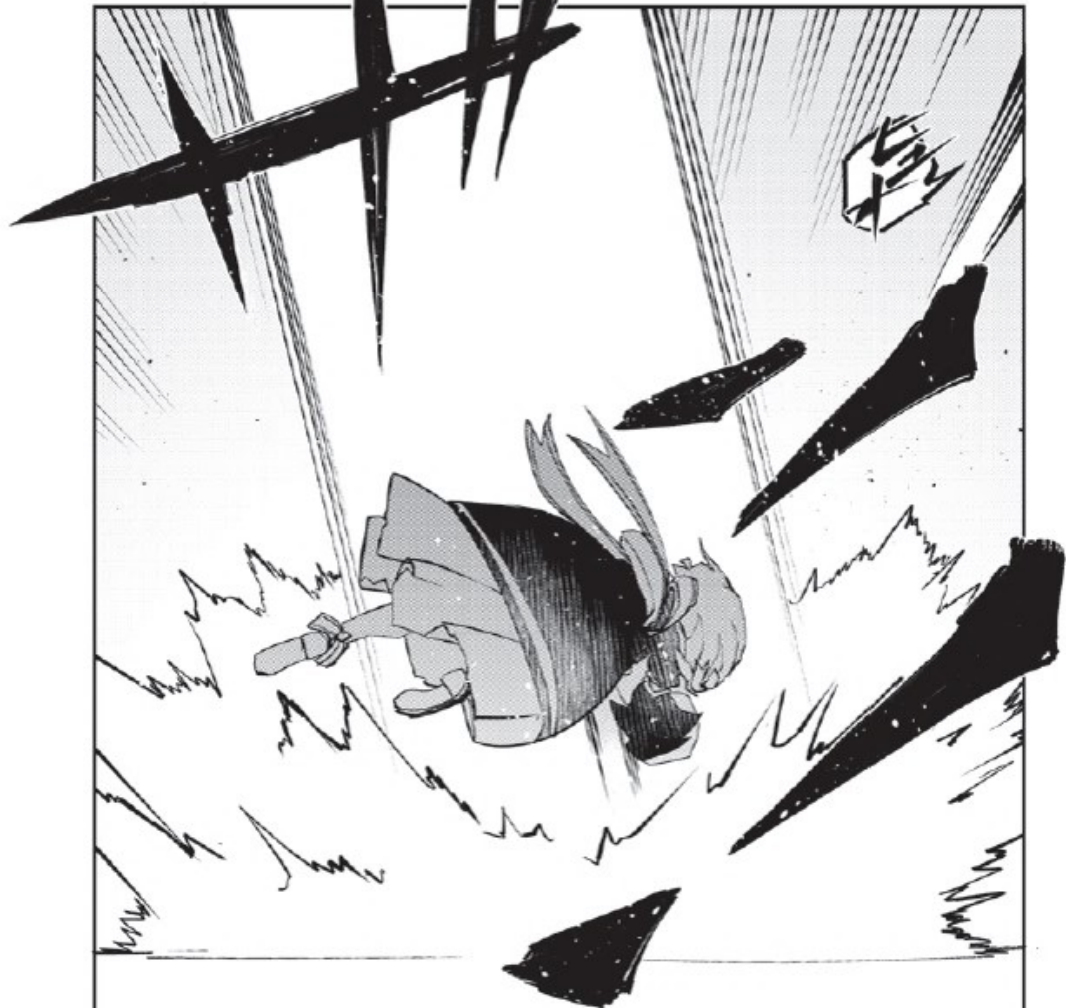
負ける気がしないね～

まったくだ

Fortsetzung folgt

ふっ…仲間か…
同じ目標に向けて助け合う 互いの心を通わせる なんとも素晴らしい！

故にこそ——
君たちには過ぎたものだ

それは人間にこそ相応しい概念だ
お仲間たちは知っているのかな？君たちが人間ではなく道具として育てられ使われてきた事を
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

その両手には
拭いきれないほどの
血を浴びて
数多くの命を
奪ってきたことを
それは…
まさか今更
人間のふりをすることで
何かが変わるとでも
思っているのか？
うる…さいなっ！
君たちは所詮
命令どおりに人を
殺すだけの凶器だ
その過去がある限り
どんなに足掻いた
ところで――
人間にはなり得ない！
仲間を得る資格もない！

2人をいじめないで！

ほう？ そんな人間のなり損ないをも庇いたてるつもりかね？

庇うも何も相手が悪かったわね

あいにく他人の辿った道にどうこう言えるほどレンたちも温かい過去を過ごしていないわ

この身が背負う大罪と比べれば殺し屋くらいむしろ可愛いものだろう

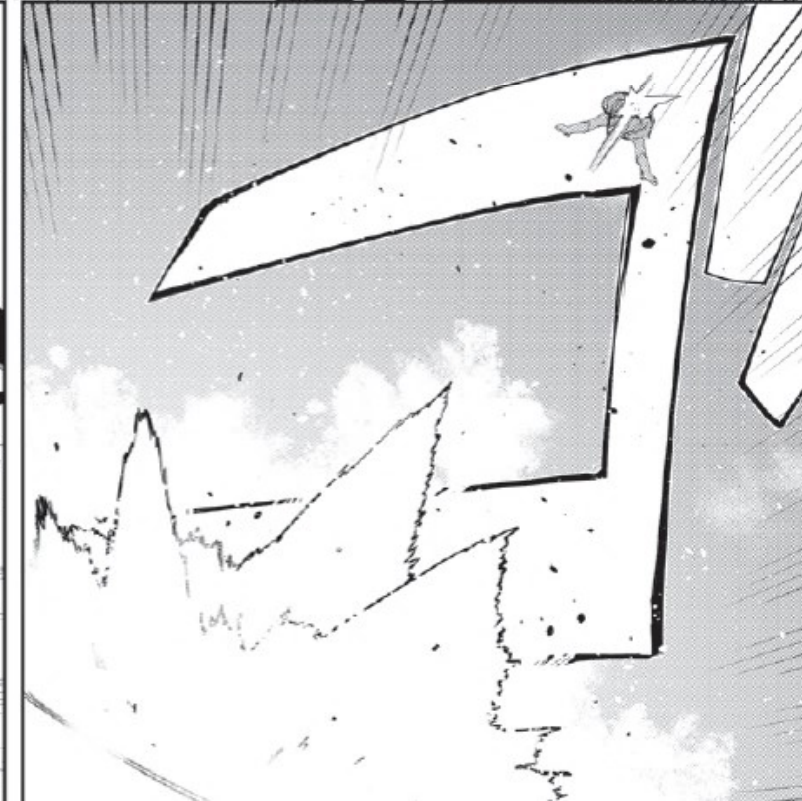
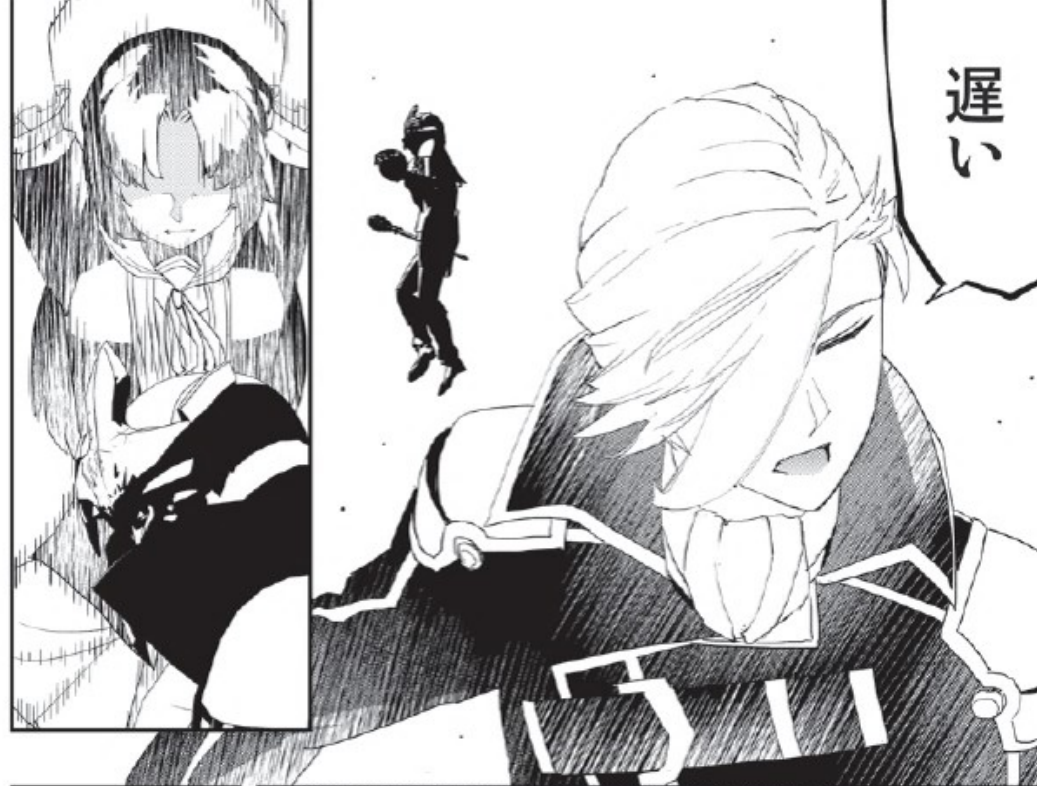
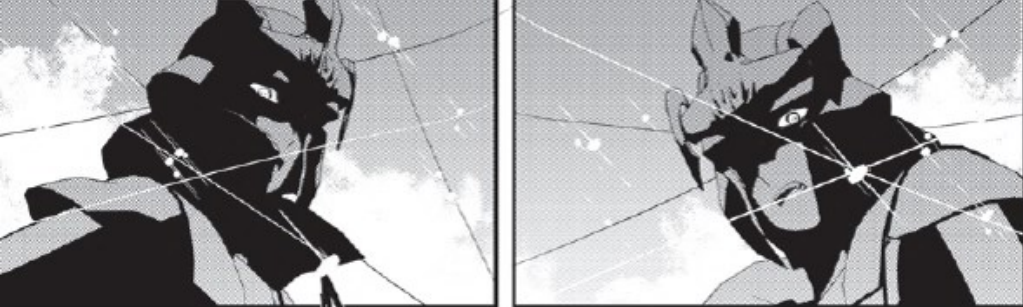
終わるのはあなたよ

ナーディア
終わったか？
時間を稼いでくれた
すーちゃんと
みんなのおかげでね
うん
なんだと…？
解析完了だよ～
エンペラーの記憶を
持ってるなら
知ってるはずよね？
なーちゃんの得意領分
オリジナルとの差異も
その古代遺物の
フルパワーも
全部計算済み
残念だけど
あなたの勝機は――
今消えた…！
そういうことだ

俺たちがどういう存在なのか決められるのは俺たちだけだ
そこにあんたが介在する余地はない！
偽物でもなんでも構わないその過去を清算させてもらうぞ！

従え!!

遅い
パラパラ…
っか！
ロ・

かっ!

我は…こんな…ところで…
みと…め…ぬッ…

終わ…ったか…?

終わったね…
もしかして…あの新総統もそうなのかしら?
そうなの?
まさか機械仕掛けとは
さあな 少なくとも私に双子の兄弟などいない

それにしても…凄まじいわね
同じ偽物でも今までに博士が作ったおもちゃとは次元が違うわ
ひどい言い草ではないかね?

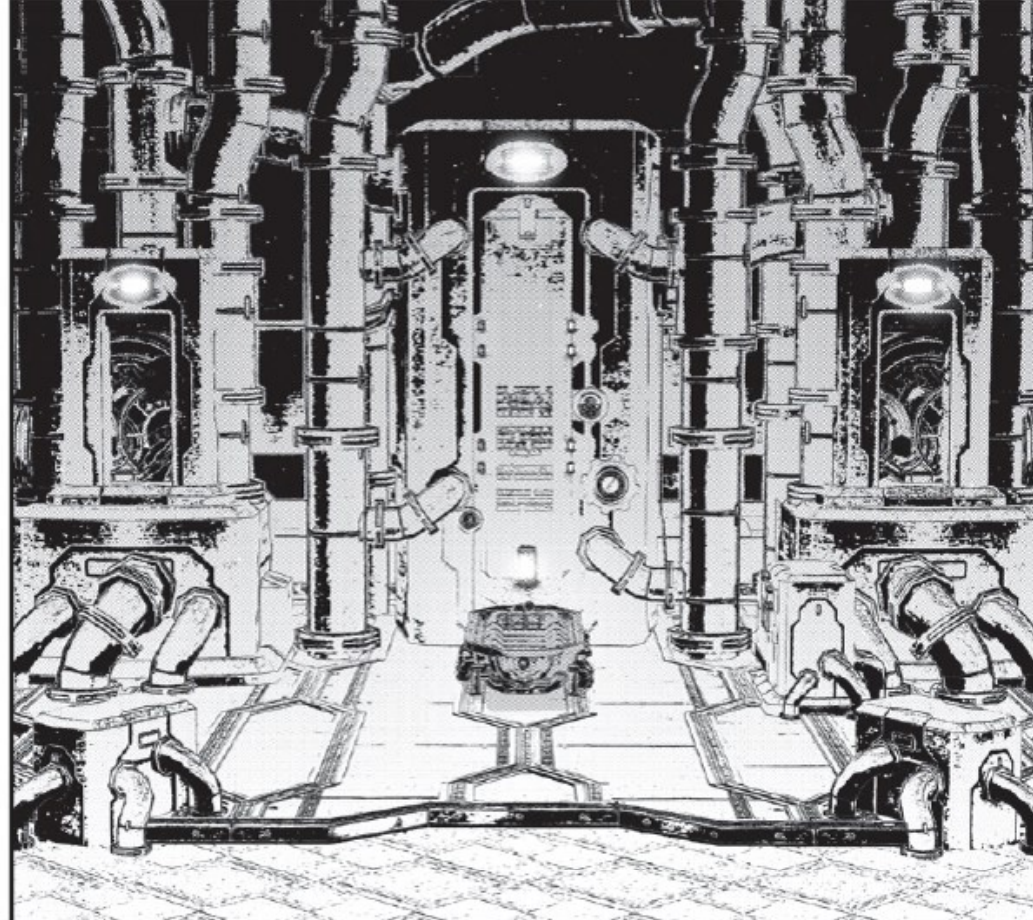
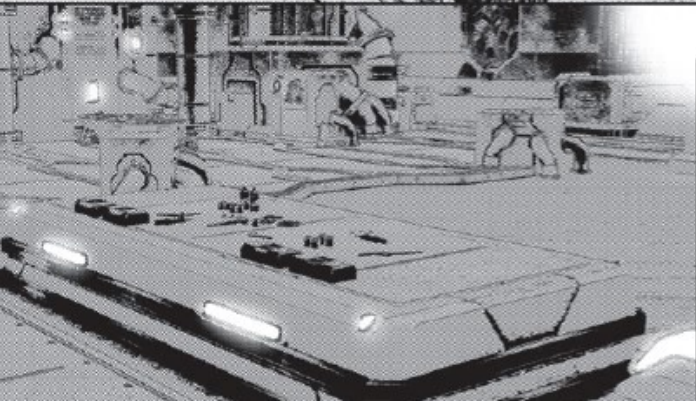
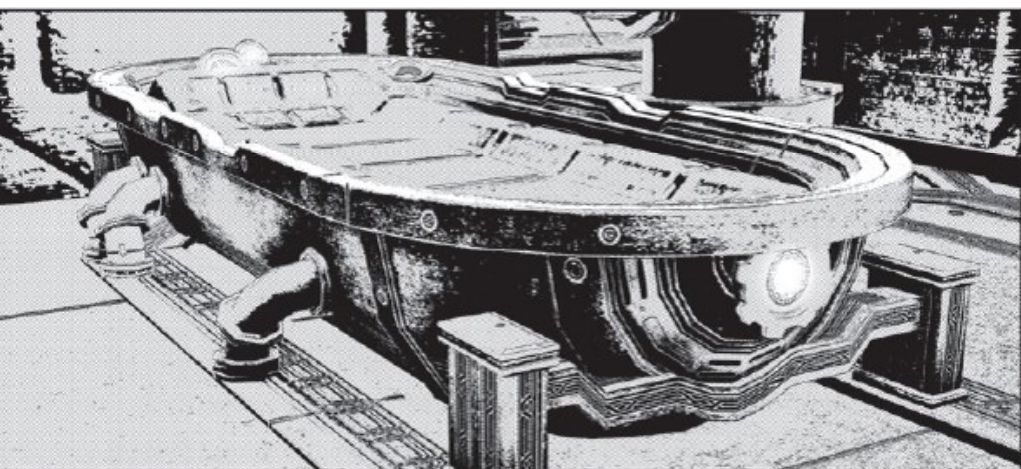
ヴヴヴ
結局覗いてたってわけね
なかなか興味深い観察対象だったからねぇ
どうやらあなたがかの《十三工房》の統括者――F・ノバルティス博士のようだな
これはこれは自己紹介が遅れたね
《身喰らう蛇》第六柱にして《十三工房》を任されているF・ノバルティスだ
ルーファス元総督《黄昏》の時に直接お会いできなかった事残念に思っていたよ
ふふ こちらこそ当時は数々の技術支援一応礼を言おう
まさかと思うが 博士今回のクロスベルにおける数々――
君が裏で糸を引いていたのかい？
それこそまさかだよ私はあくまで協力者ちょっとした技術提供をしただけさ
まぁ私の協力がなくとも結果は同じだっただろうがね
その協力が結社の計画の一環と考えてよいのかね？
いやいやそれも誤解さ

結社のクロスベルと帝国における目的は《相克》の終わりに伴ってほぼ達せられた
今回の私の行動はあの方のご意志とは関係がないさ
つまりノバルティス博士
今回の一連の事件においてあなたは新総統側についているが積極的に敵対するつもりはない
そう思って構わないかね
ああそのとおりさ
では私はそろそろ失礼させてもらうよ
そうそう君たちが探しているものはこの奥にあるはずだ
留守にしている我が師の代わりにこの工房を管理したものとしてそれくらいは教えておいてあげよう
それでは君たちの活躍を期待しているよ

なんだかここ
覚えている気がする

記憶の断片か
何かか？

ううん
覚えてないけど
知っている
そんな感じ

……

データが残っているとすればこれでしょうね
これはさすがに操作方法がわからないかも
見たこともない機械ばかりだな
大丈夫よその辺りはレンがやるわ
データがちゃんと残っていれば復元できるはずよ
あとは——

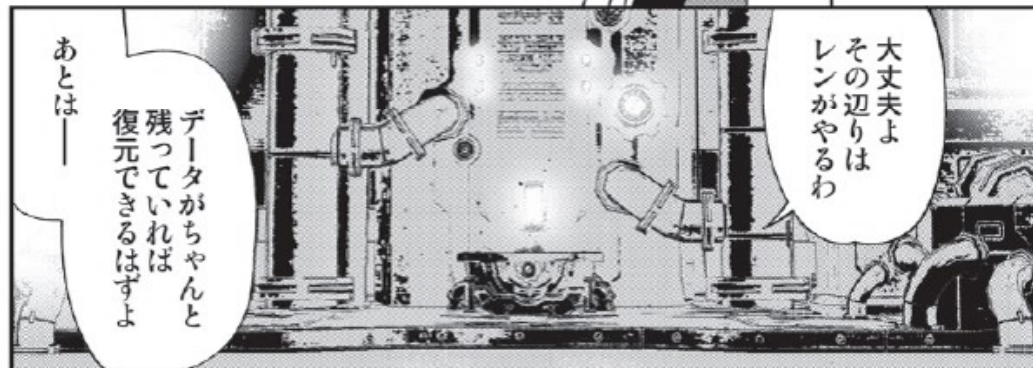
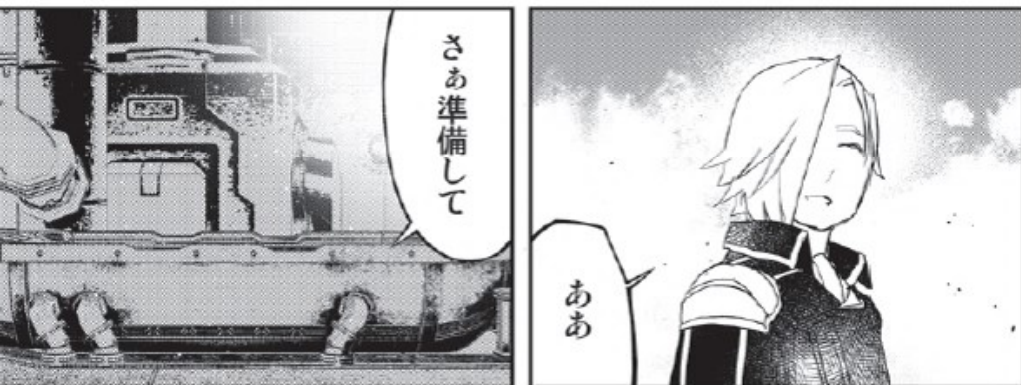
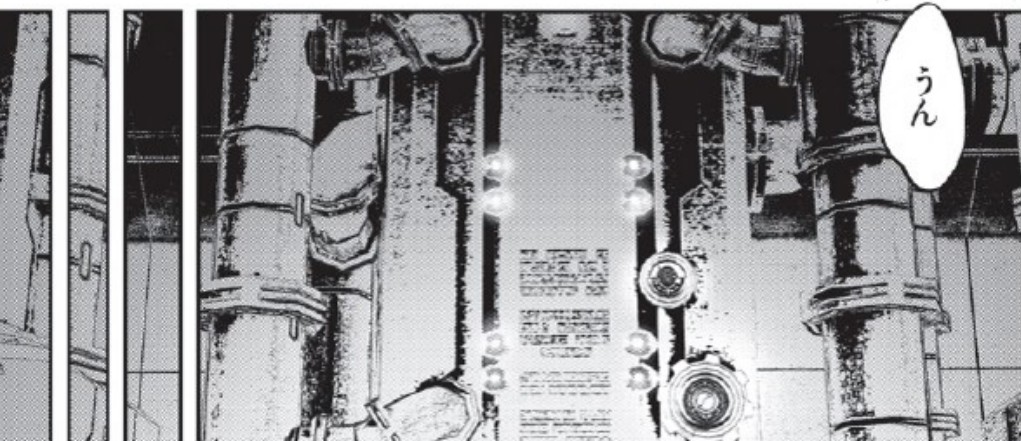
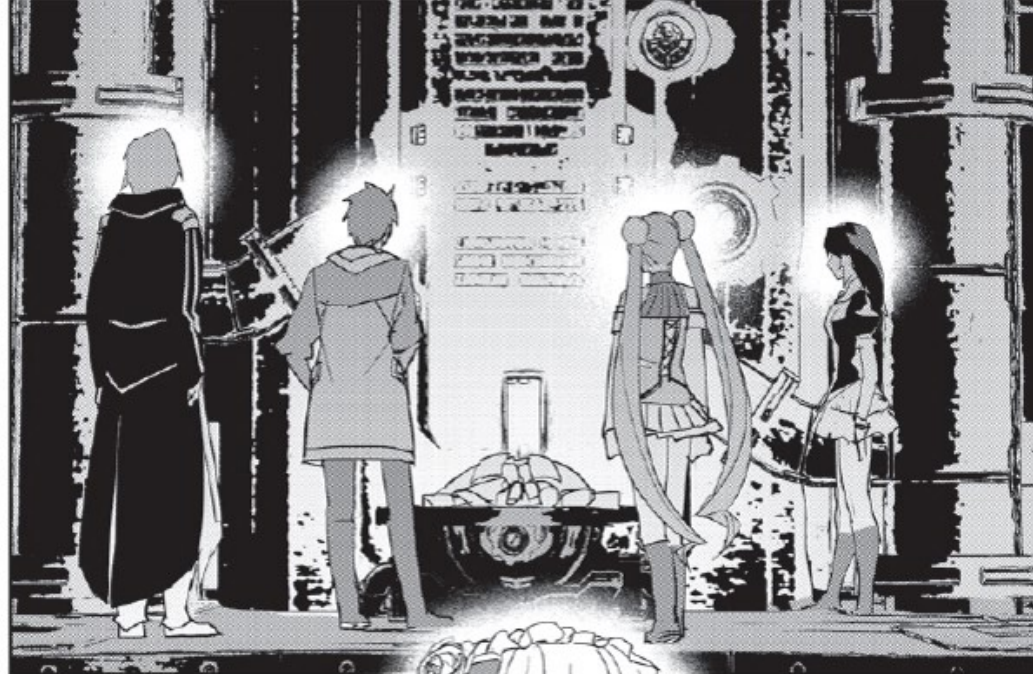
……
決心はついたかね？

——うん大丈夫
だって何があっても私がラピスでしょ？ルーファスがきっと私を見つけてくれるから

ああ

さぁ準備して

うん

──終わったわ
気分はどう？
……
まさかラーちゃん なーちゃんたちの事を 覚えてないとか…

ううん ちゃんと 覚えてるよ？ 意外となんとも ないみたい
というより 記憶もたいして 戻ってないみたい

ここまできて 無駄足だった ってことか…？

それも違うよ
データとしては 確かにあるけど 所々に鍵がかかっている ような感じかな？

でも大丈夫
その開け方は
知っている
イアンっていう人に会えば
全部思い出せるはず!
イアン…?
その名前って…
ふふ となると
次の目的地は
決まったな

それでね
すごいんだよ
こ〜んなに
いっぱいの人形
それも全部
私と同じ形のものから
パッと私を見つけたの!

それでルーファスが
君だけが
ラピス・ローゼンベルクだ
って!
すごいでしょう!

すごいのはわかったけど
ラーちゃん——

この話は
もう3回目だよ?
そろそろ話題を
変えようよ…

一体どうやって
あの子を
見つけたのかしら?

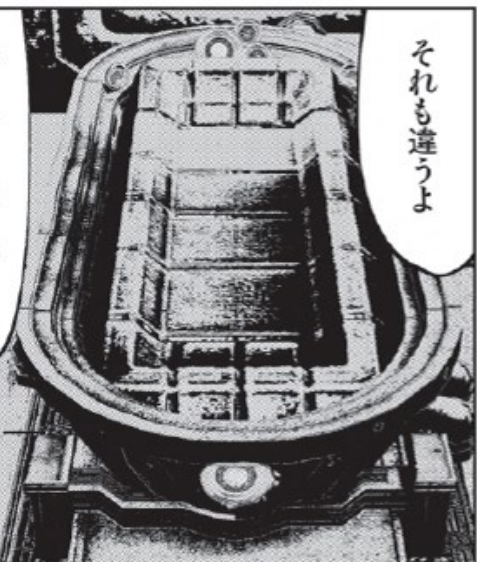
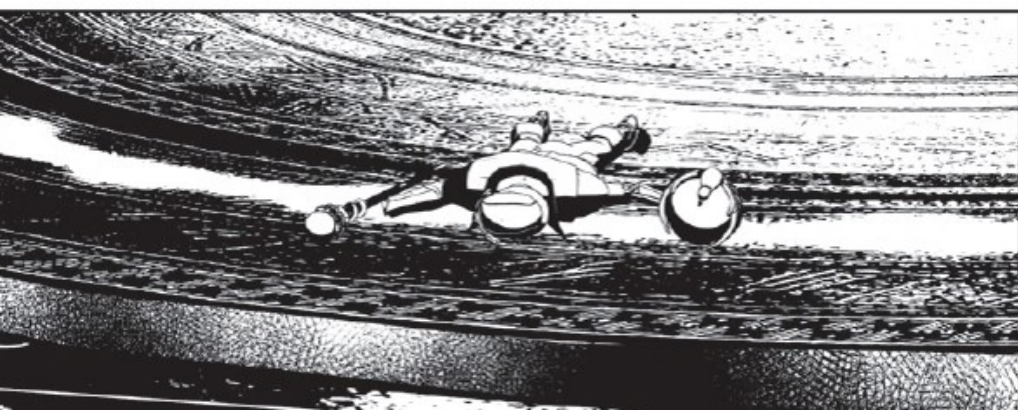
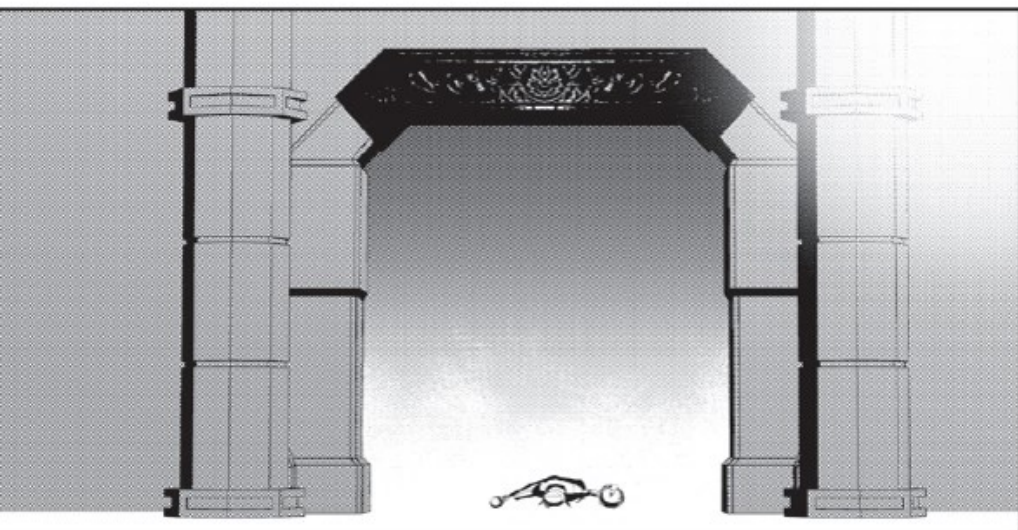
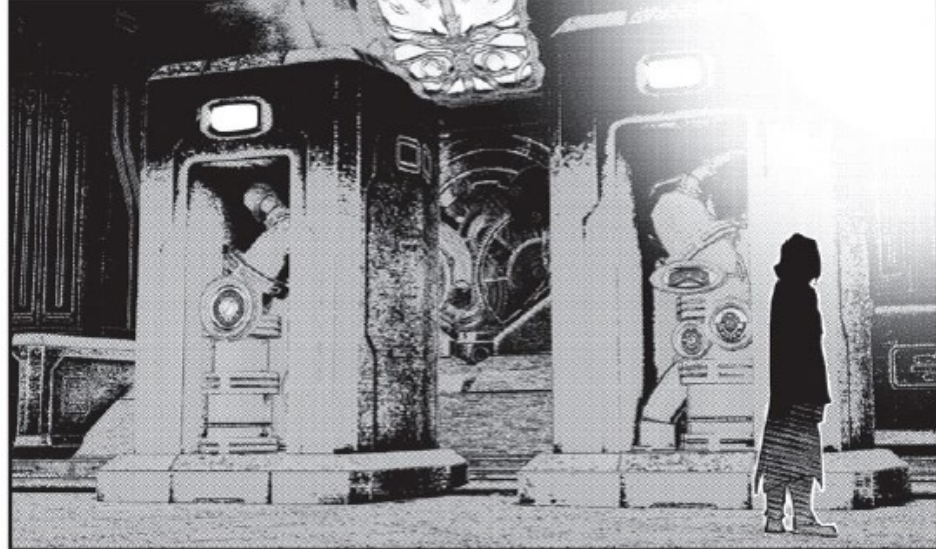
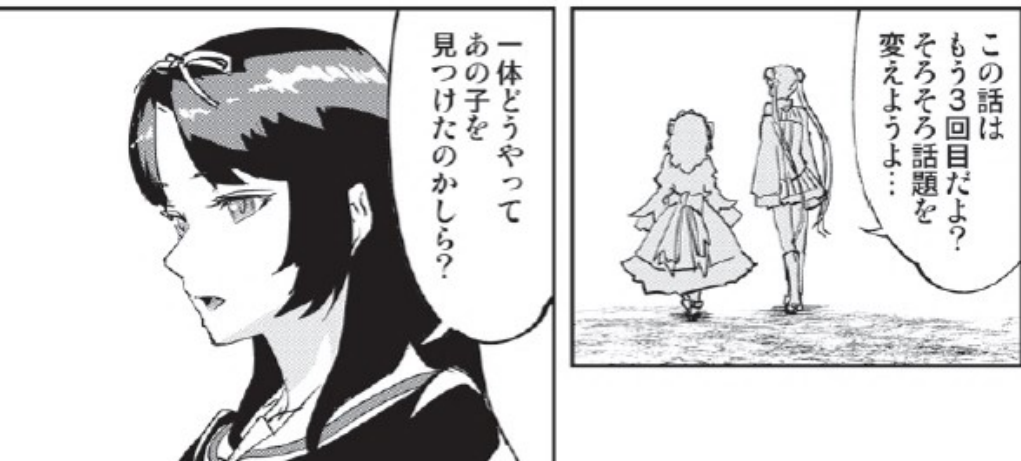
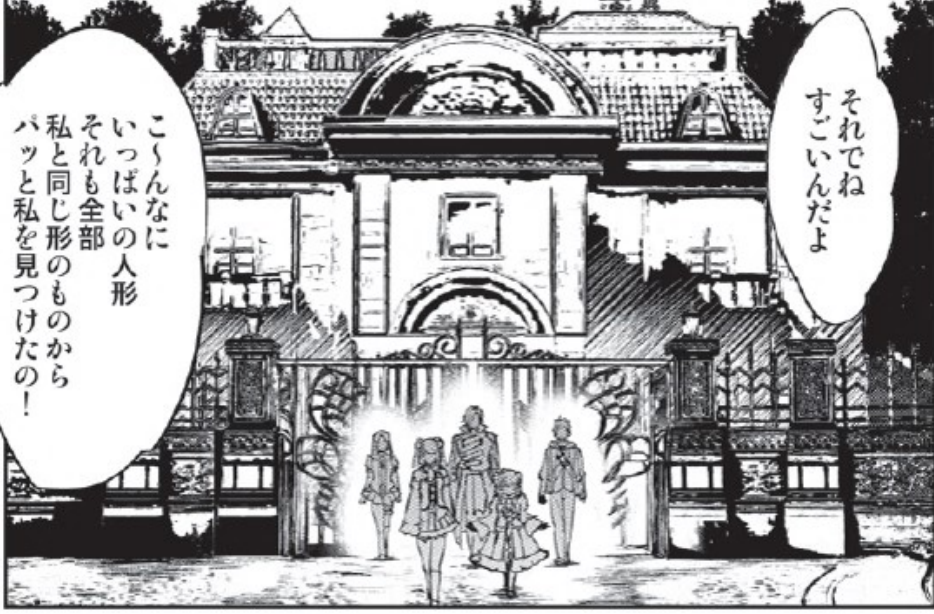
Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES

# 創の軌跡

【はじまりのきせき】

## THE MISERABLE SINNERS

漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

この道を進めば
拘置所に着くわ
正確には
警察学校だけどね
拘置所は
それに併設している
ようなものよ

へぇ〜
ここにも
よく来ていたのか？
以前
散歩とかで
たまにね

レンちゃん
ワイルドな散歩コース

銃声と剣戟の音…
ここからそう
遠くないようだ
慎重に近づいてみよう

はあっ!!

ふむ…
カチャ…
加勢するぞ

かの大罪人の愚行に加担する悪党ども！
鉄機隊の名にかけてわたくしがまとめて懲らしめてやりますわ！

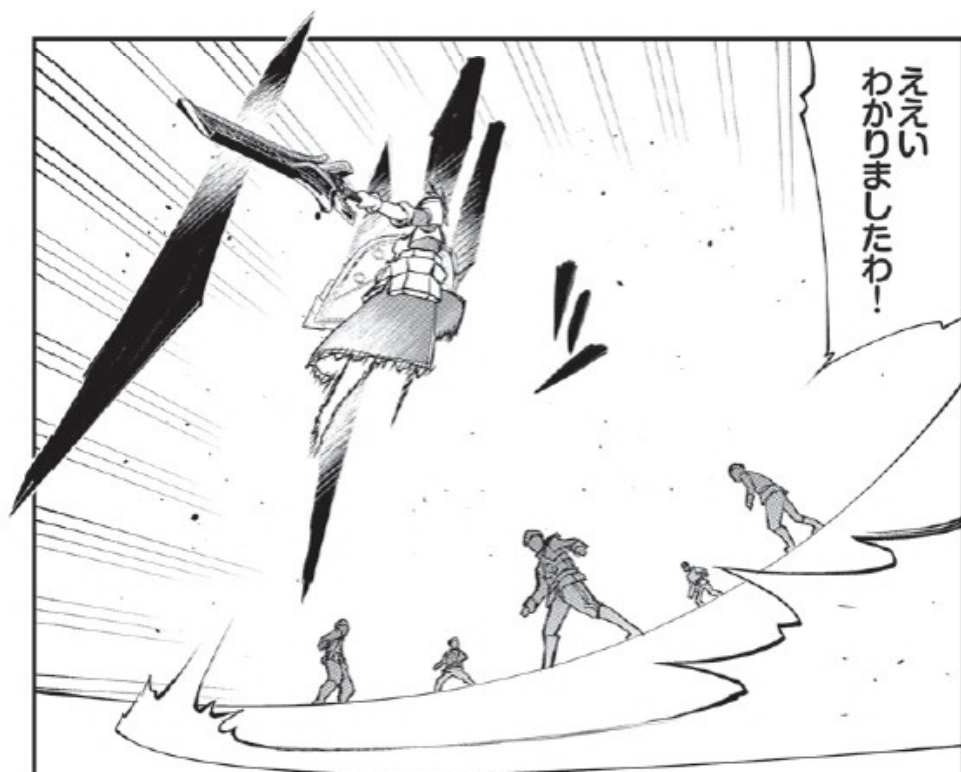
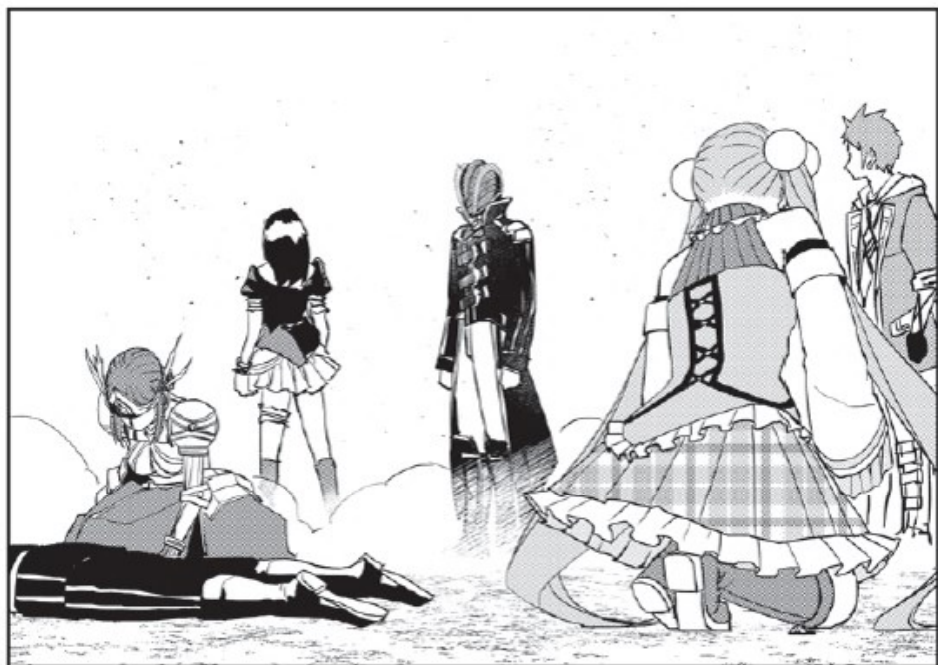
強がっても無駄だ！ いくら実力者といえど貴様は所詮一人 我らの敵ではない！
数の優位しか誇れぬとは随分と堕ちたものだ

っ…！
なんだと!? 誰だ!!

ならばそのちっぽけなプライドも砕いてあげよう――
なっ！ いつの間に!!

ごきげんよう
神速のお姉さん
せ殲滅天使!?
一体どういうことですの?
話はあと
まずは目の前の敵に
集中しましょう?

ええい
わかりましたわ!

なんとか
片付いたわね…

助太刀 感謝しますわ
殲滅天使
それと…見知らぬ方々も

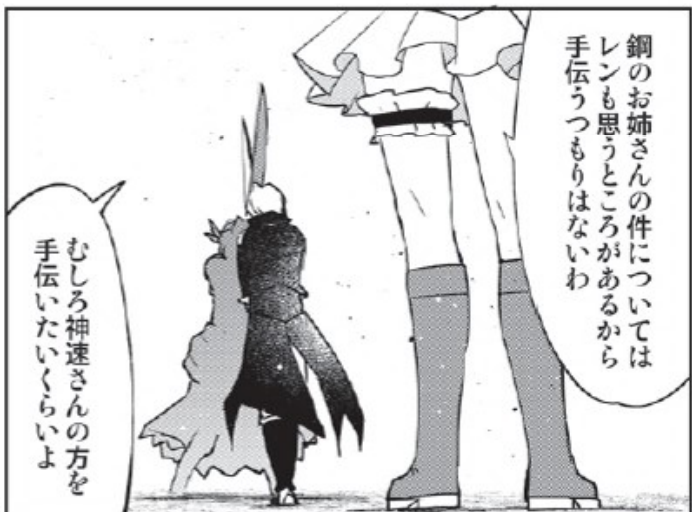
おもしろい格好…
彼女の知り合いか?

レン達はただ通りすがっただけだけど神速さんは?
鉄機隊のあの二人は一緒じゃないの?
そのひとつである警察学校へ向かう途中でこの連中と遭遇してしまって…

…今回の事件少々思うところがありまして
彼女達と手分けして敵拠点の偵察をしている最中です

ほう?

それは奇遇だな

その声は――

ルーファス

でも…
状況はそうも
言ってられないの…

そう…だったんですの…
いまいち事の全貌は掴めていませんがおおよその経緯はわかりましたわ

全貌なんてそれこそ敵の親玉しかわからないでしょう
それくらい厄介な相手よ今回は

偽物のルーファス・アルバレア…

神速さんはどういう経緯でクロスベルに?

……クロスベル没落の知らせを受け…
今度こそ憎きルーファス・アルバレアと決着をつけるため――

私はアイネス エンネアとともになんとかクロスベルに潜り込みましたわ
流石にそのまま正面からぶつかるつもりはありませんでしたが

市内で敵に動向がバレ襲撃を受けたんです

あの黒い連中はわたくし達鉄機隊の相手ではありませんでしたが…
それを率いたガルシアという男とツァオという食わせ者がとにかく厄介でしたわ

調印式の日にも出てきた元西風のキリングペア――ガルシア・ロッシと…
黒月の白蘭竜ツァオ・リーか

うわぁ～聞くからにヤバそうな連中…
極めつけに何故かあの《風の剣聖》まで敵に与し 私達を襲ってきたのです

《風の剣聖》ってあの遊撃士のか?

――アリオス・マクレイン
悔しいですが剣士として わたくしのはるか 上の領域にいる存在ですわ
彼まで敵側に回ると さすがに厄介ですが 今までの事から考えると…
――偽物という 可能性はあるかもね
あの人は変に 拗らせたところが あるみたいだから…
そんな事情で 市内から撤退した わたくしたち三人は――
手分けして 敵の拠点を偵察して 少しずつ潰す事に しましたの
それに警察学校も 含まれていたわけか
実はなーちゃん達も そこに向かう途中 なんだよね～
…確かにそれは目的が同じと 言えなくもありませんわね…
ですが やはりマスターの 敵であるこの男と 協力するなど――!

ドサッ

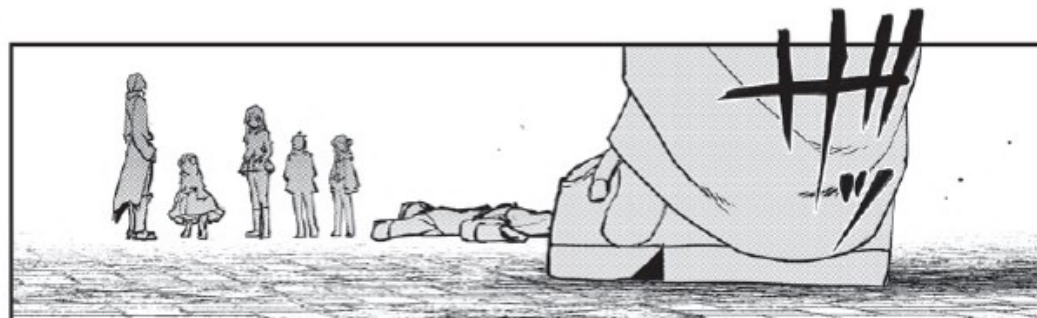
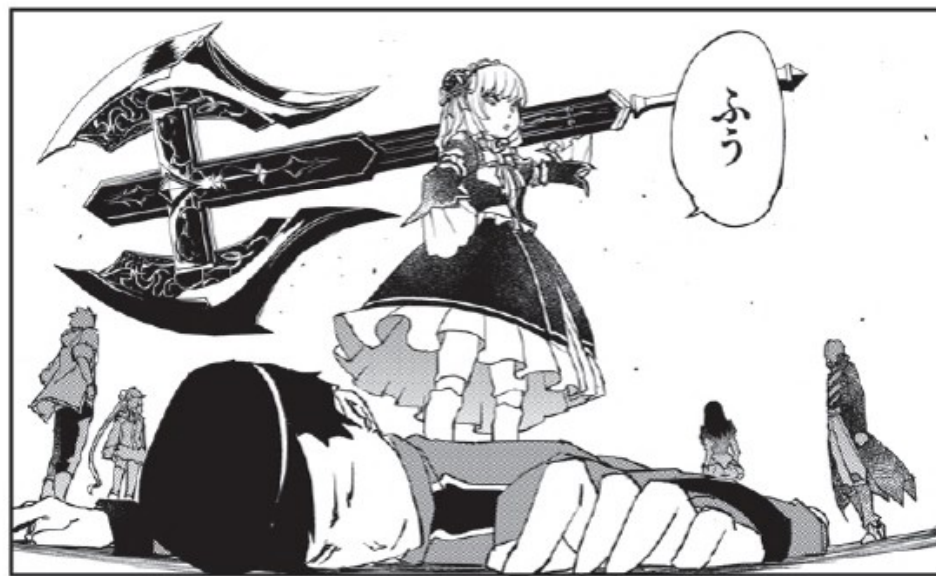
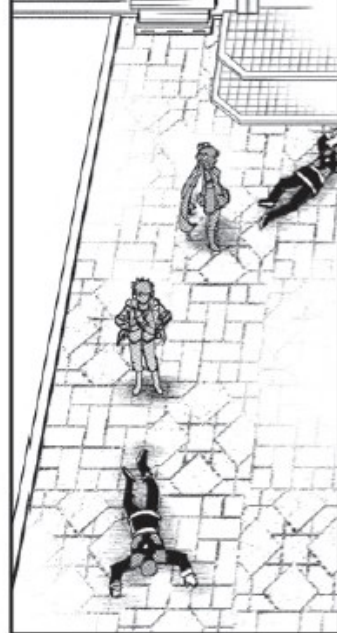
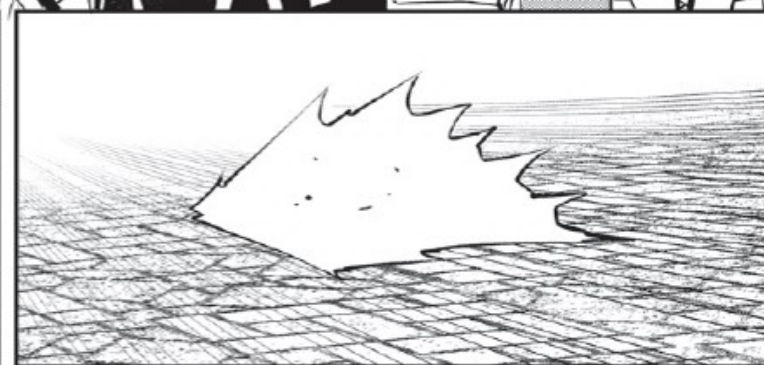
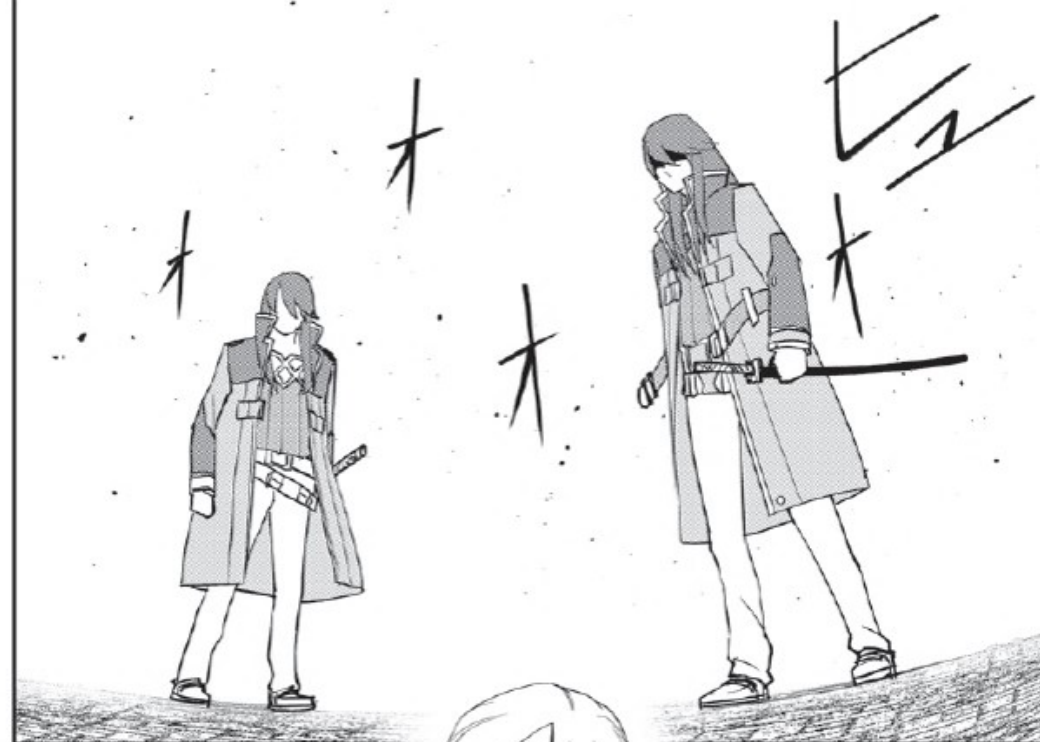
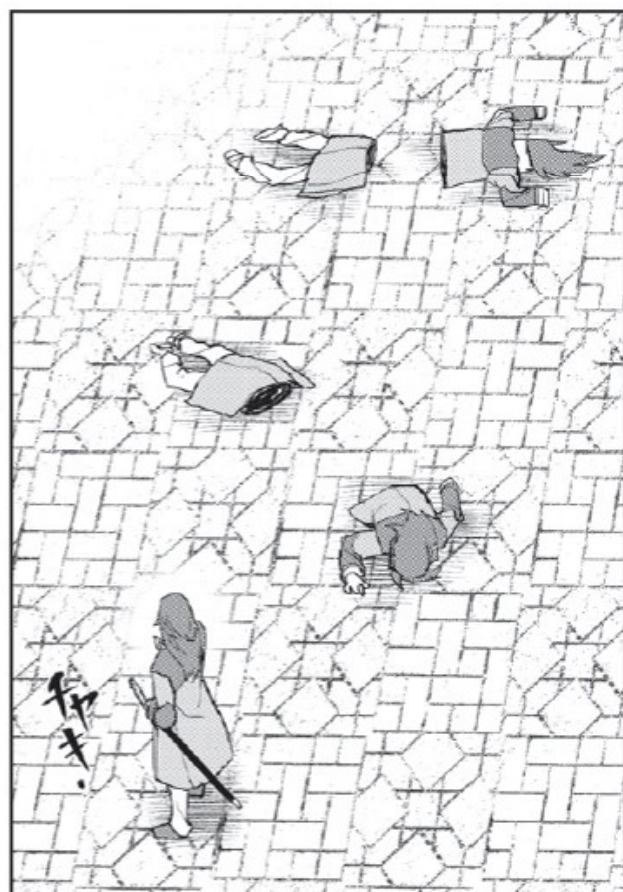
ふう

ザッ

ザッ

えっ

ヒュオオオオ

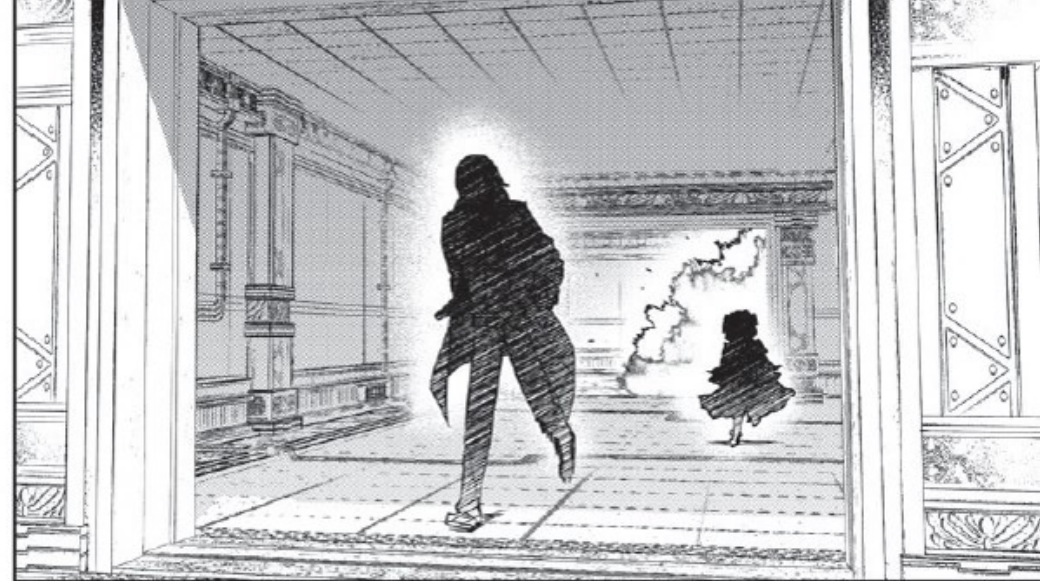
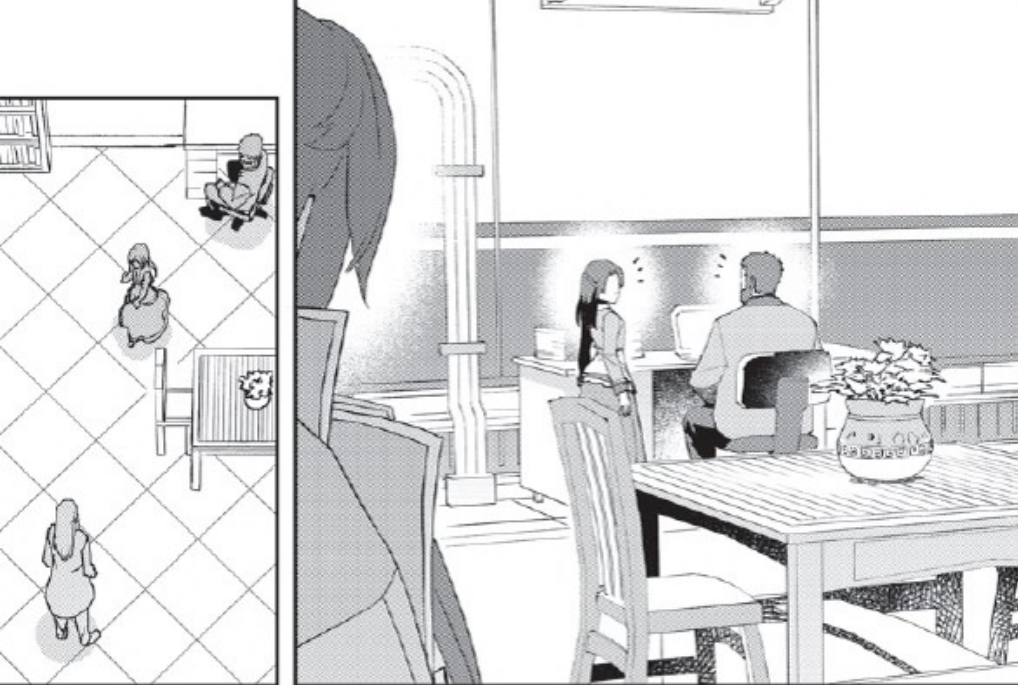
二の型
裏疾風《双》――!

この人が本物の《風の剣聖》
アリオス・マクレイン
ってこと

多分ね

Fortsetzung folgt

お父さん！
シズク 迎えに来たぞ

なるほど 目的は彼女 というわけね
娘さん？

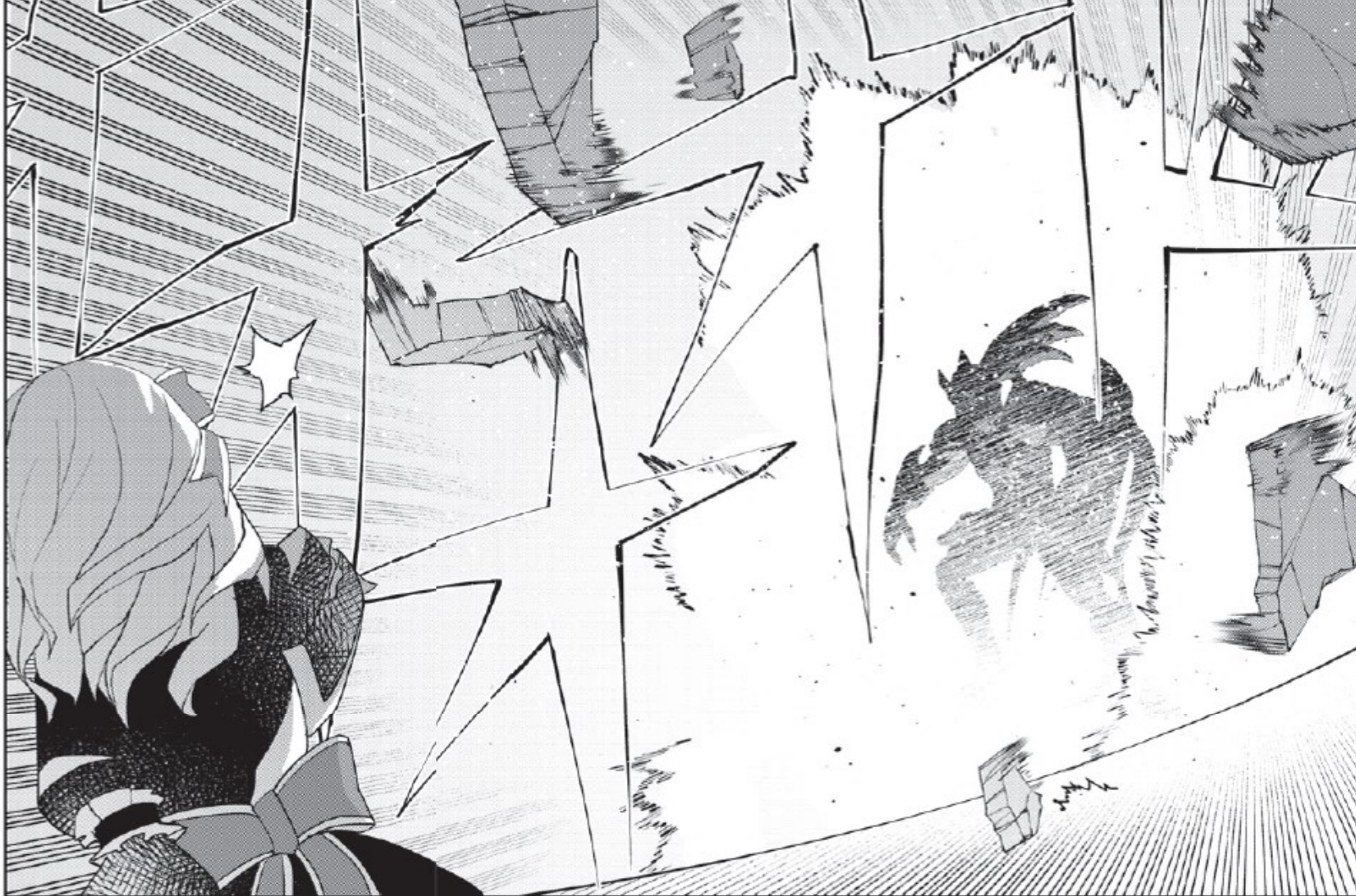
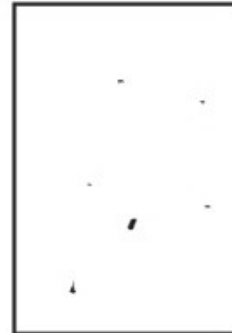
娘を預かっていただいて 感謝します イアン先生

占領されたのが
予想より早くてね
来てくれて助かったよ
アリオス君
知らない面々もいるようだが
ここにいては不自然な人間が
少なくないようだ

はじめまして
イアン・グリムウッド弁護士
ルーファス・アルバレアという

先程の質問だが
答えはすべて彼女にある
…君は？

私の名前は…
ラピス・
ローゼンベルクよ
……
そうか
そういうことか…！

では
さっきの言葉を
訂正しよう
よく来てくれた
君を待っていたよ
ラピス君

どうやら
今回は――
アタリ
みたいだね～

ゴゴゴ

何事ですの!?

お父さん…
あれは!?

シズク 廊下に
下がっていろ

先生も避難を

ワレ…ハ…
オ
オ
シナ…ヌ…
オ
オ

あの肩の形は…
彼が使っていた
古代遺物か？
それにしては…
噂にしか聞いた事はないけど
あれはもしかすると
古代遺物の暴走かもしれないわ
周囲のものも
取り込んで歪んでしまった
特異点のようなものよ！

ミツ…
ケ…タ…

もはや人格のほとんどが
古代遺物に侵食され――
わずかに残った執念だけで
行動しているようだな

ここちらをすごく
睨みつけていますけど
アレ あなた達の
知り合いですの!?

非常に
不本意ながらね
でもここで
退治するしかない！

Fortsetzung folgt

おい！あいつ
損壊した部分が
再構成しているぞ！
不死身ですの!?
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画　墨天業
原作　日本ファルコム
くっ
それよりこのままでは
建物自体がもたないわ！
つまり？
崩落する
ドッ
ドド

クオオオオオオオオオオオウウ！
古代遺物の力が…相殺された!?
武器を構えるがいいやつはまだ動くぞ！
支援課の《神狼》さん!?
また再生をっ！
再生の源はおそらくあの左肩
あそこを切り離せばあるいは――！
承知した！

ザッ

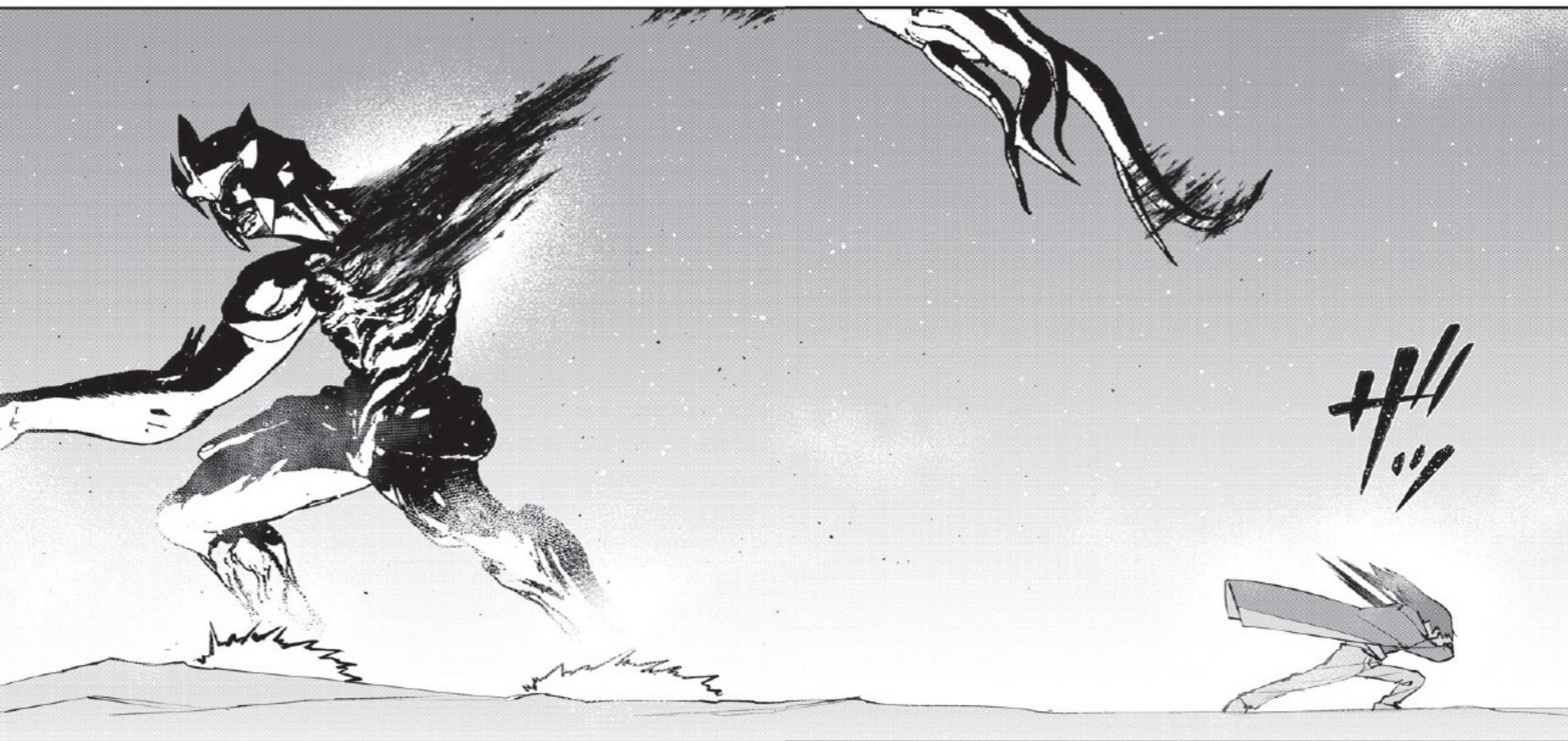
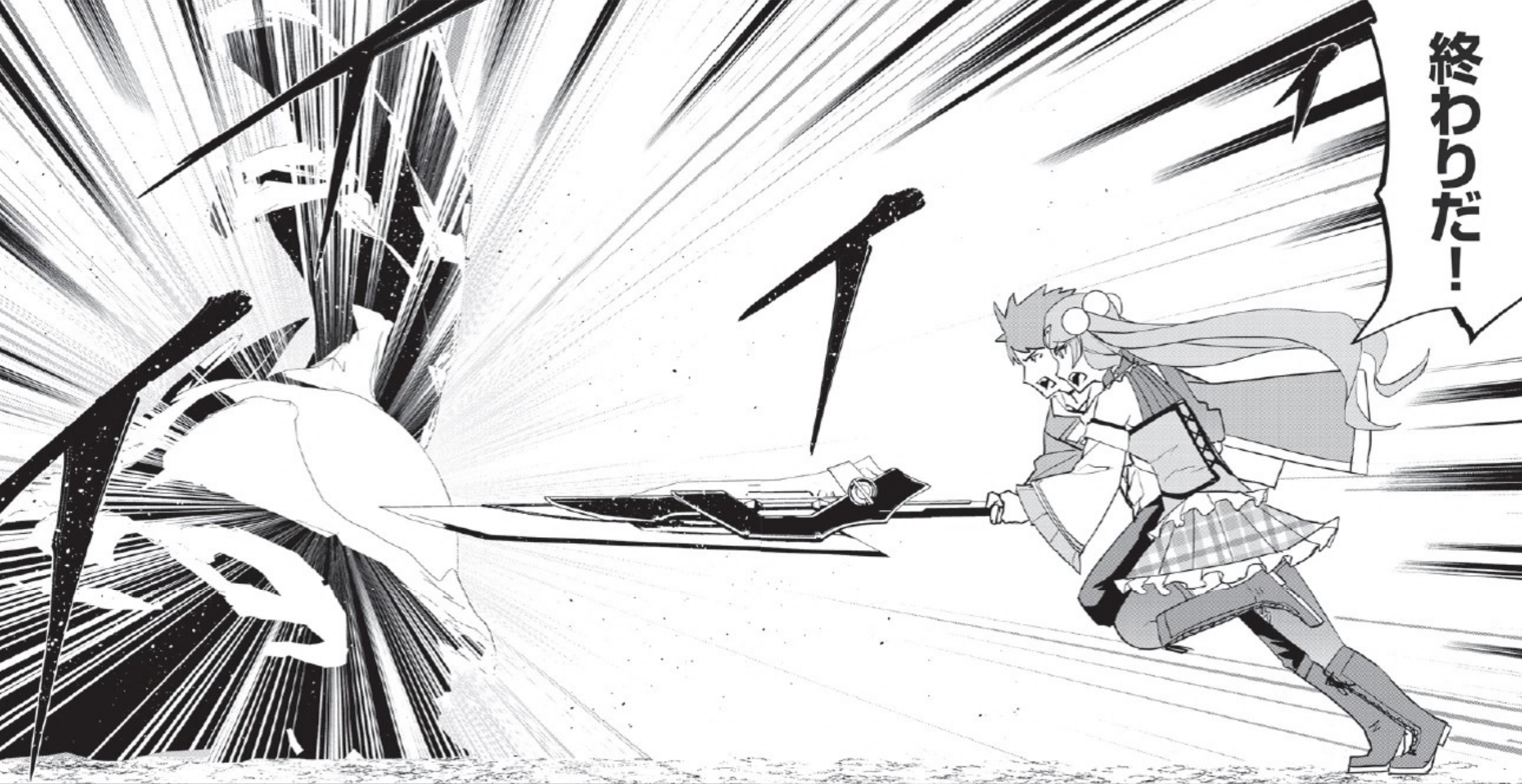
たぶんコアを貫かないと破壊できない！
ちょっと待って位置は――
ババッ
時間がないお前も来いっ！
させませんわ！

こっちはレンたちが食い止めるわ!
ドッ

君たちの因縁だ
君たちの手で
決着をつけるがいい!

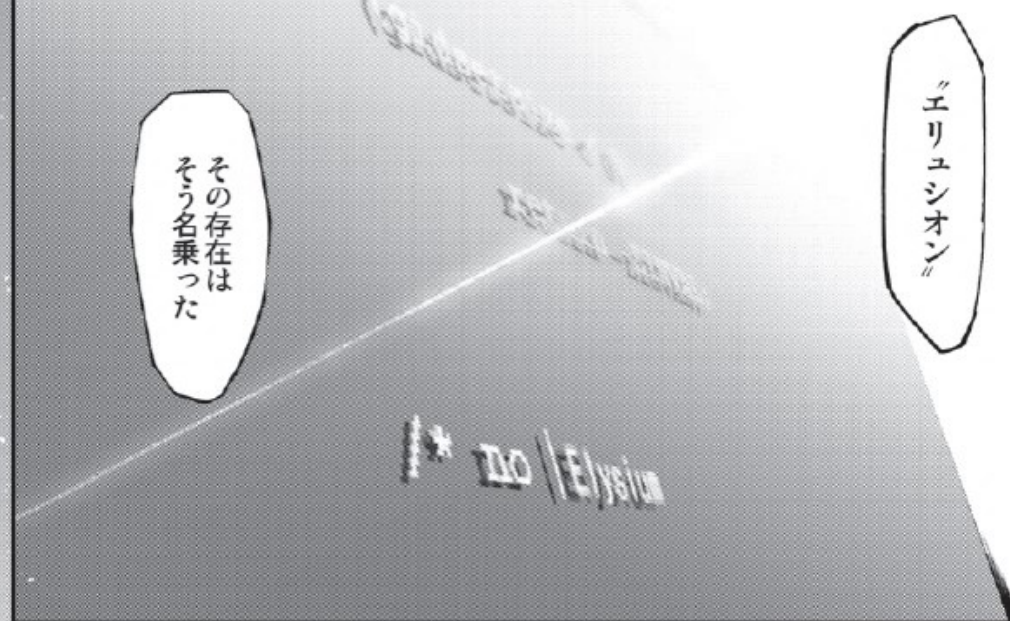
ドガッ

ナーディア! スウィン!
やっちゃえぇぇぇぇ――!!

これで

終わりだ！
なーちゃんたちの
生き方は
なーちゃんたちが決める

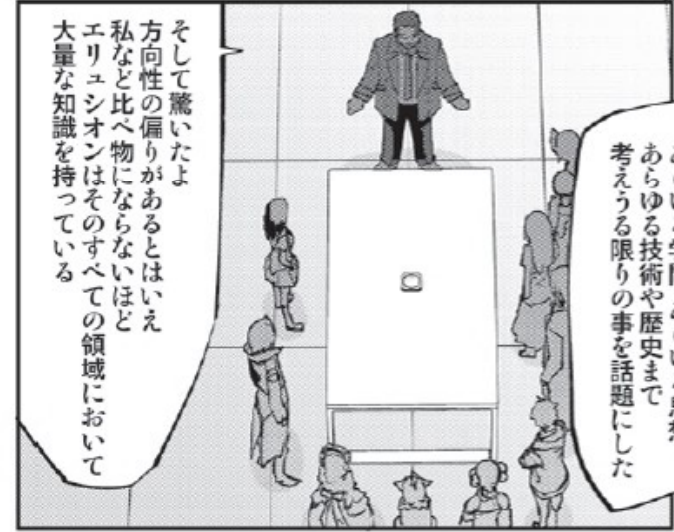
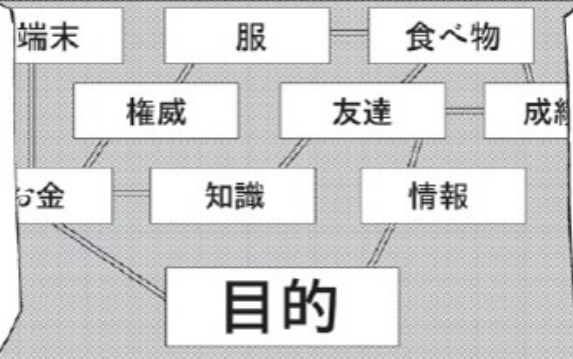
亡霊はさっさと
あの世に行きな
Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画　墨天業
原作　日本ファルコム

〝エリュシオン〟
その存在はそう名乗った

大戦の直前から通信が遮断され続けていたにも関わらずね
拘置所のオペレーターが気づいた様子もなかった

レンと同じ導力ネットの操作に長けたハッカーか何かかしら？
私も最初はそう疑っていたよ

何が目的かと聞いてみたら『あなたと会話がしたい』──
それだけを伝えてきた

変わった方ですわね
私も興味が湧いてね それを承諾したよ
それから毎日人知れず エリュシオンと会話を繰り返した
なんの話をしたの？
あらゆる学問 あらゆる思想 あらゆる技術や歴史まで 考えうる限りの事を話題にした
そして驚いたよ 方向性の偏りがあるとはいえ 私など比べ物にならないほど エリュシオンはそのすべての領域において 大量な知識を持っている
そんな…
イアン先生よりもですか？
はは それこそ比べられたら 私は無知もいいところだろう
知識の量だけではない 外界に関しての最新の情報も 当然のように持っていた 議会の議題から路地裏の屋台の新メニューまで 恐ろしいほど詳しく把握していたくらいでね
しかも私が 確認できる限りにおいては そのどれもが正確だった
……
それほどの 知識量を有している エリュシオンだが――
それらの情報に 〝方向性〟はあっても 〝指向性〟がないのだ
人が何かの知識や情報を 得ようとする時には 常に目的を持っているものだ
端末
服
食べ物
権威
友達
お金
知識
情報
目的
それを知る事で何かの役に立てる 何かの達成感を得る もしくは単純に 周囲環境の認知などといったものだ
かといって 知る事自体が目的 といった類でもない

あくまで自動的であるいは最初から
そうであったように情報が自然と
エリュシオンに集まり続けている

そんな風に感じられたんだ

自動的に…

さすがに鋭いな
まぁ順番に聞いてくれたまえ

さっきの話で
私はひとつの仮説に
たどり着いた

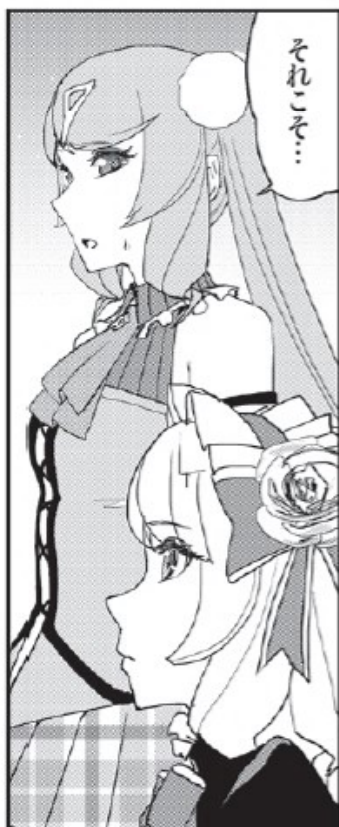
もしかしたら
『エリュシオンは
人間ではないのではないか』
とね

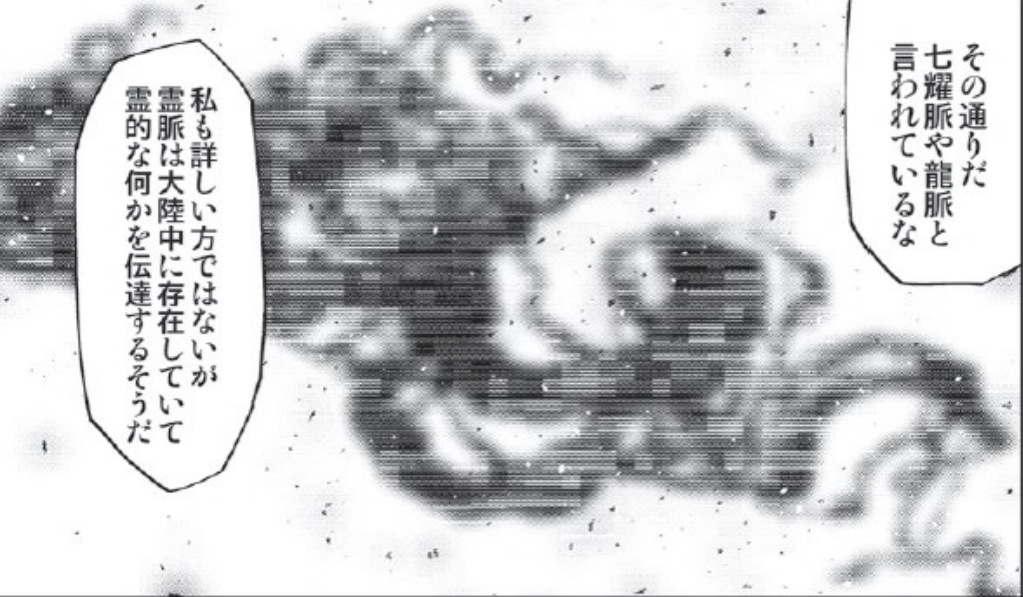
――〝機械知性〟だ

それって人形兵器のような…？

話を聞いた限りではそういうのとは次元が違うみたい

それこそ…

エリュシオンの誕生はかなり特殊でね
誰かが意図的に作ったわけではなく〝自己創発〟したもののようだ
自己創発…？よくわかりませんけど
〝個〟の要素が〝全体〟として一定の組織化と循環性を獲得する現象とでもいうべきかしら

君たちも知っての通りこのクロスベルには導力ネットが張り巡らされている
そしてこのネットワークは帝国やリベールにも普及しつつある

網目のように繋がり情報を伝達する
この導力ネットは間違いなく新時代の技術の産物だが…

それと似たものがずっと昔から
ともすれば最初から
大陸全土に存在しているのを――
君たちは知っているかね？

霊脈…か

人間の脳を大陸規模で
シミュレートするような
形になった
そこから独自の〝思考〟が生まれた
それが――〝エリュシオン〟だ
人間の脳を…
大陸規模で…？
ありえるのか
そんなこと？
少なくとも
再現する事は
できないだろう
……

導力ネットと霊脈から生まれた
エリュシオン――
どうりでそこまでの
大量の情報を持っていたのね

計算能力だ
複数の端末を利用した並列計算と言ったら理解できるかな？
財団やＺＣＦでも開発段階の最新技術一般には知られていない
どんな高性能な端末でも計算能力には限界があるわ
しかし複数の端末を連結して同じ問題を処理させた場合——

その限界は容易に突破できる
ただこの世界じゃまだ数台程度の並列処理が限界だけどね

エリュシオンは導力ネットに接続されているすべての端末からリソースを借りて行っているという訳だ
…なるほど
そういうことだったのね

とにかく知性を持ったエリュシオンはその計算能力を利用してさらに自己進化を繰り返した
え…
さらになにかあるんですの!?

ああ　むしろここからが…
重要だ
Fortsetzung folgt

つまり
未来をも
観測するのだ

それはもはや
女神の領域だな

未来を視る力…か

導力器を発明した
エプスタイン博士が
まだ存命の時に
予言していたという
〝技術的特異点(シンギュラリティ)〟

『人間を超える自己進化する知性』
『そこに到達した時 技術の進歩は
人間の手から解き放たれる』

……

そして『良くも悪くも
人間社会に
かつてないほどの
変革をもたらすだろう』

幸いというべきか
エリュシオンが果たした進化は
それだけではなかった
最初に話していたエリュシオンが
私との会話を求めたのは
〝人間〟というものを
理解するためだ

その対象にどうして私を選んだかは
いまいち基準がわからなかったがね
会話を繰り返しているうちに
エリュシオンは
人間の感情と思考パターンをもとに
システムの疑似管理人格を形成した
それが――

それが…私

ラーちゃん？
お前記憶が…
まだ全部じゃないけど
話を聞いているうちに
少しずつね

ラピスという人格を得た事で
エリュシオンという
システムに主体性ができた

人類の敵…か

想像するだけで
肝が冷えるような話ですね

ラピス君がいる限り
エリュシオンという
存在は安全だと
私はそう確信したのだ

漠然とした不安を
抱きながらもね

ラーちゃんがいる限り…

でも現に
ラピスが記憶を失い
独立した〝人形〟として
活動しているってことは…

ある日を境にラピス君が私のところを訪れなくなった——
なんの前兆もなく
管理人格である彼女もしくはエリュシオンそのものになにかあったのだと私は推測した


そんな私の前に現れたのがあのルーファス新総裁だった
新しい世界秩序を作りたいそのために私達に協力してほしい とね


ここまでの話から考えると…
ついに見えてきたようだな〝敵〟の正体が——


さて次は君の番だ
記憶は取り戻せたかな?
…うん ほぼね


といってもイアンがほとんど話したから
私に話せるのは最後の部分に関しての補足程度だけだよ


最後の部分…
一体エリュシオンに何があったのか…か


簡潔に言うなら

――乗っ取られたの
それほどまでに高度な存在がか
一体誰に…？
それが…わからないの
気づいた時にはすでに管理人格である私が攻撃対象になっていてシステムに消される直前だった
だから最後に一度だけ〝限定式収束未来演算〟を使って対策したの
対策？
消される前に自分をシステムから切り離して
ヨルグ・ローゼンベルクの下に転送したの
彼にこの体の製作とその後に現れるだろう《C》を名乗る者――
ルーファスに届けるように頼むために
それであの予言のような依頼になったという事か
まさか依頼者がラーちゃん自身だったなんて…！
しかしなぜ私に？
オルキスタワーのメインターミナルを通じて総督時代のルーファスを知っていたから
知らないうちに私自身が観察対象になっていたということか

ルーファスならきっと
どんな方法を使っても
この事態に立ち向かうと
知ってたから
他の人だったらもっと
遠回りしていたと思う
その計算は
間違ってなかった
でしょう?
ふ 賢明な判断だ
しかしわからなくなってきたわね
エリュシオンを乗っ取って
かつ今回の事件を企んだ存在…
該当しそうな人物に
まったく心当たりがないわ
どうやらまだ最後のピースが
欠けているようだな
だが今回の事件の全貌は
これで判明したといえよう
そしてその中心に
彼女がいる事も——
聞かせてもらいたい
君はここから先
どこを目指し
何をするつもりかを
そんなの決まってる!
エリュシオンが
乗っ取られた原因を
突き止めて
それを取り除く
ついでに
このおかしな事態も
終わらせてみせる
きっとそれが
私——

管理者ラピスの使命なんだから！

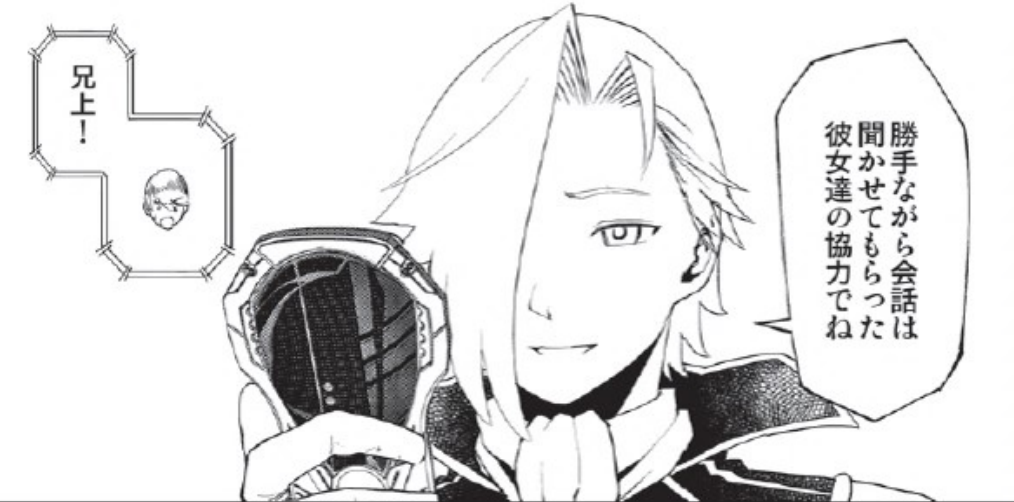
Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES

# 創の軌跡

【はじまりのきせき】

THE MISERABLE SINNERS

漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

未来予知すら可能な超高度機械知性…

それがあの偽物…新総裁の登場とクロスベル占領の背景にあったものですか

そして鍵となるのはその元管理者であるという彼女——

ラピスといったか

ラピス・ローゼンベルクよ 興味本位でジロジロ見ないで

あ…ああ すまない

…しかし本当に凄いな

ローゼンベルク人形は優雅にして高貴 そこには愛おしさと慈しみがなくっちゃ

うふふ さすがは稀代の人形技師ヨルグマイスターですわね

えらく簡単に受け入れたな…

伊達に修羅場はくぐってないみたいだね～

彼女から《エリュシオン》を奪った何かが偽物の私の背後にいる

真実を見いだしクロスベルを解放するために元管理者である彼女の力は必要だろう

それらを踏まえた上で——協力を受け入れられるかね？

かつて君達を鳥かごに押し込め《黄昏》を推し進めてきたこの私と

ルーファス・アルバレア公子
クロスベル警察特務支援課として
その申し出 受けさせてもらいます

でもすみやかに街を解放できれば
各種交渉もまだ間に合うはずよ

…こうしているうちに
共和国もすでに対応に
動き始めているでしょう

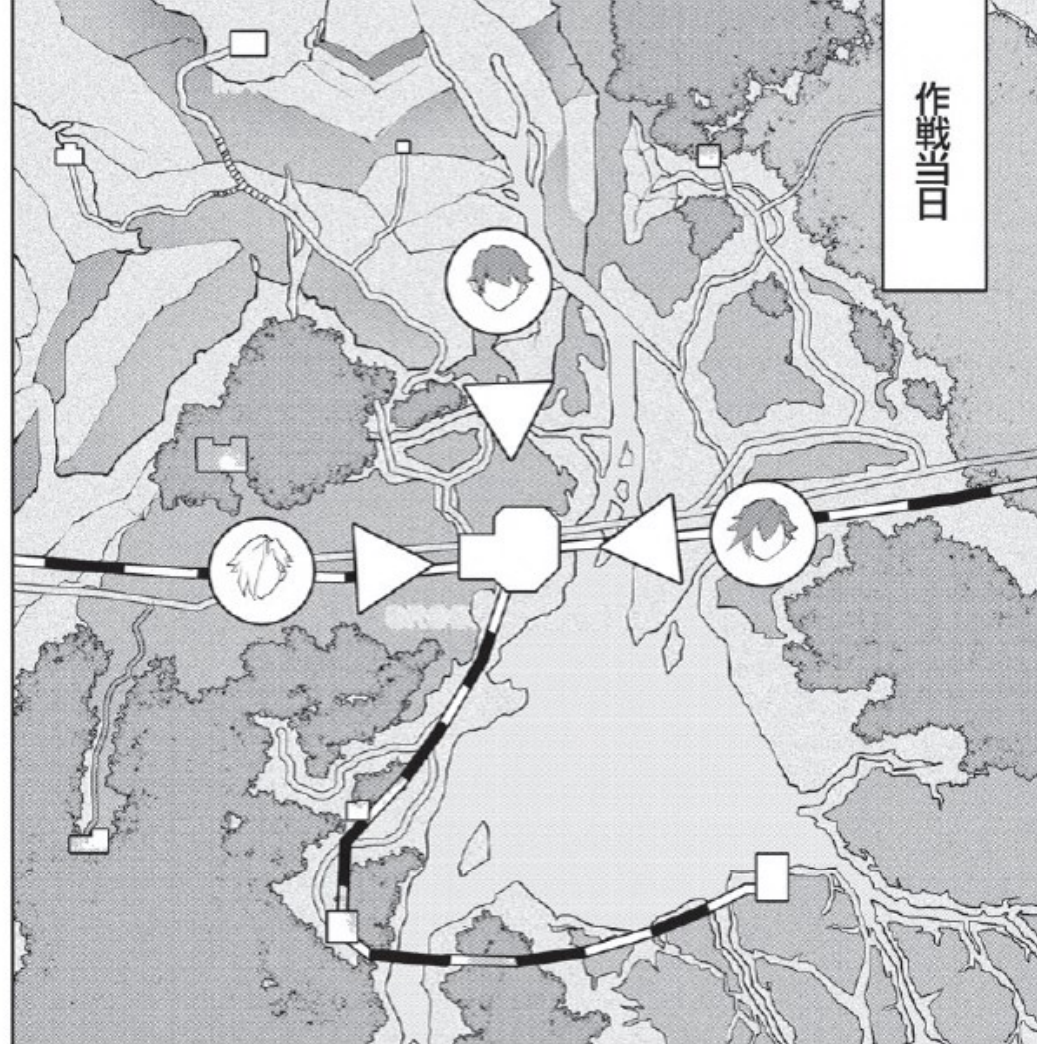
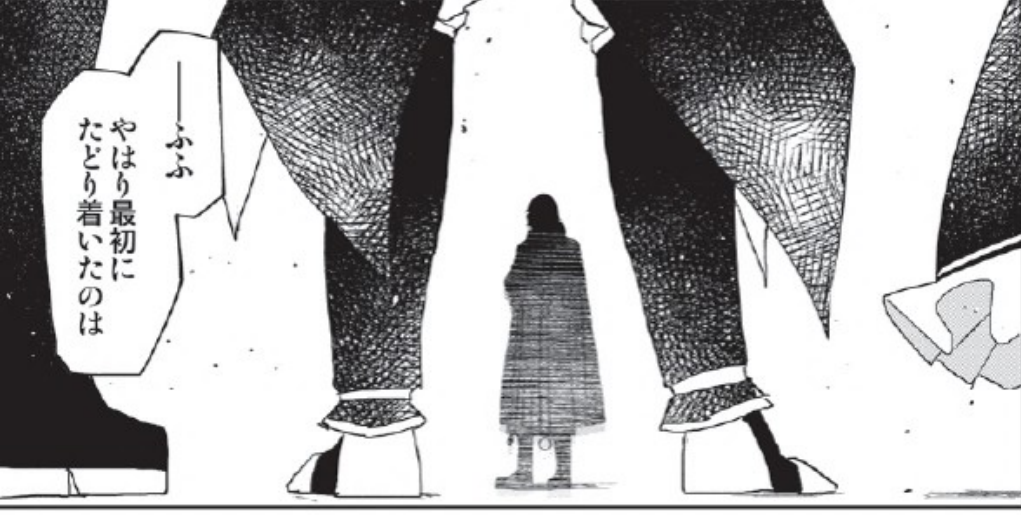
リベール組も
同じ気持ちです

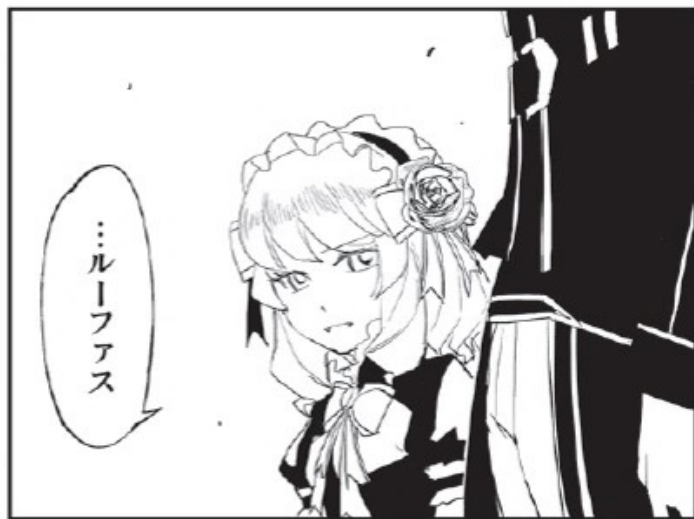
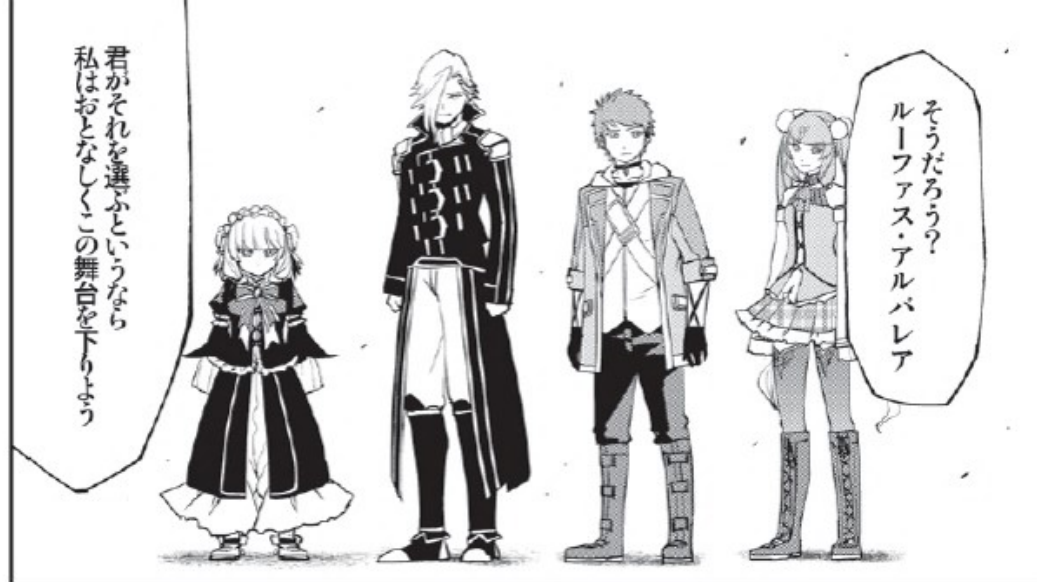
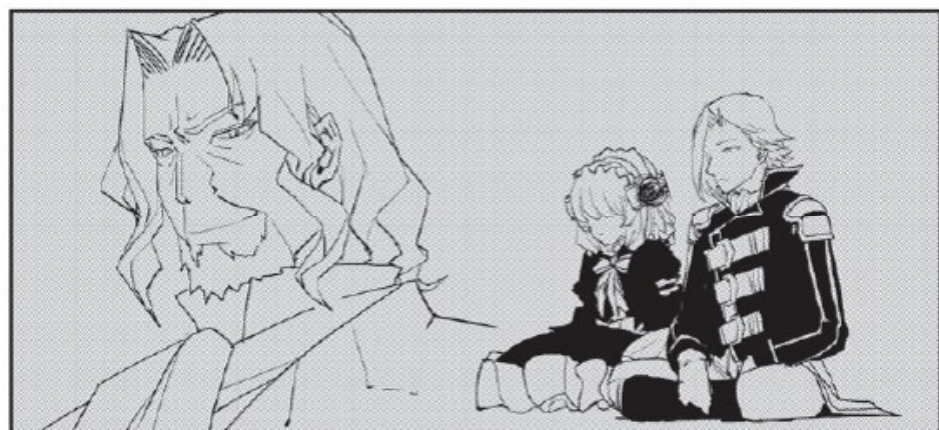
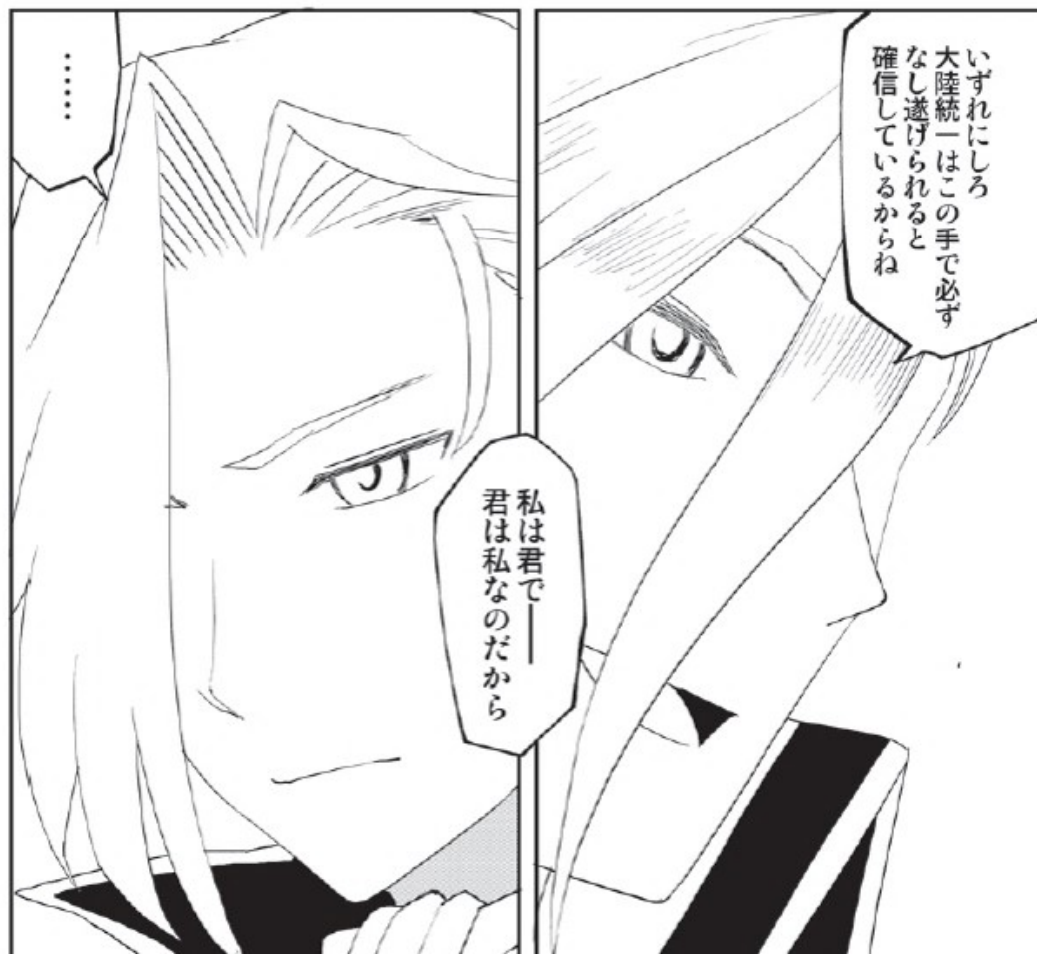
…それとは別に兄上には
言いたいことが山ほどありますが

もちろん俺たち
トールズもだ

作戦当日

――ふふ
やはり最初に
たどり着いたのは

君達か

偽物のルーファス…
…びっくり ほんとにまんまだね
ああ…
エンペラーの時以上に
ようこそ もう一人のワタシ
いいや 今や偽物のルーファス・アルバレアよ
…ふふ 偽物に 偽物呼ばわりされるとは
話に聞いた《劫炎》と同じく 憐れにも自覚がない パターンなのかな?
自分が作られた存在なのは とうに理解しているとも だがルーファス・アルバレアは 完璧な存在であるべきだ――
《黄昏》における《相克》に無様にも敗れ すべてを失った者には ふさわしくあるまい?
なるほど そうやって 黒の衛士達をそそのかしたわけか とんだ茶番だな
そう―― これは茶番だ
機械知性の掌の上で 組み立てられた 脚本にすぎない…

簡単な話さ――この役割を引き継ぐ気はないかね？
今度こそ本物のクロスベル統一国新総裁として
支離滅裂～もしかしてバグっちゃった？
エリュシオンにとっては最初からどちらでもよかったということさ
本物か否かを置いておけば我々は寸分違わず同じだからね

そうだろう？
ルーファス・アルバレア
君がそれを選ぶというなら
私はおとなしくこの舞台を下りよう

いずれにしろ
大陸統一はこの手で必ず
なし遂げられると
確信しているからね
私は君で──
君は私なのだから
……

…ルーファス

どうやら返事は
決まったようだね
まぁ答えは
わかりきっているが

ああ――
その通りだ
ジャキ――
…何？
私は私だ
断じて君とは違う
いまだあの《幻想要塞》以前に
立ち止まり続ける君などとはな

越える越えないなどという
次元の話はとうに
終わっているのだよ

父は――彼はただ
愛する者を愛し
なすべき事をなした
だけなのだから

その程度も
いまだ理解できずに
完璧を自称するとは
笑わせる

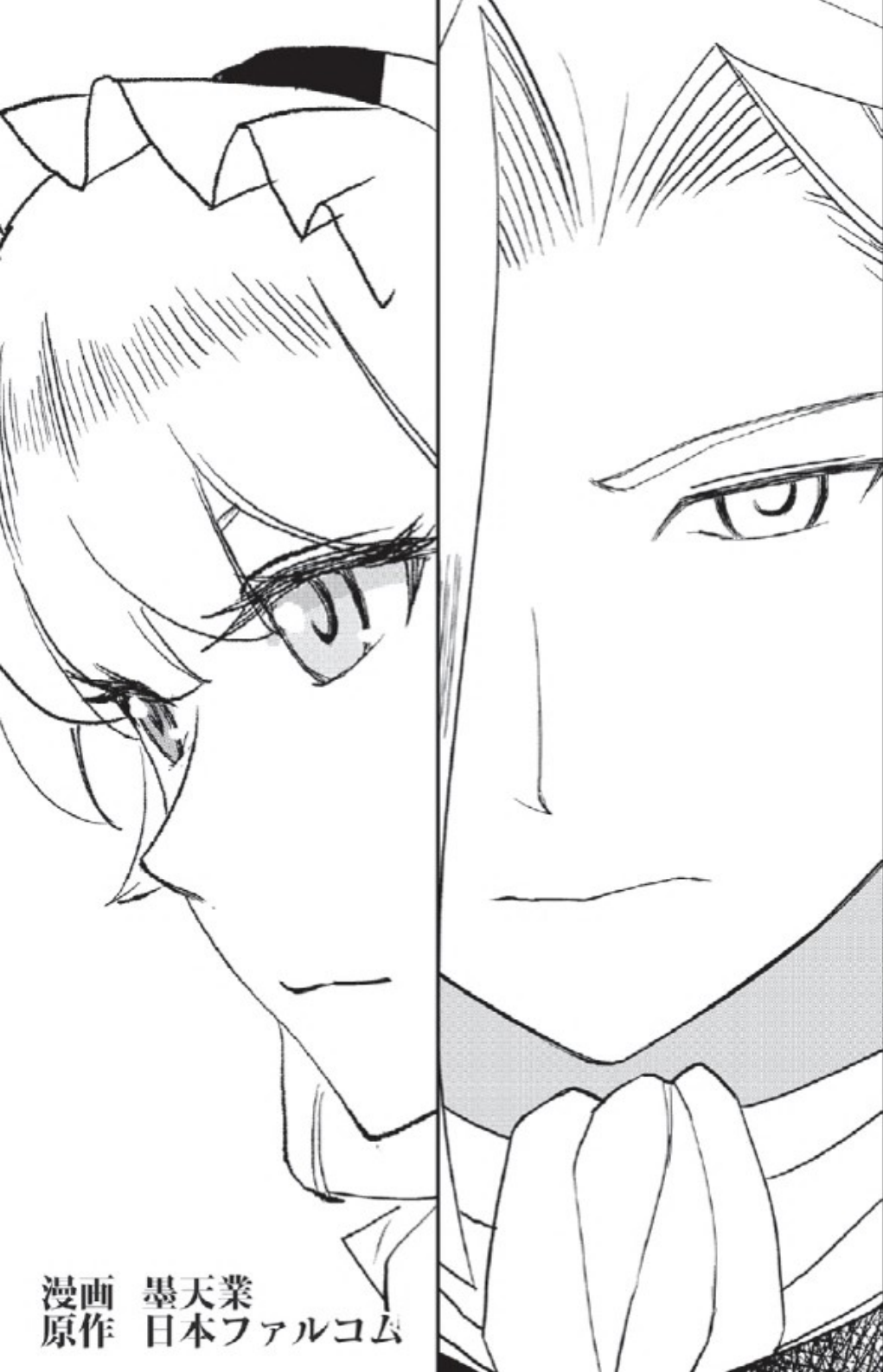
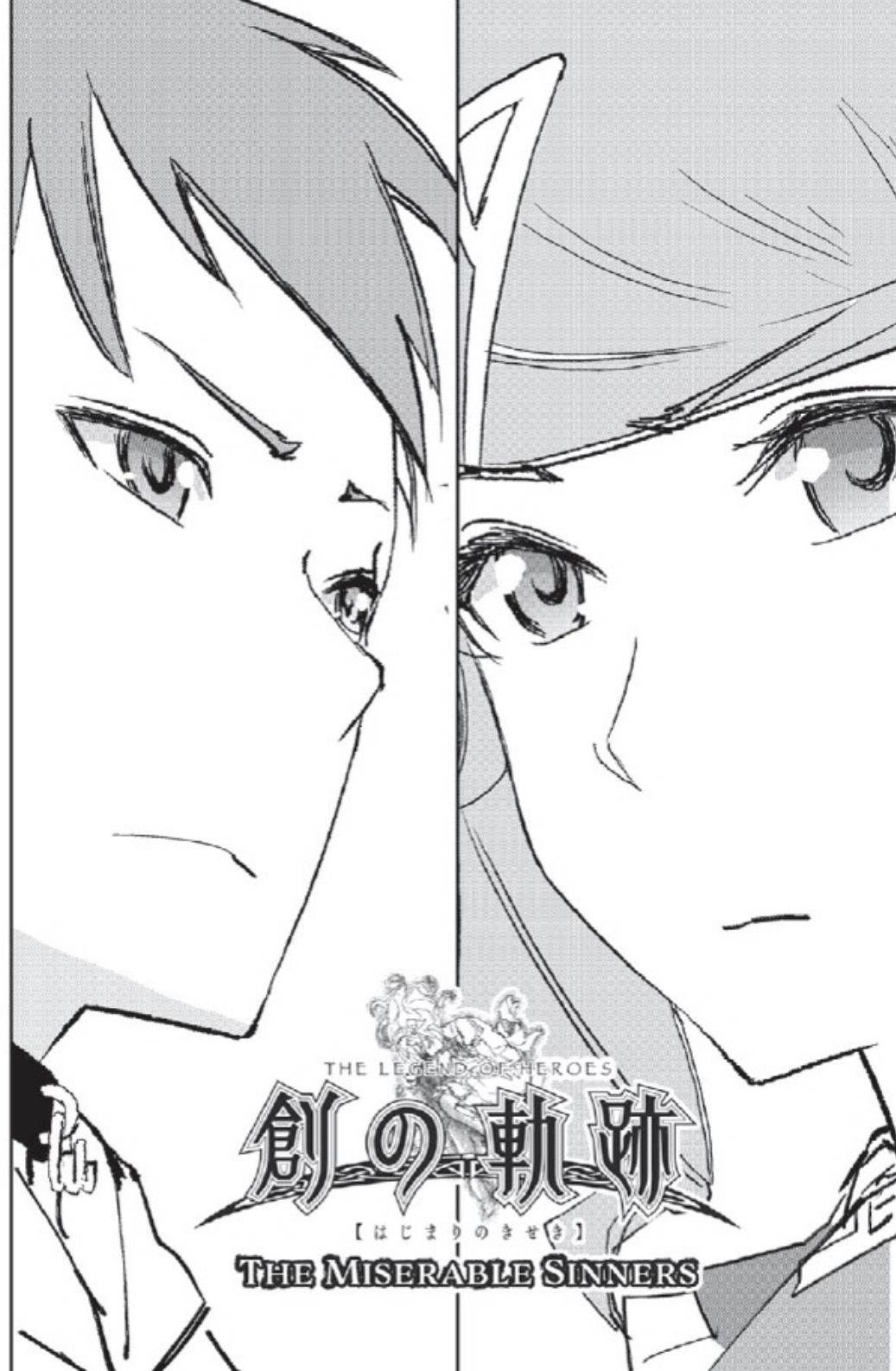
消えるがいい
偽りのワタシ――
忌まわしき我が罪の幻影よ

新たに歩み始めた
クロスベルに
この大陸にそのような
存在は必要ない

その顔で父の器を
語られるのも
そろそろ不愉快に
なってきた所だしね

…ルーファス!

やはり君はもはや
ルーファス・アルバレア
ではない

――ならば今こそ
私がオリジナルとなろう

大陸統一という大望を果たし
人々を導く次代の指導者として…！

――ならば今こそ
私がオリジナルとなろう

大陸統一という大望を果たし
人々を導く次代の指導者として…！

Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画　墨天業
原作　日本ファルコム

なるほど…
テディ・スレッド
触れたら少し
痛いかも…ふふ
つく！
っ！

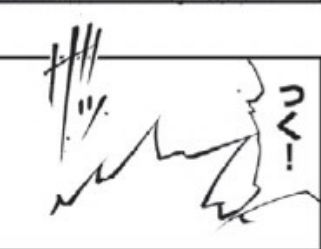
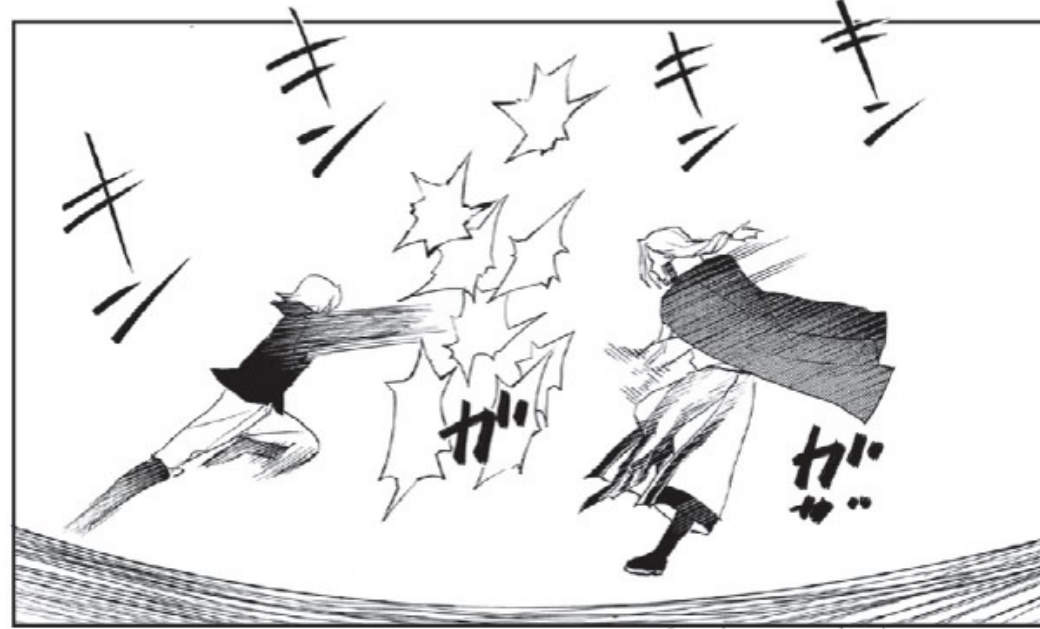
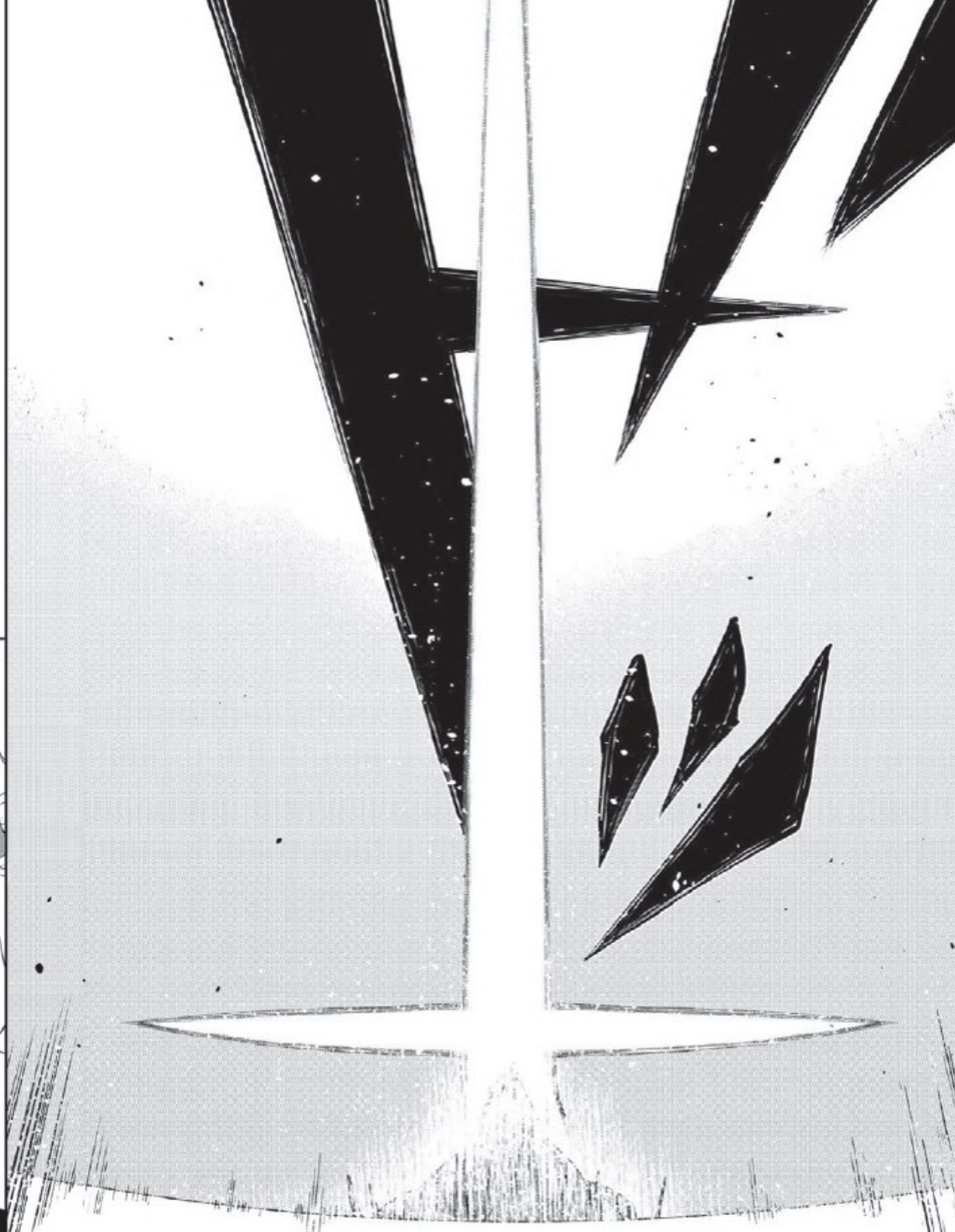
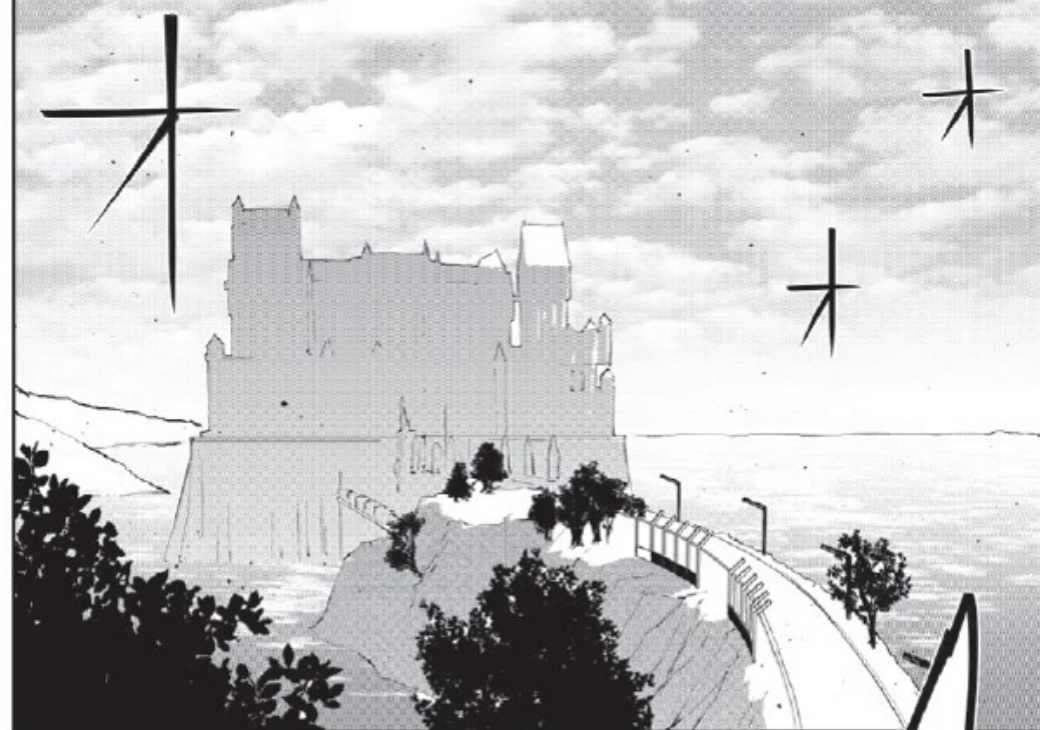
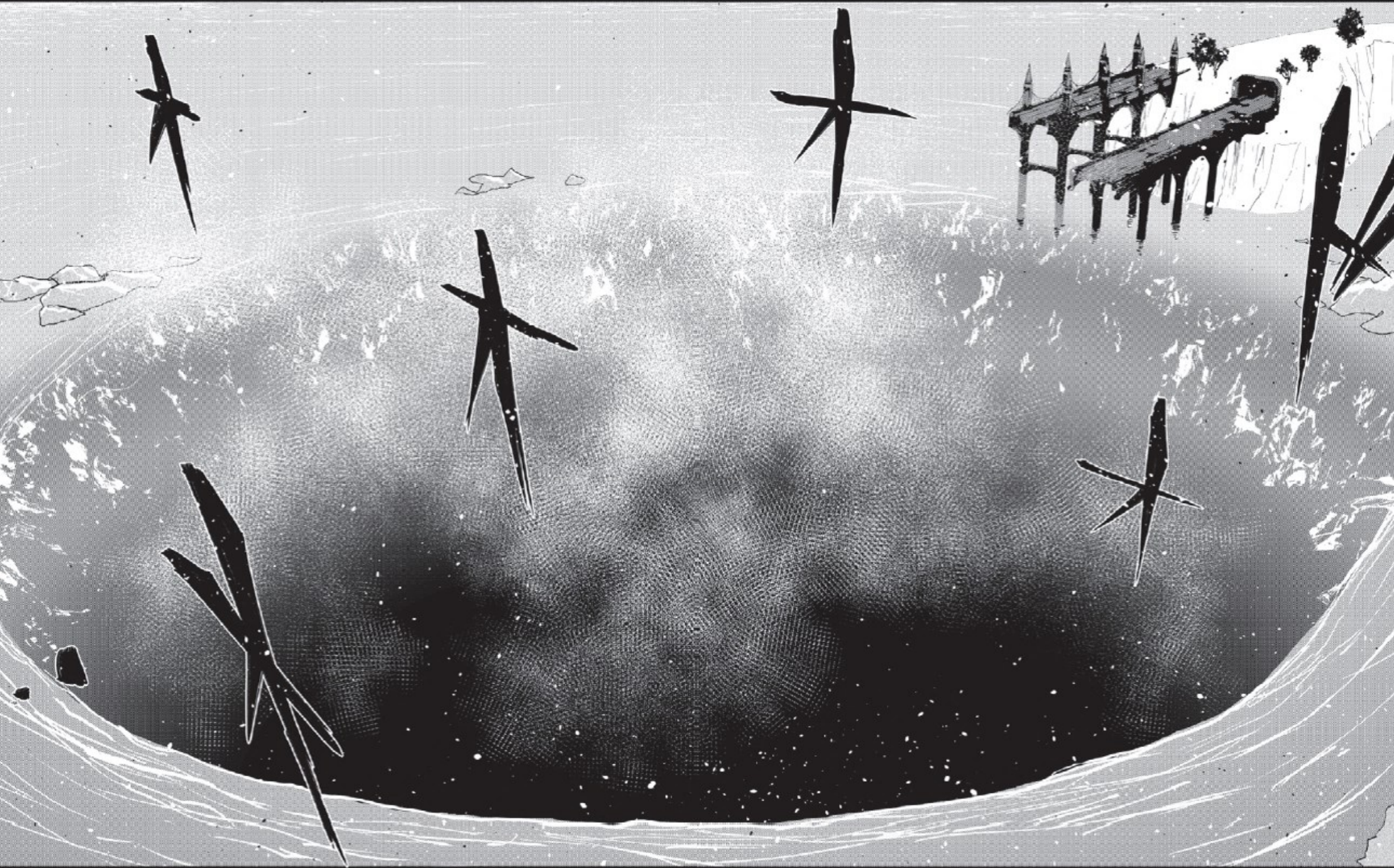
ザッ
チャキ

キン
キン
キン
キン
ガッ
ガガ

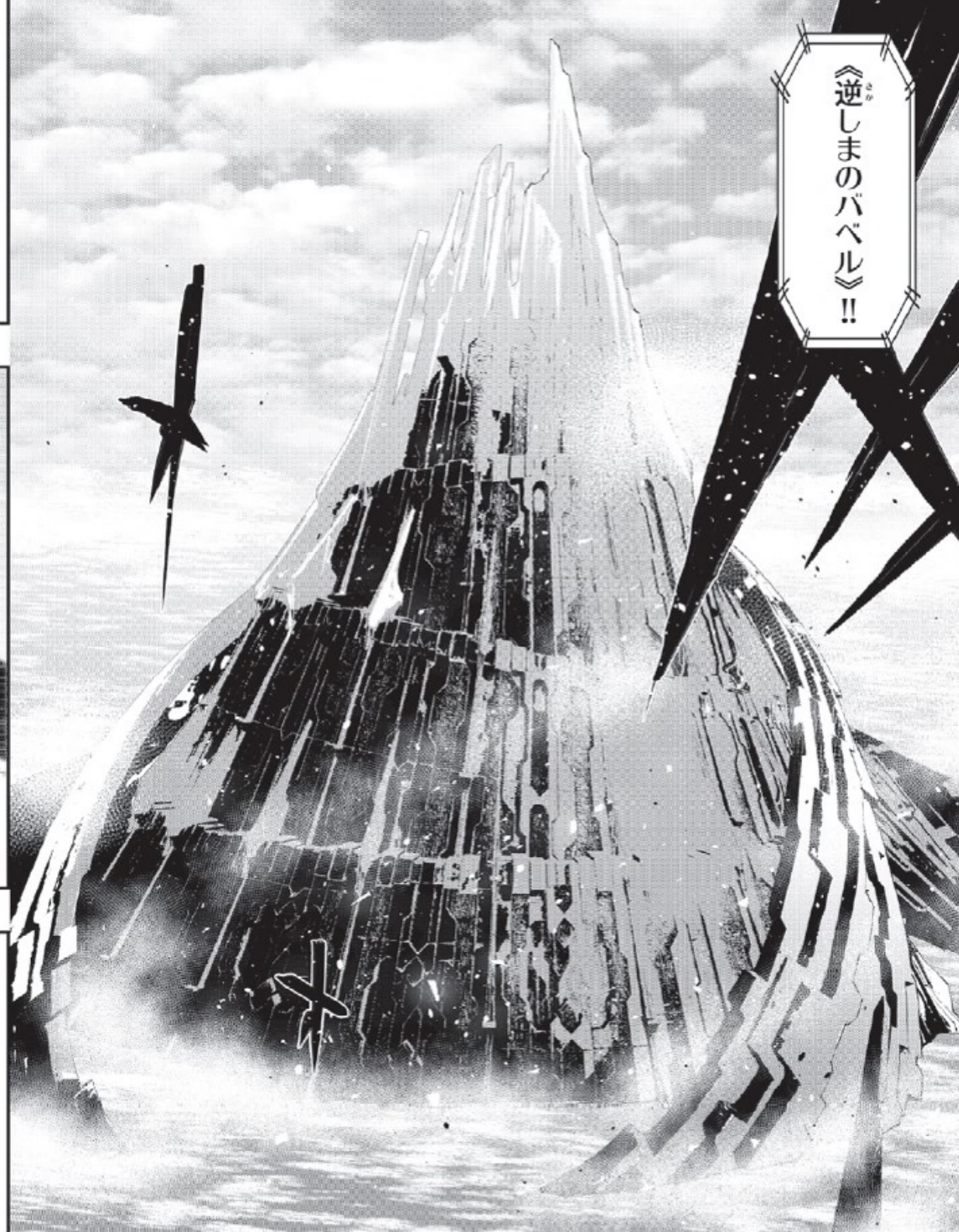
ゴゴ
ゴゴ
残念だが君達に勝ち目はない

なん…だと…

あれが
我々の目をかいくぐり
建造されたもの
ですか…

甘かった…！
ここまでの代物
だったとは…！

あいつはどこ行っ…

ヴォン…
さて
ご覧いただけたかな？


あれにそびえ立つは
クロスベル統一国
大陸の恒久平和の
象徴となるもの
天の雷によって
すべての悪を滅ぼす
世界最後の兵器にして
史上最高の抑止力
その名は

《逆しまのバベル》!!

かの巨塔の
お披露目をもって

Fortsetzung folgt

ゼムリア大陸の統一を宣言する!!
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

あの偽物が逃げ込めるなら入り方はあると思っていたけど案外簡単だったわね
……

…どうだ？

……
…うん

エリュシオンを感じる
オオ

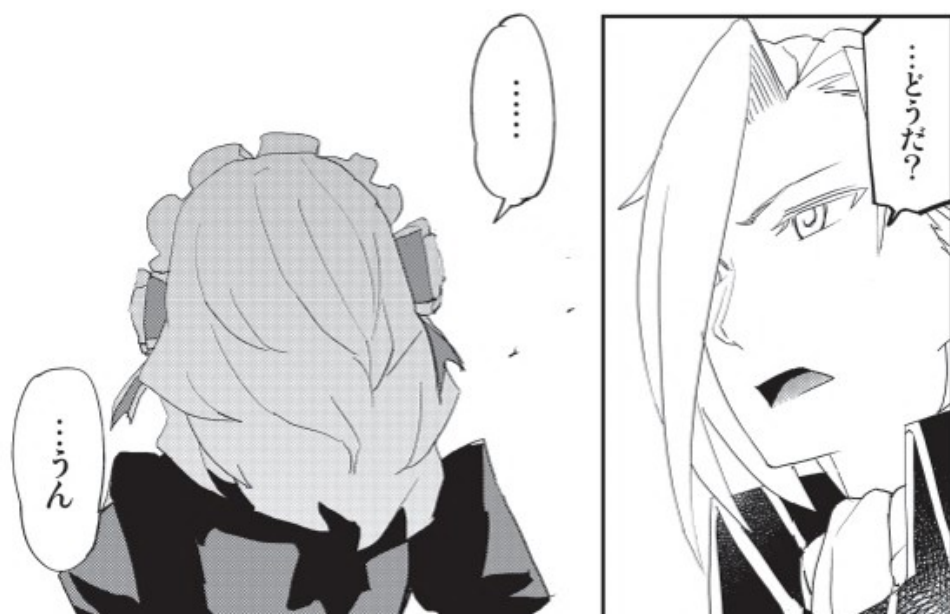
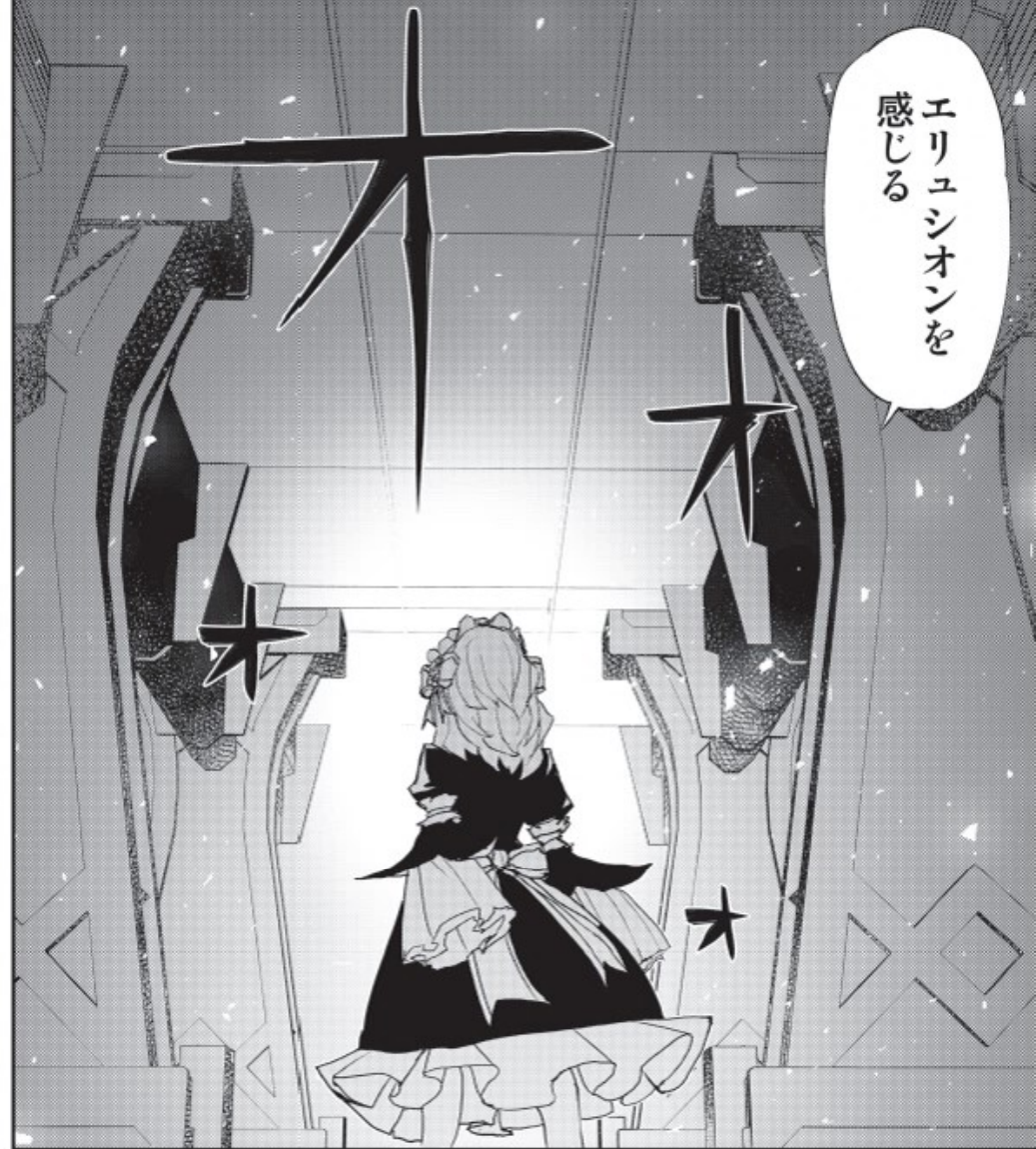
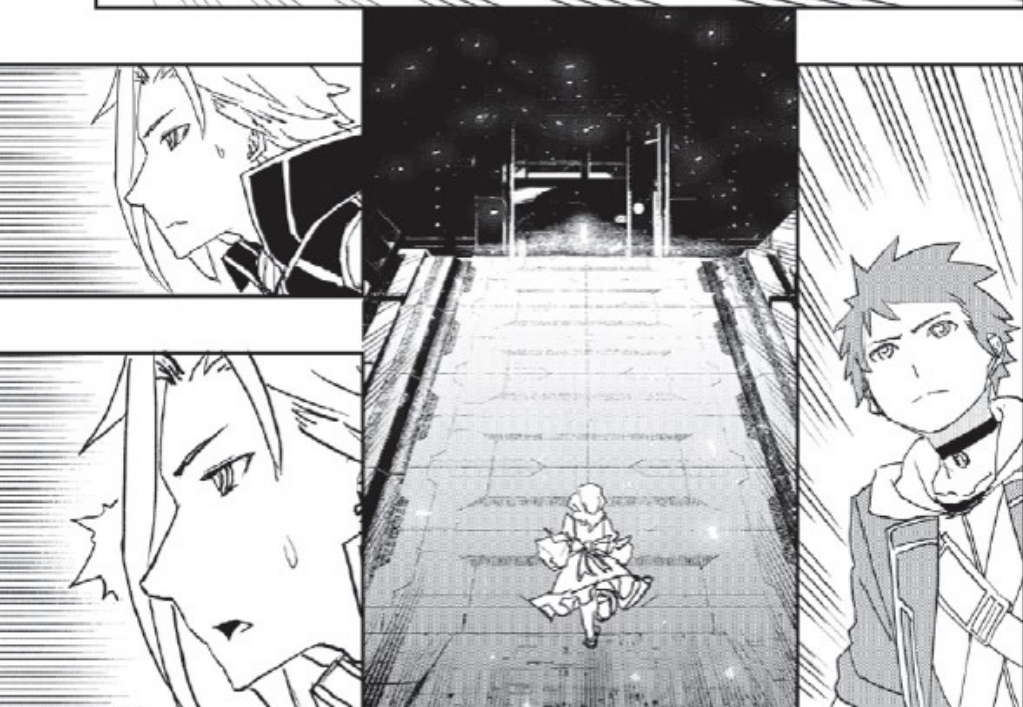
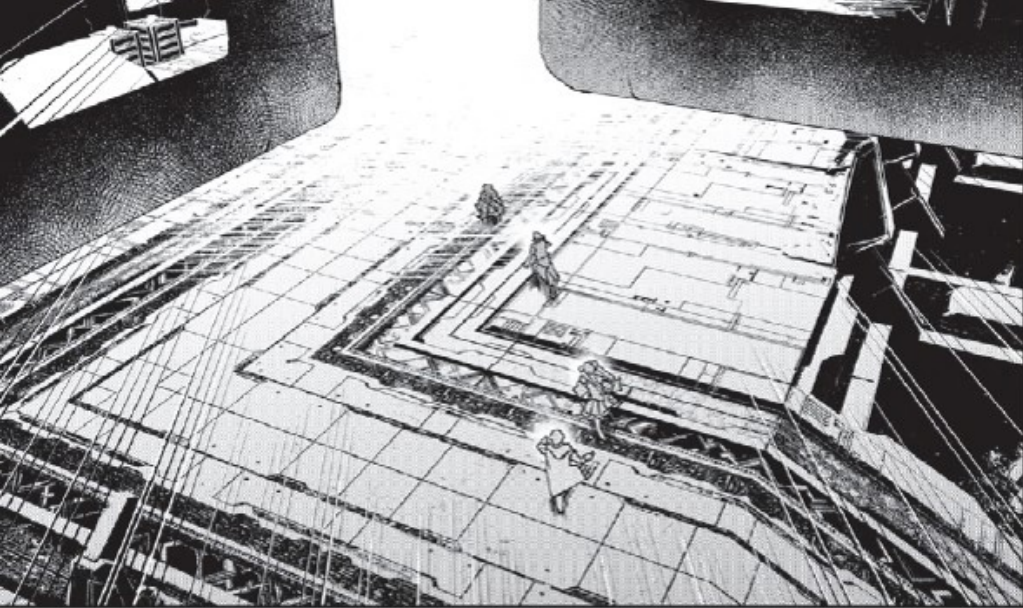
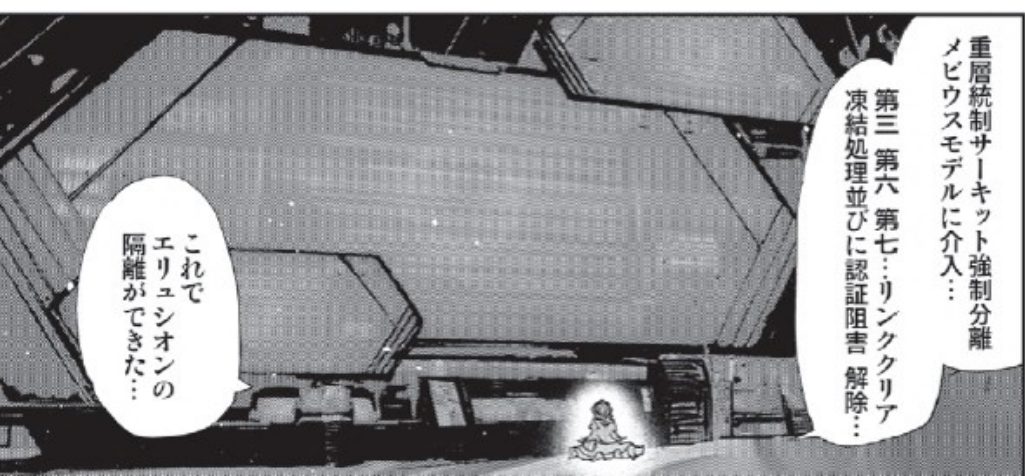
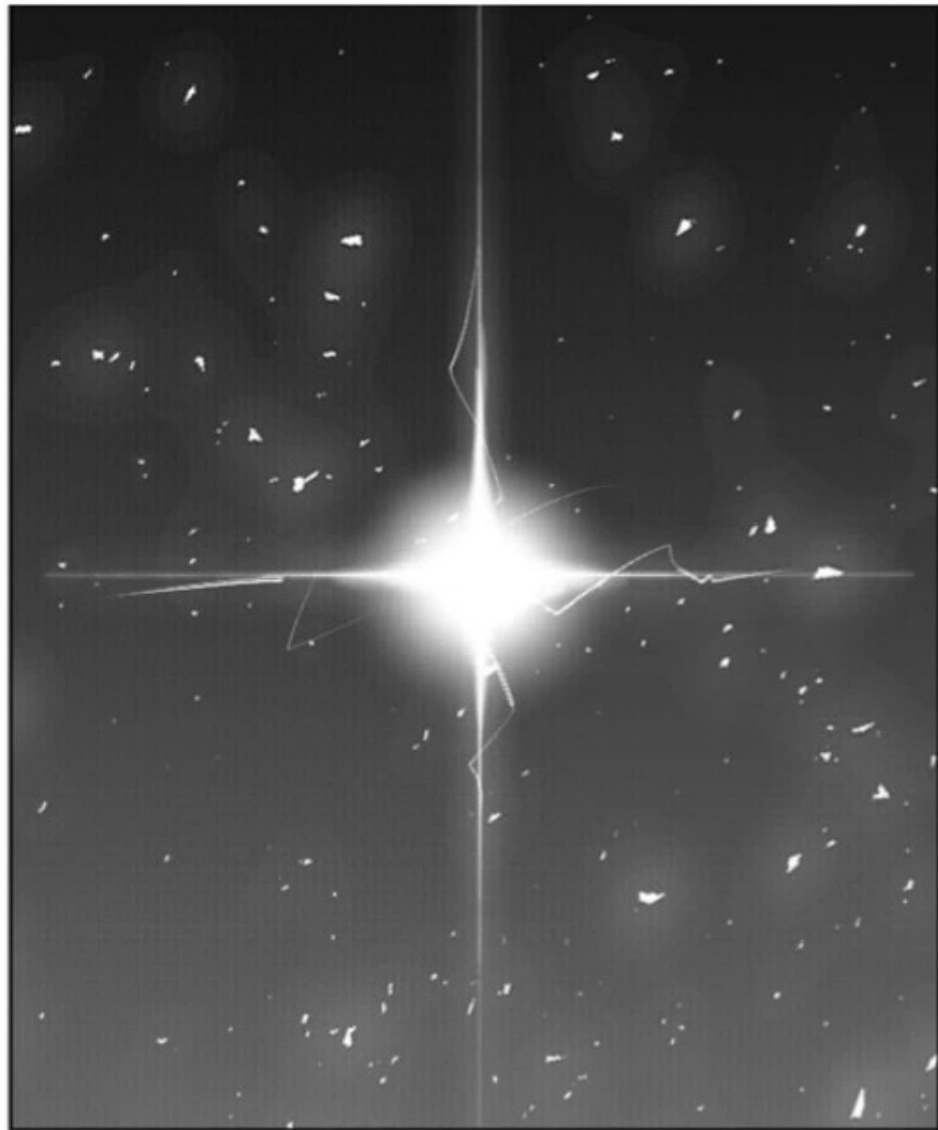
ジャキッ

ルーファス！

エリュシオンに急げ!!

どちらが真の

あなたは…

世界を
どうしたいの？

付き合ってあげるわ
光栄に思いなさい！
ここにたどり着くまで
本当にいろいろあった…
―俺たちはヒトを殺さない
それでいいなら、
あんたに雇われてもいい
大切な人たち…
いないほどの
稀代の人形技師だったな
仲間…希望…

見つけた。
君がラピスだ。
未来…

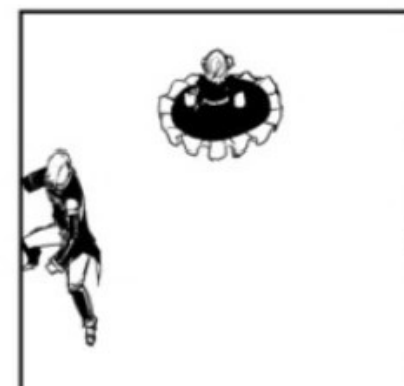
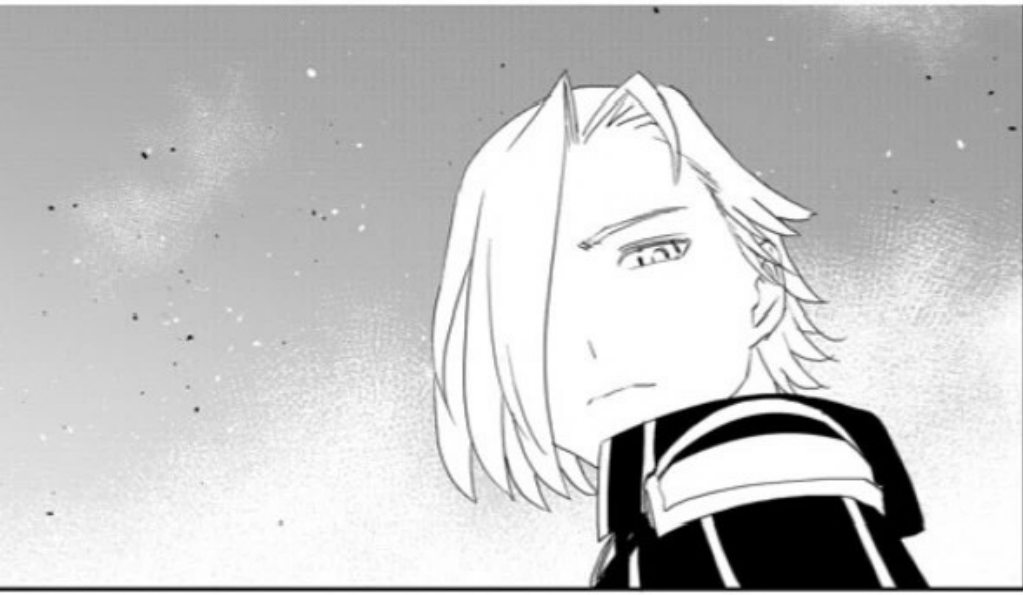
わた…しは…!!

Fortsetzung folgt

THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

ドオオオ

ドッ
ドッ

ギン
ガキン
キン
ギン
こっちは終わったぞ!!
さらばだ――
ザンッ
がっ…!!
ガッ

ドサッ
因果律改変…
このままでは世界が…

崩壊してしまう…
ジジジジッ
決定を変更する…
ジジッ…
私は…

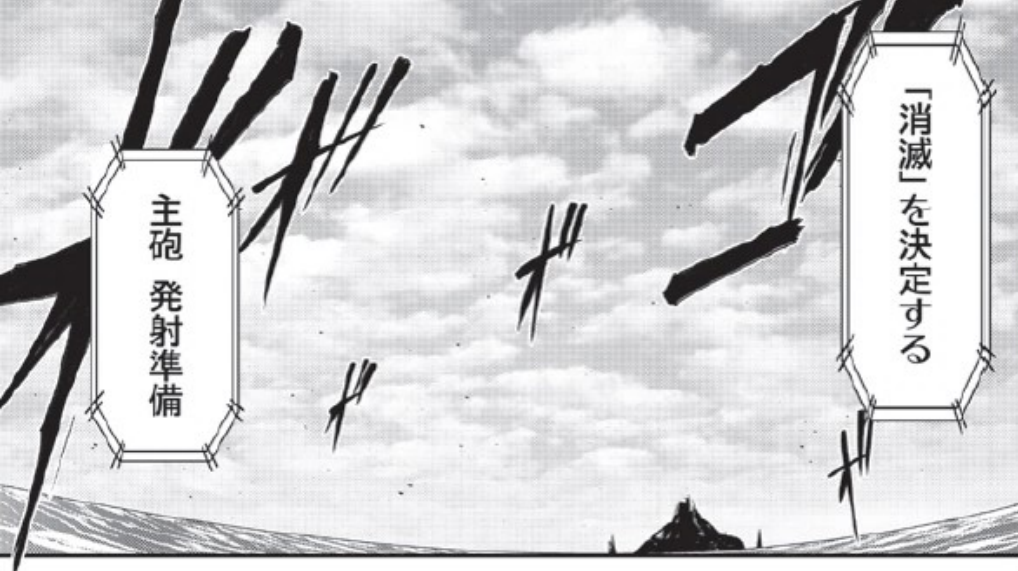
「消滅」を決定する
ゴ
主砲 発射準備
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
カウントダウン
10分前…
ズ
塔内にいる人間は
退避してください
勘弁してくれ！
逃げるぞ!!
ズ
ガチ…

エリュシオン…
ありがとう…
そして…

さようなら

「消滅」を決定する
主砲 発射準備

漫画 墨天業
原作 日本ファルコム

ここを出たら
私

旅に出ることに決めたの！
色々なところで食べ歩きとかもできていいよねぇ…
いいホテルにも泊まりたいなぁ…
ルーファスからしっかり費用ももらえたしな！

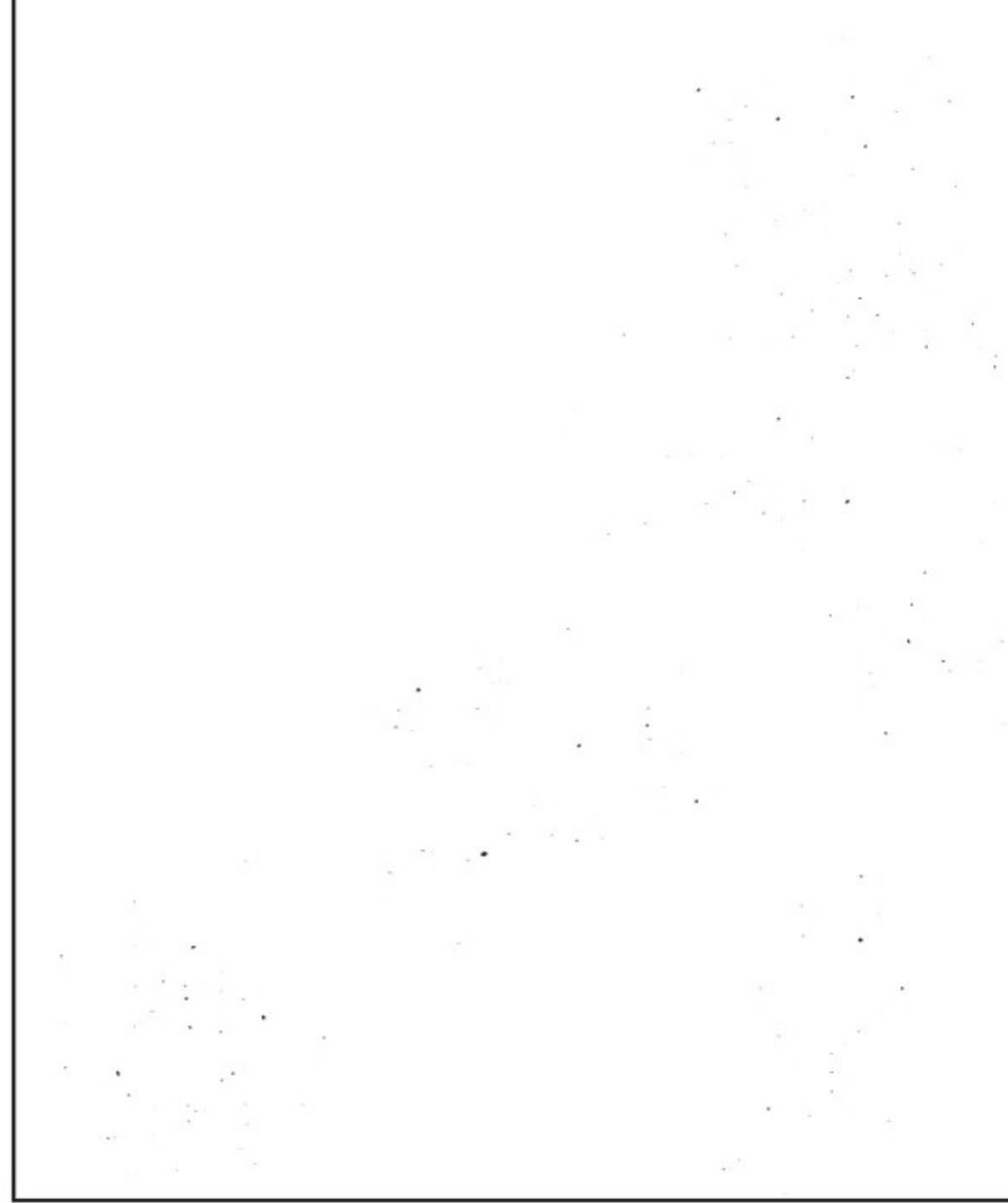
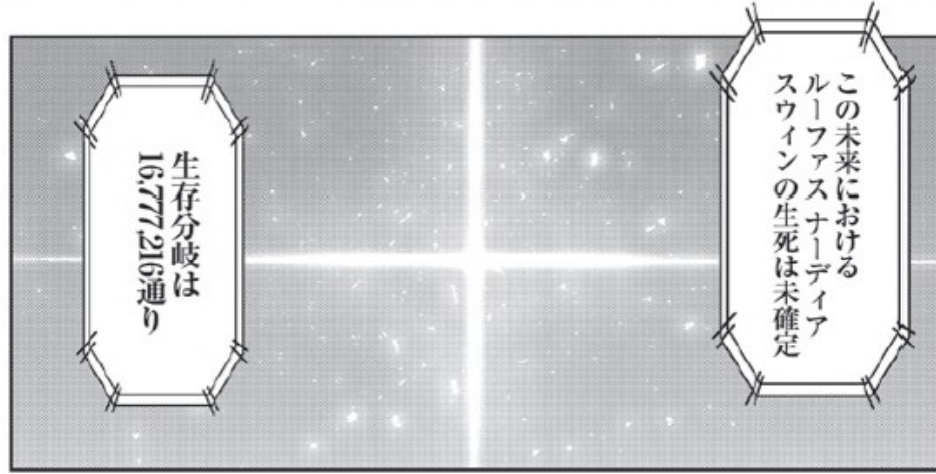
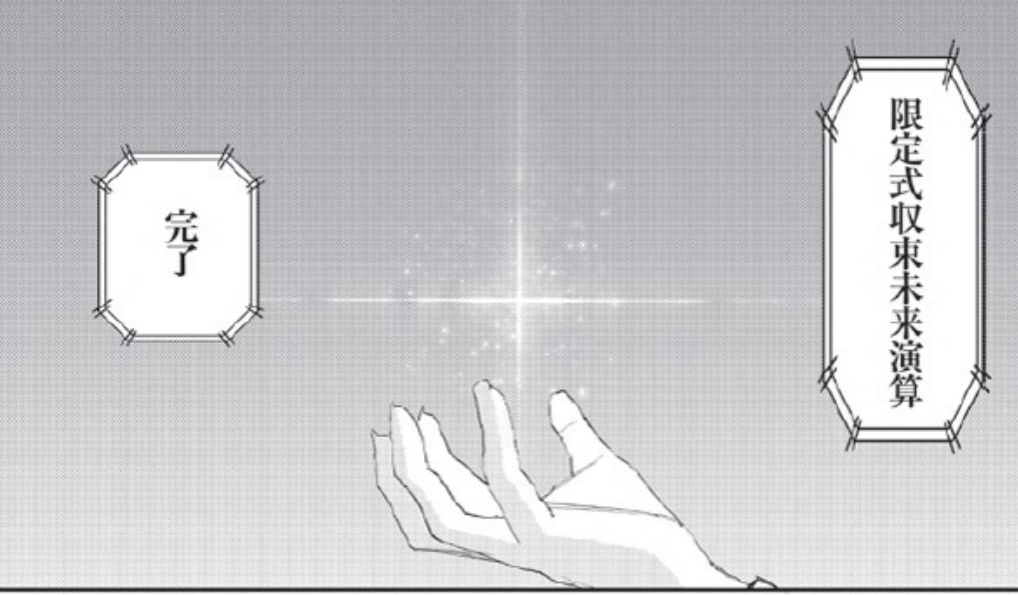
あなたも連れて行ってあげる！
この私に人形の付き人になれと…？
……

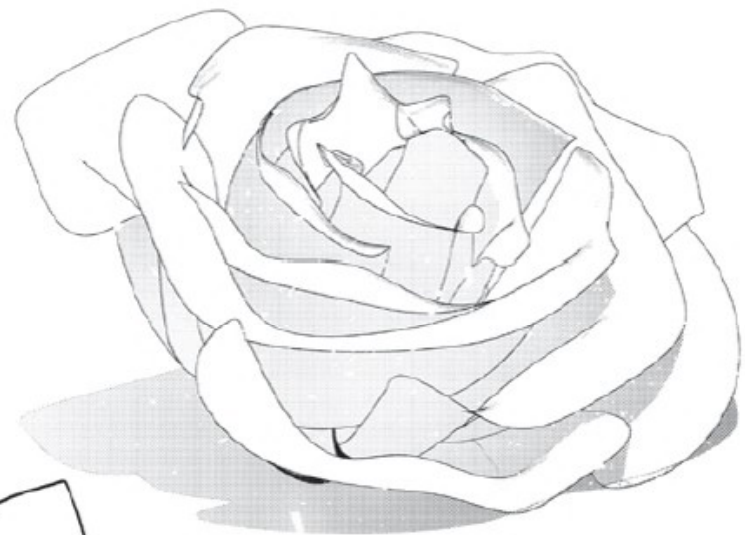
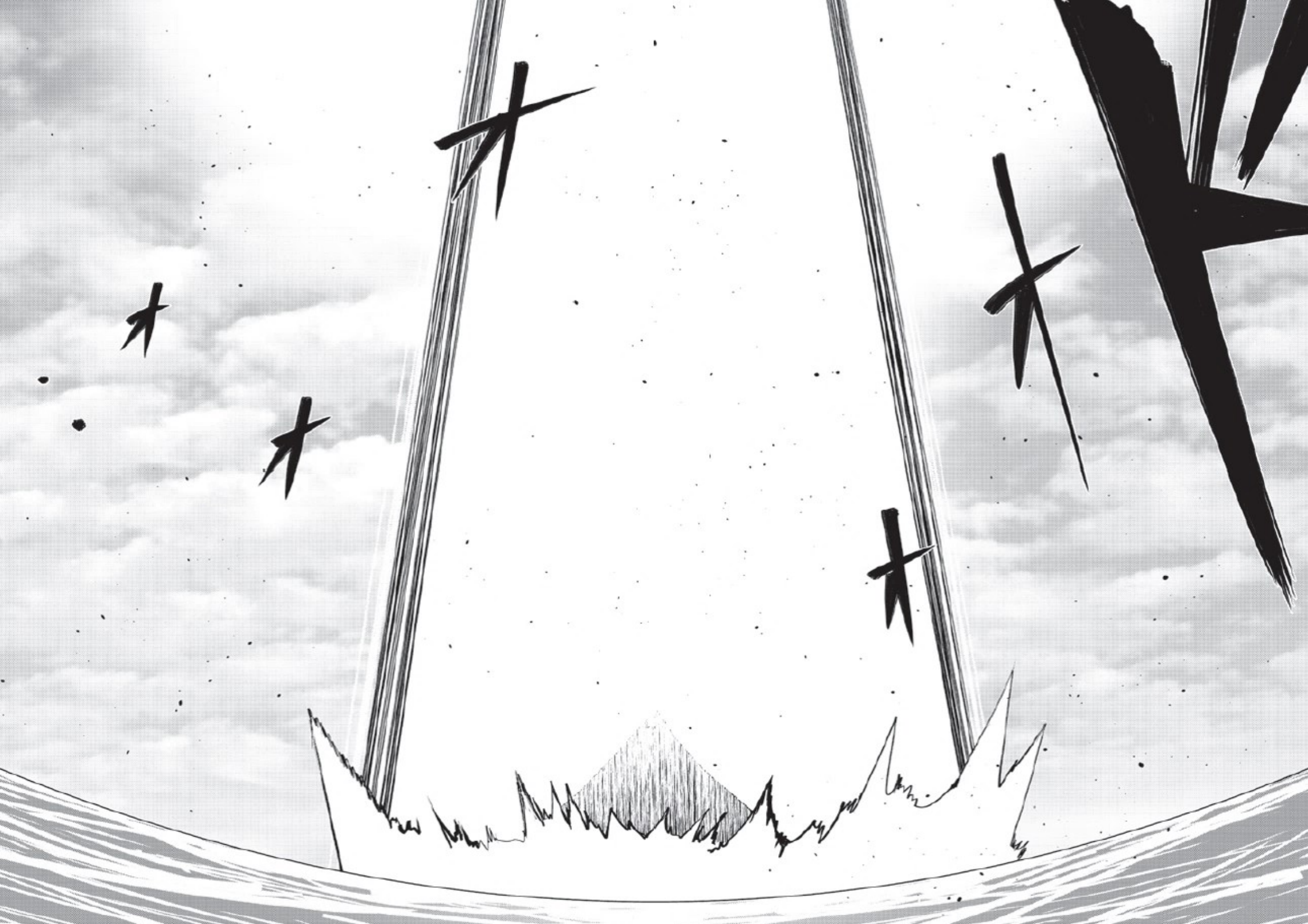
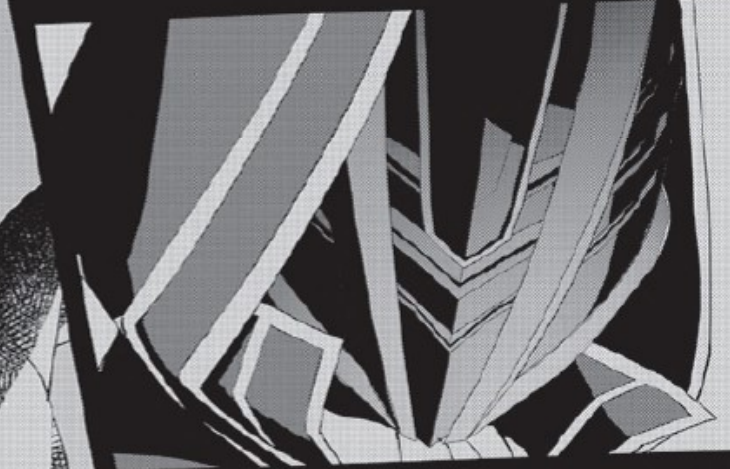
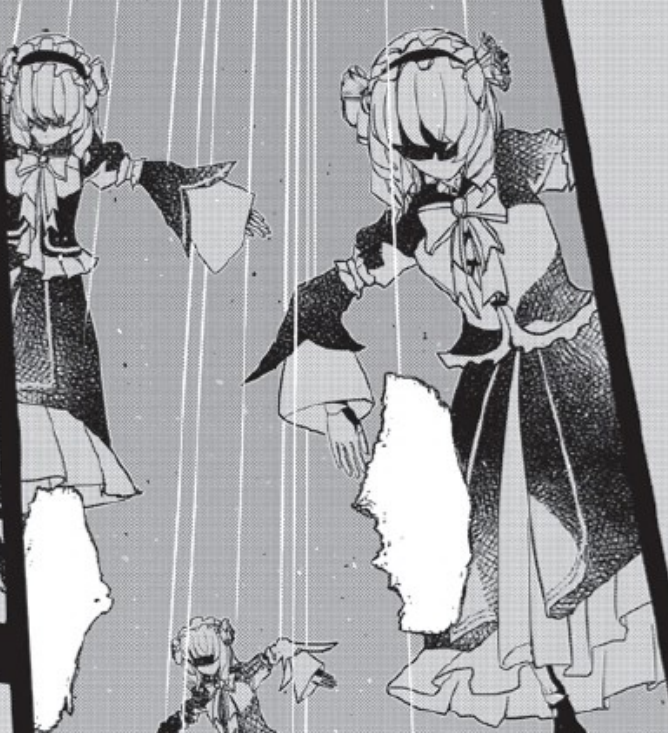
そういうのも悪くはない…のかもしれない
私は…
もう手に入れていたのかもしれないいな……

限定式収束未来演算

完了

この未来における
ルーファス ナーディア
スウィンの生死は未確定

生存分岐は
16,777,216通り

もし…
ルーファス公が
殺し屋ふたりとともに
バベルへとたどり着いたとすれば
このような展開になろうか
特務支援課の若造たちも
トールズの青二才どもも
また別のルートでたどり着き
それぞれの結末を
迎えることになるのだろう
……
さて…
ひとつしかない
真実の結末とは
果たして…

ドオオオオオ

…果たして
箱より出ずるは
〝希望〟か
はたまた更なる
〝災厄〟か……

…Und weiter in die Zukunft.